nittoku

ウレタン塗膜防水システム

プルーフロン シリーズ

【改訂第7版】

PROOFLON

JIS A 6021 建築用塗膜防水材認証品

認証番号　JP0308008
（プルーフロンエコ・プルーフロンバリュー・プルーフロンエコDX・
プルーフロンエコ目止材・プルーフロンバリューNS・プルーフロンエコNS・
プルーフロンエコMID・プルーフロンエコDX NS）

認証番号　TC 05 07 029
（プルーフロンエコONE・プルーフロンエコONE NS・
プルーフロンC-200エコ・プルーフロンC-200エコNS）

一般社団法人日本塗料工業会登録
ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆
室内使用無制限
http://www.toryo.or.jp

登録品種	登録番号
プルーフロンエコDX	N03248
プルーフロンエコDX NS	N03249
プルーフロンエコONE	N03233
プルーフロンエコONE NS	N03234
プルーフロンエコ	N03139
プルーフロンエコNS	N03140
プルーフロンエコMID	N03185
プルーフロンバリュー	N03174
プルーフロンバリューNS	N03181
プルーフロンエコ目止材	N03201
プルーフロンC-200エコ	N03189
プルーフロンC-200エコNS	N03190
プルーフロンNT-F水性ボンド	N03203
プルーフロンNT-Fエコボンド H	N03184
プルーフロンプライマーS	N03121

登録品種	登録番号
プルーフロンプライマーU	N03124
プルーフロンエコプライマー	N03141
プルーフロンエコ水性プライマー	N03138
プルーフロン塗り替え用プライマー	N03219
プルーフロンGRトップフッ素	N03183
プルーフロンEGトップ4F	N03223
プルーフロンGRトップ	N03122
プルーフロンGRトップエコ	N03210
プルーフロンEGトップシリコンマイルド	N03177
プルーフロンエコ水性GRトップ	N03182
プルーフロンエコ水性トップ	N03145
エポラ#3プライマー	N03188
シルビア金属用プライマーM	N03102
NTミラクルフィラー	N03179
NTカチオンエース	N03202

ウレタン塗膜防水材に最新の塗料技術を結集、大きく生まれ変わった「プルーフロン」シリーズ。

近年、いっそうの長寿命化が求められている建築物の保全、維持には高い性能を持つ防水材の存在が欠かせません。
日本特殊塗料は建築用塗膜防水材「プルーフロン」シリーズとして、
進化する高度なニーズに柔軟に対応できるウレタン塗膜防水材システムを確立しました。

多様化する施工環境や要求性能を網羅するため、プルーフロンのカタログは、各種工法を主体に掲載しています。
従来はウレタン塗膜防水材を使用できなかったケースでの施工を可能にした、下地処理を必要としない機械的固定工法「PK工法」、
遮熱・断熱性能の付与により、居住性の向上も実現した断熱・遮熱工法「PD工法」、
集合住宅における標準的な仕様となった長尺シート+ウレタン塗膜防水材に対応する複合工法「PF工法」など、
バリエーションに富んだ工法をラインアップしました。

さらに、地球環境保全に貢献する「遮熱仕様」「特化則非該当仕様」「環境対応仕様」をはじめ、
「官公庁仕様」など、多彩なニーズに応える仕様も用意しています。

工法を充実させる各種製品をラインアップ。
鉛・クロムフリーで環境対応型の「プルーフロンエコ」をはじめ、
独自技術の採用により、JIS A 6021の規格値を大きく上回る740%の伸び率を実現した
汎用タイプ「プルーフロンバリュー」、プルーフロンエコの環境性能をさらにグレードアップさせた、
特化則非該当の「プルーフロンエコDX」「プルーフロンエコONE」など、
工法との組み合わせによる仕様選択の幅がさらに広がりました。

強力な密着力と弾性に富み、高耐久性、高耐候性、特殊機能付与など優れた性能を発揮し、
工法と製品の組み合わせにより、新たな提案も可能にした高品質のウレタン塗膜防水材「プルーフロン」シリーズ。
スピーディーで美しく、しかも機能的な防水施工を約束します。

当社の生産拠点である６工場すべてが、
ISO9001（品質マネジメントシステム）および
ISO14001（環境マネジメントシステムに関する国際規格）を取得しています。

▲平塚工場

▲愛知工場

▲静岡工場

▲広島工場

より速く、より美しく――。
確実な防水効果を実現します。

▲施工前

◀施工後

▲東九州工場

▲九州工場

製品・工法概要 3～12

各種工法の概要 ③～④
アイコンの概要（特化則非該当・環境対応・遮熱） ⑤～⑥
防水材の製品概要 ⑦～⑧
トップコートの製品概要 ⑨～⑩
施工フロー ⑪～⑫

工法案内 13～43

PM工法［密着工法］ ⑬～⑭
PG工法［密着補強布入り工法］ ⑮～⑯
PN工法［通気緩衝工法］ ⑰～⑱
PK工法［機械的固定工法］ ⑲～㉒
PKD工法［機械的固定・断熱・遮熱工法］ ㉓～㉔
PD工法［断熱・遮熱工法］ ㉕～㉖
PS工法［スポーツ床防水工法］ ㉗～㉘
PF工法［側溝・巾木・長尺シート複合工法］ ㉙～㉚
PH工法［保護モルタル工法］ ㉛
PO工法［室内簡易防水工法］ ㉜
PU工法［トップコートの塗り替え工法］ ㉝～㉞
PRV工法［塩ビシートリフレッシュ工法］ ㉝～㉞
官公庁仕様 ㉟～㊱
プルーフロン遮熱仕様 ㊲～㊳
特化則非該当仕様／環境対応仕様 ㊴～㊶
環境対応仕様 ㉟～㊷
UR都市機構仕様 ㊸

各部位の納まり 44～50

各部位の納まり①② ㊹～㊻
各部位の納まり［通気緩衝工法］ ㊼～㊽
各部位の納まり［断熱・遮熱工法］ ㊾
脱気筒の施工 ㊿

製品性能 51～52

プルーフロンシリーズ試験成績 51～52

製品データ 53～59

プルーフロンプライマー各種 53
プルーフロン金属面用プライマー各種 54
プルーフロン防水層各種 55～56
プルーフロントップコート各種 57～58
プルーフロン通気緩衝シート各種 59

製品荷姿 60～62

プルーフロンシリーズ副資材一覧 60～62

製品一覧 63～66

プルーフロンシリーズ製品一覧① 63～64
プルーフロンシリーズ製品一覧② 65～66

多彩な工法で、さまざまな用途に対応します。

■各種工法の概要

PM工法
[密着工法]
●掲載ページ……⑬～⑭

シームレスで複雑な形状にも施工できる一般的なウレタン塗膜防水材の密着工法です。

PG工法
[密着補強布入り工法]
●掲載ページ……⑮～⑯

均一で必要な膜厚を確保できる補強布入りの密着工法です。立上り部ではダレ下がり防止効果があります。また、防水層の補強効果もあり、下地の経年変形による破断も低減できます。

PN工法
[通気緩衝工法]
●掲載ページ……⑰～⑱

国土交通省大臣官房官庁営繕部「公共建築工事標準仕様書」(平成28年度版)や日本建築学会 JASS8防水工事にも採用されている工法です。コンクリート下地と防水層が絶縁されているため、下地にクラックが発生しても防水層の破断が防止できます。また、下地水分が多い場合、通気緩衝シートの通気層を通して脱気装置から水分が放出されるため、防水層のフクレも防ぎます。

PK工法
[機械的固定工法]
●掲載ページ……⑲～㉒

下地処理の必要がなく、さまざまな下地に対応できる防水工法です。機械的固定のため、下地水分が多くても施工が可能です。また、既存下地のほとんどが撤去不要のため、廃材の発生も低減できます。

PKD工法
[機械的固定・断熱・遮熱工法]
●掲載ページ……㉓～㉔

機械的固定工法(PK工法)に断熱材を組み合わせ、さらに遮熱性を付与した工法です。

PD工法
[断熱・遮熱工法]
●掲載ページ……㉕～㉖

屋上からの熱を遮断し、室内への熱の侵入を防ぐとともに、建物の躯体を熱による劣化から長期にわたり保護します。遮熱タイプのトップコートを組み合わせることで高い耐久性が得られ、防水層をより強固に守ります。

PS工法
[スポーツ床防水工法]
●掲載ページ……㉗～㉘

ウレタン塗膜防水材と当社のウレタン塗り床材(ユータック)を組み合わせたシームレスのスポーツ床防水工法です。密着補強布入り工法(PSG工法)と通気緩衝工法(PSN工法)があり、スポーツ施設や屋上の活用に最適な工法です。

PF工法
[側溝・巾木・長尺シート複合工法]
●掲載ページ……㉙～㉚

長尺シートを使用することにより、高い防水機能、防滑機能に加え、長期にわたり建物の美観を保持します。

工法記号の見方

用途・目的に応じた性能を付与できます。また、さまざまな組み合わせが可能です。

工法記号の例：**P M － H 20 S**

- **P**：●プルーフロン全工法共通
- **M**：●工法の種類

●工法の種類

- M ：密着工法
- MT：密着立上り工法
- G ：密着補強布入り工法
- GT：密着補強布入り立上り工法
- N ：通気緩衝工法
- K ：機械的固定工法
- D ：断熱・遮熱工法
- SG：スポーツ床密着補強布入り工法
- SN：スポーツ床通気緩衝工法
- KD：機械的固定・断熱・遮熱
- H ：保護モルタル工法
- HT：保護モルタル立上り工法
- F ：側溝・巾木・長尺シート複合工法
- O ：室内簡易防水工法
- U ：トップコートの塗り替え工法
- RV：塩ビシートリフレッシュ工法

PH工法
[保護モルタル工法]
●掲載ページ……31

浴室やトイレなど、RC構造下地の水廻りに使用する保護モルタル(別途工事が必要です)工法です。屋上にも施工可能です。

PU工法
[トップコート塗り替え工法]
●掲載ページ……33～34

既存塗膜がウレタン塗膜防水材のケースを想定した、トップコートを塗り替える場合の工法です。

PO工法
[室内簡易防水工法]
●掲載ページ……32

簡易防水工法で、さまざまな状況に応じた工法の選定ができます。また、環境対応仕様も可能なため、室内防水にも適用できます。

PRV工法
[塩ビシートリフレッシュ工法]
●掲載ページ……33～34

塩ビシート防水の太陽光(紫外線)による劣化を防ぎ、屋上をお好みに応じた色相にコーディネートが可能です。

■部位による最適工法

◎：最適　○：適

工　法	PM工法 [密着工法]	PG工法 [密着補強布入り工法]	PN工法 [通気緩衝工法]	PK工法 PKD工法 [機械的固定工法]	PD工法 [断熱・遮熱工法]	PS工法 [スポーツ床防水工法]	PH工法 [保護モルタル工法]	PF工法 [側溝・巾木・長尺シート複合工法]	PO工法 [室内簡易防水工法]
一般屋根防水	○	◎	◎	◎	◎	◎	○		
断熱・遮熱防水	○(遮熱)	○(遮熱)	○(遮熱)	○(断熱・遮熱)	◎(断熱・遮熱)				
役物が多い屋根	○	◎							
バルコニー、ベランダ	○	◎				◎	○	◎	○
ひさし	○	◎							
開放廊下						◎		◎	○
室内(トイレなど)		○				◎	◎		
室内(OAなど)	◎								◎
スポーツ床防水						◎			

※PRV工法[塩ビシートリフレッシュ工法]は、最寄りの営業所へお問い合わせください。

●防水層の種類

- **D**：プルーフロンエコDX
  プルーフロンエコDX NS
- **I**：プルーフロンエコONE
  プルーフロンエコONE NS
- **H**：プルーフロンエコホワイト遮熱
  プルーフロンエコNSホワイト遮熱
- **E**：プルーフロンエコ
  プルーフロンエコNS
- **M**：プルーフロンエコMID
- **CE**：プルーフロンC-200エコ
  プルーフロンC-200エコNS
- **V**：プルーフロンバリュー
  プルーフロンバリュー NS

●防水層平均塗膜厚

- **15**：1.5㎜
- **20**：2.0㎜
- **30**：3.0㎜
- **40**：4.0㎜
- **50**：5.0㎜
- **60**：6.0㎜

●トップコートの種類

- **EFS**：プルーフロンEGトップ4F遮熱
- **EF**：プルーフロンEGトップ4F
- **ES**：プルーフロンEGトップ シリコンマイルド
- **GE**：プルーフロンGRトップエコ
- **S**：プルーフロンGRトップ遮熱
- **F**：プルーフロンGRトップ フッ素
- **G**：プルーフロンGRトップ
- **T**：プルーフロンGRトップ艶消T
- **FT**：ユータックFT
- **WS**：プルーフロンエコ水性GRトップ遮熱
- **WG**：プルーフロンエコ水性GRトップ
- **WE**：プルーフロンエコ水性トップ
- **WP**：プルーフロン水性上塗シルバー
- **UR**：プルーフロンURトップ

アイコンの概要

特定化学物質障害予防規則(特化則)に該当していない製品や仕様にたいして表示しています。

防水材の硬化剤の原料として使用されているMOCA(3,3' -ジクロロ-4,4' -ジアミノジフェニルメタン)は平成29年4月の特化則の改正にともない、膀胱がんが発生する疑いが高くなり膀胱がん検診が義務づけられました。

MOCAは、重量の1%以上をこえて含有する場合は、特化則該当となります。

●特定化学物質障害予防規則(特化則)の概要とその対象となる化学物質

特定化学物質障害予防規則は、労働者が化学物質による健康障害を受けることを予防する目的で、労働安全衛生法の特別規則として昭和46年に制定されました。特化則では、①特化則作業主任者の選任・常駐・周知　②工事関係者以外の立ち入りを禁止　③注意事項の掲示　④必要な保護具の常備　⑤作業記録の保存　⑥特殊健康診断の実施、結果の保存　などの措置が求められます。

対象となる化学物質は以下の通りです。

※一般社団法人 全国防水工事業協会／日本ウレタン建材工業会監修「 MOCAを含むウレタン防水材の取扱いについて」参照

特定化学物質分類		物質名	対象となる含有濃度(重量%)
第1類物質		ジクロルベンジジン及びその塩、アルファーナフチルアミン及びその塩、塩素化ビフェニル(PCB)、オルトートリジン及びその塩、ジアニシジン及びその塩	1%超
		ベリリウム及びその化合物	1%(合金は3%)超
		ベンゾトリクロリド	0.5%超
第2類物質	特別有機溶剤以外	アクリルアミド、アクリロニトリル、エチレンイミン、エチレンオキシド、塩化ビニル、塩素、オルトートルイジン、クロロメチルメチルエーテル、酸化プロピレン、シアン化水素、3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン、ジメチル-2,2-ジクロロビニルホスフェイト(DDVP)、1,1-ジメチルヒドラジン、臭化メチル、トリレンジイソシアネート、ナフタレン、ニッケルカルボニル、パラージメチルアミノアゾベンゼン、ベータープロピオラクトン、ベンゼン、ホルムアルデヒド、沃化メチル、硫化水素、硫酸ジメチル、オーラミン、マゼンタ、アルキル水銀化合物(アルキル基がメチル基またはエチル基)、インジウム化合物、オルトーフタロジニトリル、カドミウム及びその化合物、クロム酸及びその塩、五酸化バナジウム、コバルト及びその無機化合物、三酸化二アンチモン、重クロム酸及びその塩、水銀及びその無機化合物(硫化水銀を除く)、ニッケル化合物(ニッケルカルボニルを除き、粉状の物に限る)、ニトログリコール、砒素及びその化合物(アルシン及び砒化ガリウムを除く)、ペンタクロルフェノール(PCP)及びナトリウム塩、マンガン及びその化合物(塩基性酸化マンガンを除く)、リフラクトリーセラミックファイバー	1%超
		パラーニトロクロルベンゼン、フッ化水素、コールタール、シアン化ナトリウム、シアン化カリウム	5%超
	特別有機溶剤	エチルベンゼン、クロロホルム、四塩化炭素、1,4-ジオキサン、1,2-ジクロロエタン(二塩化エチレン)、1,2-ジクロロプロパン、ジクロロメタン(二塩化メチレン)、スチレン、1,1,2,2-テトラクロロエタン(四塩化アセチレン)、テトラクロロエチレン(パークロルエチレン)、トリクロロエチレン、メチルイソブチルケトン	1%超又は1%以下の特別有機溶剤と有機溶剤を足して5%超
第3類物質		アンモニア、一酸化炭素、塩化水素、硝酸、二酸化硫黄、ホスゲン、硫酸	1%超
		フェノール	5%超

※一般に「溶剤系」と分類されるプライマーやトップコートには、特定化学物質第2類物質の特別有機溶剤が含まれています。
※特別有機溶剤は他の特定化学物質と異なり、屋内における塗装工事等が対象となり有機則を準用した特化則対応が求められます。
※特別有機溶剤は屋外における塗装工事等は特化則対応が対応外となります。

厚生労働省　指針「シックハウス対象物質に関する指針」にリストアップされている物質、「鉛」「クロム」が含有していない製品や仕様に対して表示しています。

厚生労働省　指針	物質名
「シックハウス対象物質に関する指針」にリストアップされている物質	ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレン、クロルピリホス、フタル酸ジ-n-ブチル、テトラデカン、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、ダイアジノン、アセトアルデヒド、フェノブカルブ

一般の防水材にくらべて遮熱機能が高い製品・仕様です。塗膜の表面温度の軽減やそれに伴う耐久性の向上、省エネ効果が期待できます。弊社の屋根用遮熱塗料（高日射反射率塗料）の技術を応用した製品・仕様となっています。

多様なニーズに応えるための豊富な製品ラインアップ。

■防水材の製品概要

プルーフロンエコDX
プルーフロンエコDX NS

特非 環境対応

「プルーフロンエコ」の環境性能をさらにグレードアップさせた、特化則非該当のウレタン塗膜防水材です。そのため、特化物としての取り扱いは一切不要であり、労務管理や安全管理業務などが軽減されます。仕様などは専用のカタログをご参照ください。

●**標準色**

▲ニューグレー

●**比重**：1.3
●**荷姿**：18kgセット（主剤6kg、硬化剤12kg※）
※夏型、冬型があります。

▲プルーフロンエコDX

▲プルーフロンエコDX NS

●「プルーフロンエコDX」「プルーフロンエコDX NS」は、他の防水材との組み合わせや塗り重ね、取り合いが生じた場合、付着不良が起こるため同一現場で併用しないでください。

プルーフロンエコONE
プルーフロンエコONE NS

特非 環境対応

環境に配慮した特化則非該当、1液タイプのウレタン塗膜防水材です。仕様などは専用のカタログをご参照ください。

●**標準色**

▲グレー

■**プルーフロンエコONE**
●**比重**：1.3
●**荷姿**：18kg
※夏型、冬型があります。

▲プルーフロンエコONE

■**プルーフロンエコONE NS**
●**比重**：1.4
●**荷姿**：5kg
※通年タイプです。

▲プルーフロンエコONE NS

プルーフロンエコ
プルーフロンエコNS

環境対応

鉛・クロムフリー、非トルエン・キシレンをはじめ、厚生労働省室内濃度指針の13物質を使用していない環境対応型のウレタン塗膜防水材です。高い公共性が求められる各種の施設や集合住宅など、環境対策が必要なケースでの使用に適しています。

●**標準色**

▲ニューグレー

●**比重**：1.3
●**荷姿**：18kgセット（主剤6kg、硬化剤12kg※）
※夏型、冬型があります。

▲プルーフロンエコ

▲プルーフロンエコNS

プルーフロンエコホワイト遮熱
プルーフロンエコNSホワイト遮熱

環境対応 遮熱

「プルーフロンエコ」に遮熱性能を付与した機能性ウレタン塗膜防水材です。集合住宅のベランダ、屋上、ルーフバルコニーなどを確実に防水するとともに、居住性の向上や環境改善、ヒートアイランド対策も実現します。

●**標準色**

▲ホワイト遮熱

●**比重**：1.3
●**荷姿**：18kgセット（主剤6kg、硬化剤12kg※）
※通年タイプです（プルーフロンエコ専用硬化促進剤で調整します）。

▲プルーフロンエコホワイト遮熱

▲プルーフロンエコNSホワイト遮熱

各種ホワイト遮熱を使用する場合は、プルーフロンエコ専用硬化促進剤を下記表を参考に添加してください。

硬化促進剤の添加量（18kgセットに対して）	気温	可使時間	次工程までの時間
0.06kg	5℃	50分	20～72時間
0.10kg		30分	16～72時間
0.03kg	10℃	50分	20～72時間
0.06kg		40分	16～72時間
添加なし	15℃	50分	20～72時間
0.03kg		40分	16～72時間
添加なし	20℃	40分	16～72時間
0.03kg		30分	14～72時間
添加なし	25℃	30分	16～72時間
0.03kg		25分	14～72時間
添加なし	30℃	25分	16～72時間
0.03kg		20分	12～72時間

●硬化促進剤は最大1%までの添加としてください。

プルーフロンエコMID

環境対応

鉛・クロムフリー、非トルエン・キシレンをはじめ、厚生労働省室内濃度指針の13物質を使用していない、環境対応型のウレタン塗膜防水材です。適度な粘性があるため、側溝・巾木などに適しています。

●標準色

▲ニューグレー

●比重：1.3
●荷姿：18kgセット
（主剤6kg、硬化剤12kg※）
※夏型、冬型があります。

プルーフロンバリュー
プルーフロンバリューNS

スタンダードタイプのウレタン塗膜防水材です。一般の屋上防水、ベランダ、側溝、ひさしなど、幅広く使用できます。

●標準色

▲ニューグレー

●比重：1.4
●荷姿：20kgセット（主剤5kg、硬化剤15kg※）
※夏型、冬型があります。

▲プルーフロンバリュー

▲プルーフロンバリューNS

プルーフロンC-200エコ
プルーフロンC-200エコNS

特非　環境対応

環境に配慮した特化則非該当、1液タイプのウレタン塗膜防水材です。仕様などは専用のカタログをご参照ください。

●標準色

▲グレー

■プルーフロンC-200エコ
●比重：1.3　**●荷姿**：9kg

■プルーフロンC-200エコNS
●比重：1.4　**●荷姿**：5kg　※通年タイプです。

▲プルーフロンC-200エコ

▲プルーフロンC-200エコNS

プルーフロンエコ目止材

環境対応

鉛・クロムフリー、非トルエン・キシレンをはじめ、厚生労働省室内濃度指針の13物質を使用していない、環境対応型のウレタン塗膜防水材です。パンチシートの目止めに適しています。

●標準色

▲ニューグレー

●比重：1.3
●荷姿：18kgセット
（主剤6kg、硬化剤12kg※）
※夏型、冬型があります。

●標準色は印刷のため、実際の色とは相違があります。ご了承ください。●特注色は納期に日数がかかります。
●実際の標準色は別資料のプルーフロン標準色見本帳をご参照ください。

■トップコートの製品概要

プルーフロンEGトップ4F遮熱

特非 環境対応 遮熱

遮熱機能を有する、4フッ化構造をもった特化則非該当、環境対応型の超高耐候性トップコートです。防水層の表面温度を大幅に下げる効果があり、室内に侵入する熱を軽減します。防水層を強力に保護しメンテナンス周期を延長します。

●標準色

▲ライトグレー　▲ライトグリーン　▲ライトブルー　▲ホワイト

プルーフロンEGトップ4F

特非 環境対応

4フッ化構造をもった特化則非該当、環境対応型の超高耐候性トップコートです。防水層を強力に保護しメンテナンス周期を延長します。仕様などは、専用のカタログをご参照ください。

●標準色

▲グレー

▲グリーン

プルーフロンEGトップ シリコンマイルド

特非 環境対応

弱溶剤型シリコン樹脂のトップコートです。臭気が少なく、耐候性、作業性に優れ、高光沢の仕上りが得られます。

●冬場などで粘度が高い場合はプルーフロンエコシンナーで希釈を行なってください(塗料用シンナーAでは溶解しません)。

●標準色

▲グレー　▲シルバーグレー

▲グリーン

●特注色

▲983ダークグレー　▲433スモークグリーン

▲883ウッドベージュ　▲885ローズブラウン

プルーフロンGRトップエコ

特非 環境対応

環境に配慮した特化則非該当、溶剤型2液アクリルウレタン樹脂のトップコートです。さらにシンナー既調合タイプのため、作業性に優れています。

●標準色

▲グレー

▲グリーン

▲シルバーグレー

●冬場などで粘度が高い場合はプルーフロンエコシンナーで希釈を行なってください(塗料用シンナーAでは溶解しません)。

プルーフロンGRトップ遮熱

遮熱

遮熱機能を有する、溶剤型2液アクリルウレタン樹脂のトップコートです。防水層の表面温度を大幅に下げる効果があり、室内に侵入する熱を軽減します。また、防水層の熱劣化を抑制します。

●標準色

▲グレー　▲ライトグレー　▲ライトグリーン

▲ライトブルー　▲ホワイト

プルーフロンGRトップ フッ素

フッ素樹脂の特性を生かしたウレタン塗膜防水材専用の高耐候性トップコートです。屋上やバルコニーなど、過酷な個所の防水層を酸性雨や紫外線から守り、メンテナンス周期を延長できます。

●標準色

▲グレー

▲グリーン

ブルーフロンGRトップ

溶剤型2液アクリルウレタン樹脂の特性を生かした標準的なトップコートです。弾力のある塗膜を形成し、耐候性に優れた高光沢の仕上がりが得られます。

●標準色

▲グレー　▲グリーン　▲シルバーグレー

ブルーフロンGRトップ艶消T

「ブルーフロンGRトップ」に軽量骨材を配合した艶消しタイプのトップコートです。シックな仕上がりと適度な防滑性が得られます。

●標準色

▲グレー

▲グリーン

ブルーフロンエコ水性GRトップ遮熱

特非　環境対応　遮熱

環境に配慮した特化則非該当、2液水性タイプでアクリルウレタン樹脂のトップコートです。防水層の表面温度を大幅に下げる効果があり、室内へ侵入する熱を軽減します。さらに、防水層の熱劣化を抑えるとともに、耐久性を向上させるトップコートです。

●標準色

▲グレー

ブルーフロンエコ水性GRトップ

特非　環境対応

環境対応とVOC削減を目指し、「ブルーフロンGRトップ」の水性タイプとして開発した特化則非該当、2液アクリルウレタン樹脂塗料です。乾燥が速く、耐候性に優れた水性トップコートです。

●標準色

▲グレー　▲シルバーグレー

▲グリーン

●特注色

▲983ダークグレー　▲433スモークグリーン

▲883ウッドベージュ　▲885ローズブラウン

ブルーフロンエコ水性トップ

特非　環境対応

アクリルエマルション樹脂を主成分とする特化則非該当、1液水性タイプのトップコートです。無機質系骨材入り既調合タイプで適度な防滑性が得られるとともに作業性にも優れています。

●標準色

▲グレー

▲グリーン

ブルーフロン水性上塗シルバー〈非歩行タイプ〉

特非　環境対応

特殊変成アクリルエマルションを使用した特化則非該当、1液水性タイプのシルバー仕上げ塗料です。臭気が少なく、作業性に優れます。

●標準色

※実際はシルバー色となります。

▲シルバー

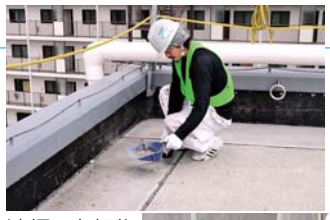
●標準色は印刷のため、実際の色とは相違があります。ご了承ください。
●実際の標準色は別資料のブルーフロン標準色見本帳をご参照ください。
●別途、トップコートとしてユータックFTも用意しています。
●特注色は価格が割高になります。また、納期は受注後1週間程度となります。
●その他、当社のユータック標準色見本および建築外装用標準見本もご参照ください。
●荷姿は予告なく変更する場合があります。

確実な防水効果のために――。

■施工フロー

1 素地調整

屋上防水改修施工前



清掃・突起物などの処理

著しい汚れは漏水に配慮し、高圧水洗浄などで除去してください。

下地処理では必要に応じ、NTカチオンタイトFなどで下地処理を行なってください。

下地処理完了

2 接着剤および通気緩衝シートの施工

接着剤(プルーフロンNT-Fエコボンド H)の施工

通気緩衝シート(プルーフロンNT-Fシート#2)の施工

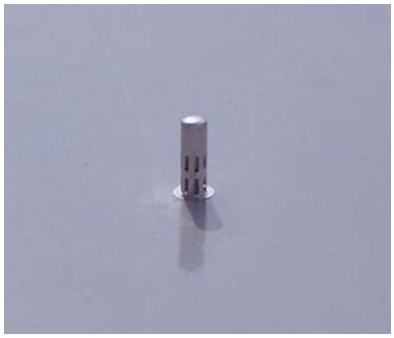
3 プルーフロンの施工

防水材の調合

立上り部はNSタイプを使用するか、増粘剤を調合した平場用ウレタン防水材で施工してください。

脱気筒の取り付け

通気緩衝工法は脱気筒の設置が必要となります。



防水材の施工（1層目）

防水材の施工（2層目）

4 トップコートの施工

トップコートをローラー・刷毛で施工してください。

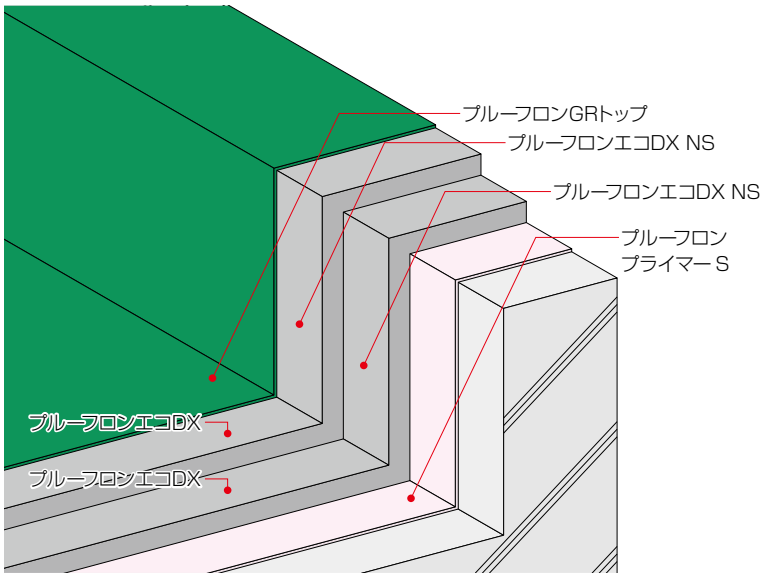
完成

PM工法［密着工法］

PM工法は一般的なウレタン塗膜防水材の密着工法で、複雑な形状に簡単に対応し、シームレスな仕上がりが得られます。

用途
- ベランダ、バルコニー
- ひさし、パラペット
- 役物の多い屋根防水
- 開放廊下など

●PM-D30Gの施工例



［プルーフロンエコDX特化則非該当仕様・環境対応仕様］

工法名＼工程	①	②	③	④
PM-D20GE（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンエコプライマー 0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	プルーフロンGRトップエコ 0.2kg/㎡
PM-D30GE（平均塗膜厚：3.0㎜）		プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.9kg/㎡	
PMT-D20GE（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		プルーフロンエコDX NS 1.3kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 1.3kg/㎡	

［プルーフロンエコDX特化則非該当仕様・環境対応低臭仕様］

工法名＼工程	①	②	③	④
PM-D20WG（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンエコ 水性プライマーホワイト 0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	プルーフロンエコ水性GRトップ 0.2kg/㎡
PM-D30WG（平均塗膜厚：3.0㎜）		プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.9kg/㎡	
PMT-D20WG（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		プルーフロンエコDX NS 1.3kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 1.3kg/㎡	

［プルーフロンエコDX特化則非該当仕様（屋外限定）］

工法名＼工程	①	②	③	④
PM-D20G（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
PM-D30G（平均塗膜厚：3.0㎜）		プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.9kg/㎡	
PMT-D20G（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		プルーフロンエコDX NS 1.3kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 1.3kg/㎡	

［プルーフロンエコ一般仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹
PM-E20G（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンエコ 1.3kg/㎡	プルーフロンエコ 1.3kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
PM-E30G（平均塗膜厚：3.0㎜）		プルーフロンエコ 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ 1.9kg/㎡	
PMT-E20G（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		プルーフロンエコNS 1.3kg/㎡	プルーフロンエコNS 1.3kg/㎡	

［プルーフロンバリュー仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹
PM-V20G（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.4kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.4kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
PM-V30G（平均塗膜厚：3.0㎜）		プルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	プルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	
PMT-V20G（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		プルーフロンバリューNS 1.4kg/㎡	プルーフロンバリューNS 1.4kg/㎡	

【PM工法の注意事項】

- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- トップコートは各種選択可能です(57 58ページの一覧表をご参照ください)。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください(53 54ページの適合表をご参照ください)。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- 作業手順は一般施工仕様書をご参照ください。
- 立上り工法には、平場用に各種増粘剤(55 56ページ参照)を添加して使用可能です。
- プルーフロンエコ仕様の場合は、プルーフロンエコの代わりにプルーフロンエコMIDもご使用いただけます。

塗布量工法

PM-VW工法　密着塗布量［プルーフロンバリュー仕様］

工法の防水層の種類の次にWの記号を付けると㎡に対する塗布量工法となります。

W2.5=2.5kg/㎡　**W3.0**=3.0kg/㎡　**W3.5**=3.5kg/㎡　**W4.0**=4.0kg/㎡

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹
PM-VW2.5G	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.2kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.3kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
PM-VW3.0G		プルーフロンバリュー 1.5kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.5kg/㎡	
PM-VW3.5G		プルーフロンバリュー 1.7kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.8kg/㎡	
PM-VW4.0G		プルーフロンバリュー 2.0kg/㎡	プルーフロンバリュー 2.0kg/㎡	
PMT-VW2.5G（立上り）	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンバリューNS 1.2kg/㎡	プルーフロンバリューNS 1.3kg/㎡	
PMT-VW3.0G（立上り）		プルーフロンバリューNS 1.5kg/㎡	プルーフロンバリューNS 1.5kg/㎡	
PMT-VW3.5G（立上り）		プルーフロンバリューNS 1.7kg/㎡	プルーフロンバリューNS 1.8kg/㎡	

【PM-VW工法の注意事項】

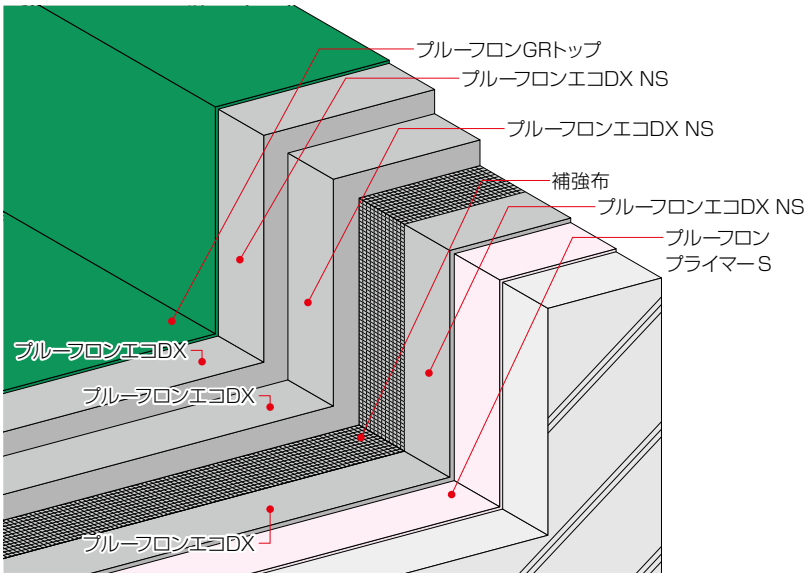
- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- トップコートは各種選択可能です(57 58ページの一覧表をご参照ください)。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください(53 54ページの適合表をご参照ください)。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- 作業手順は一般施工仕様書をご参照ください。
- 立上り工法には、平場用に液状ダレ止め剤を添加して使用可能です。

PG工法［密着補強布入り工法］

PG工法は均一で必要な膜厚を確保できる密着補強布入りの工法です。立上り部ではダレ下がり防止効果があります。また、防水層の補強効果もあり、下地の経年変形による防水層の破断も抑制できます。

用途
- ●一般屋上
- ●役物の多い屋根防水
- ●バルコニー、ベランダ
- ●ひさし、パラペット
- ●入隅、出隅など

●PG-D30Gの施工例



［プルーフロンエコDX特化則非該当仕様・環境対応仕様］

工法名＼工程	①	②	③	④	⑤	⑥
PG-D20GE（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンエコプライマー 0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコDX 1.2kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.1kg/㎡	プルーフロンGRトップエコ 0.2kg/㎡
PG-D30GE（平均塗膜厚：3.0㎜）				プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.6kg/㎡	
PGT-D20GE（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		プルーフロンエコDX NS 0.3kg/㎡		プルーフロンエコDX NS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 1.1kg/㎡	

［プルーフロンエコDX特化則非該当仕様・環境対応低臭仕様］

工法名＼工程	①	②	③	④	⑤	⑥
PG-D20WG（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンエコ水性プライマーホワイト 0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコDX 1.2kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.1kg/㎡	プルーフロンエコ水性GRトップ 0.2kg/㎡
PG-D30WG（平均塗膜厚：3.0㎜）				プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.6kg/㎡	
PGT-D20WG（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		プルーフロンエコDX NS 0.3kg/㎡		プルーフロンエコDX NS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 1.1kg/㎡	

［プルーフロンエコDX特化則非該当仕様（屋外限定）］

工法名＼工程	①	②	③	④	⑤	⑥
PG-D20G（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコDX 1.2kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.1kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
PG-D30G（平均塗膜厚：3.0㎜）				プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.6kg/㎡	
PGT-D20G（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		プルーフロンエコDX NS 0.3kg/㎡		プルーフロンエコDX NS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 1.1kg/㎡	

［プルーフロンエコ一般仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
PG-E20G（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンエコ 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコ 1.2kg/㎡	プルーフロンエコ 1.1kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
PG-E30G（平均塗膜厚：3.0㎜）				プルーフロンエコ 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ 1.6kg/㎡	
PGT-E20G（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		プルーフロンエコNS 0.3kg/㎡		プルーフロンエコNS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコNS 1.1kg/㎡	

［プルーフロンバリュー仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
PG-V20G（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンバリュー 0.4kg/㎡	補強布	プルーフロンバリュー 1.2kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.2kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
PG-V30G（平均塗膜厚：3.0㎜）				プルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.7kg/㎡	
PGT-V20G（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		プルーフロンバリューNS 0.4kg/㎡		プルーフロンバリューNS 1.3kg/㎡	プルーフロンバリューNS 1.1kg/㎡	

【PG工法の注意事項】

- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- トップコートは各種選択可能です（57 58ページの一覧表をご参照ください）。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください（53 54ページの適合表をご参照ください）。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- 作業手順は一般施工仕様書をご参照ください。
- 立上り工法には、平場用に各種増粘剤（55 56ページ参照）を添加して使用可能です。
- プルーフロンエコ仕様の場合は、プルーフロンエコの代わりにプルーフロンエコMIDもご使用いただけます。

塗布量工法

PG-VW工法　密着補強布塗布量［プルーフロンバリュー仕様］

工法の防水層の種類の次にWの記号を付けると㎡に対する塗布量工法となります。

W2.5=2.5kg/㎡　**W3.0**=3.0kg/㎡　**W3.5**=3.5kg/㎡　**W4.0**=4.0kg/㎡

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
PG-VW2.5G	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンバリュー 0.4kg/㎡	補強布	プルーフロンバリュー 1.1kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.0kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
PG-VW3.0G				プルーフロンバリュー 1.3kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.3kg/㎡	
PG-VW3.5G				プルーフロンバリュー 1.6kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.5kg/㎡	
PG-VW4.0G				プルーフロンバリュー 1.8kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.8kg/㎡	
PGT-VW2.5G（立上り）	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンバリューNS 0.4kg/㎡	補強布	プルーフロンバリューNS 1.1kg/㎡	プルーフロンバリューNS 1.0kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
PGT-VW3.0G（立上り）				プルーフロンバリューNS 1.5kg/㎡	プルーフロンバリューNS 1.1kg/㎡	
PGT-VW3.5G（立上り）				プルーフロンバリューNS 1.6kg/㎡	プルーフロンバリューNS 1.5kg/㎡	

【PG-VW工法の注意事項】

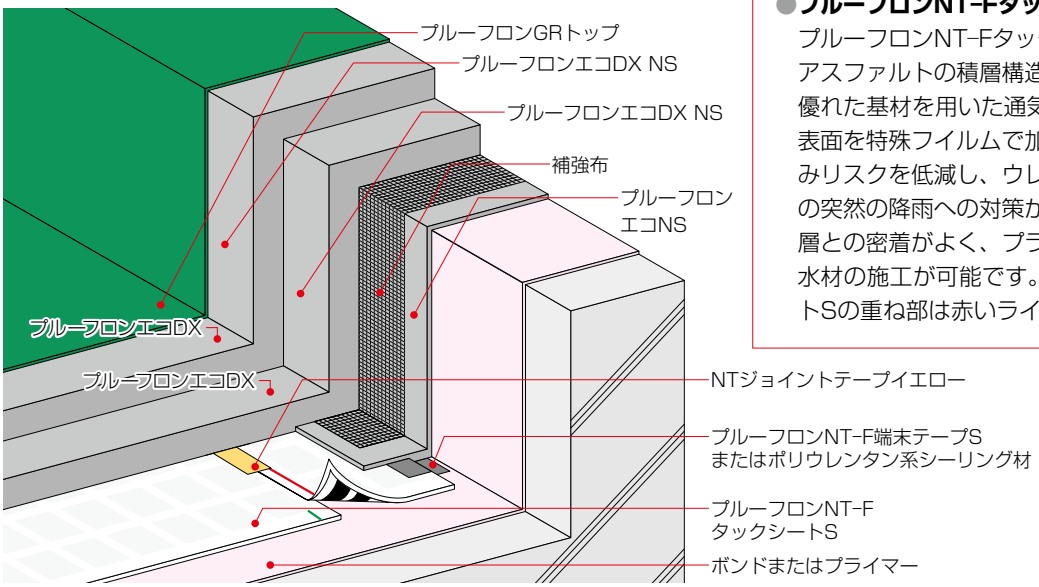
- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- トップコートは各種選択可能です（57 58ページの一覧表をご参照ください）。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください（53 54ページの適合表をご参照ください）。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- 作業手順は一般施工仕様書をご参照ください。
- 立上り工法には、平場用に各種増粘剤（55 56ページ参照）を添加して使用可能です。

PN工法［通気緩衝工法］

PN工法は屋根防水に最適な通気緩衝シートを用いた防水工法で、長期にわたる防水性能があります。
下地の動きに対応でき、下地の水分を拡散して脱気筒から放出し、防水層のフクレを抑制する工法です。

用途 ●一般屋上など

●PN-D30Gの施工例（プルーフロンNT-Fタックシート S）



●プルーフロンNT-Fタックシート Sの特長

プルーフロンNT-Fタックシート Sはガラス補強布と改質アスファルトの積層構造からなり、強靭で寸法安定性に優れた基材を用いた通気緩衝シートです。また、シート表面を特殊フイルムで加工することにより、水のしみ込みリスクを低減し、ウレタン防水材を施工するまでの間の突然の降雨への対策が可能です。特殊フイルムは防水層との密着がよく、プライマーなしでのウレタン塗膜防水材の施工が可能です。プルーフロンNT-Fタックシート Sの重ね部は赤いラインが上となります。

［プルーフロンエコDX特化則非該当仕様・環境対応仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
PN-D20GE（平均塗膜厚：2.0㎜）	環境対応型接着剤（ボンドまたはプライマー）	通気緩衝シート	プルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	プルーフロンGRトップエコ 0.2kg/㎡	
PN-D30GE（平均塗膜厚：3.0㎜）			プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.9kg/㎡		
PGT-D20GE（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンエコプライマー 0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコDX NS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 1.1kg/㎡	プルーフロンGRトップエコ 0.2kg/㎡

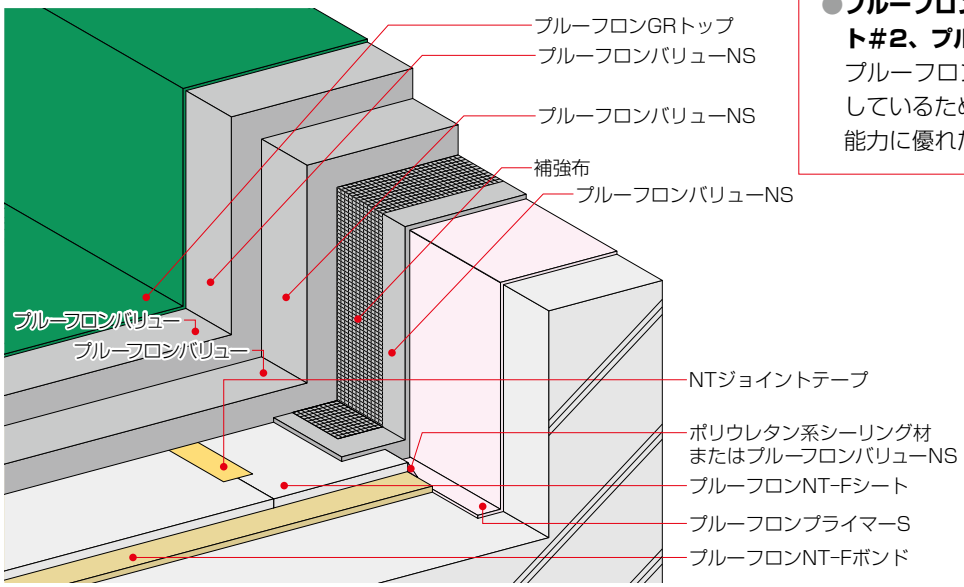
［プルーフロンエコDX特化則非該当仕様（屋外限定）］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
PN-D20G（平均塗膜厚：2.0㎜）	環境対応型接着剤（ボンドまたはプライマー）	通気緩衝シート	プルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡	
PN-D30G（平均塗膜厚：3.0㎜）			プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.9kg/㎡		
PGT-D20G（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコDX NS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 1.1kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡

［プルーフロンエコ一般仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
PN-E20G（平均塗膜厚：2.0㎜）	接着剤（ボンドまたはプライマー）	通気緩衝シート	プルーフロンエコ 1.3kg/㎡	プルーフロンエコ 1.3kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡	
PN-E30G（平均塗膜厚：3.0㎜）			プルーフロンエコ 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ 1.9kg/㎡		
PGT-E20G（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンプライマー S 0.2kg/㎡	プルーフロンエコNS 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコNS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコNS 1.1kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡

●PN-V30Gの施工例（プルーフロンNT-Fシート）



●プルーフロンNT-Fシート（プルーフロンNT-Fシート#2、プルーフロンNT-Fパンチシート）の特長

プルーフロンNT-Fシートは繊維マットを主成分としているため伸びがあり、下地の動きに対し、対応能力に優れた通気緩衝シートです。

［プルーフロンバリュー仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
PN-V20G（平均塗膜厚：2.0㎜）	接着剤（ボンドまたはプライマー）	通気緩衝シート	プルーフロンバリュー 1.4kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.4kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡	
PN-V30G（平均塗膜厚：3.0㎜）			プルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	プルーフロンバリュー 2.1kg/㎡		
PGT-V20G（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンバリューNS 0.4kg/㎡	補強布	プルーフロンバリューNS 1.3kg/㎡	プルーフロンバリューNS 1.1kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡

［プルーフロンエコでパンチシートを使用した場合の一般仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
PN-E30G（平均塗膜厚：3.0㎜）	プルーフロンNT-F エコボンドH	プルーフロンNT-F パンチシート	プルーフロンエコ目止材 1.3kg/㎡	プルーフロンエコ 1.5kg/㎡	プルーフロンエコ 1.4kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
PGT-E20G（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンエコNS 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコNS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコNS 1.1kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡

【PN工法の注意事項】

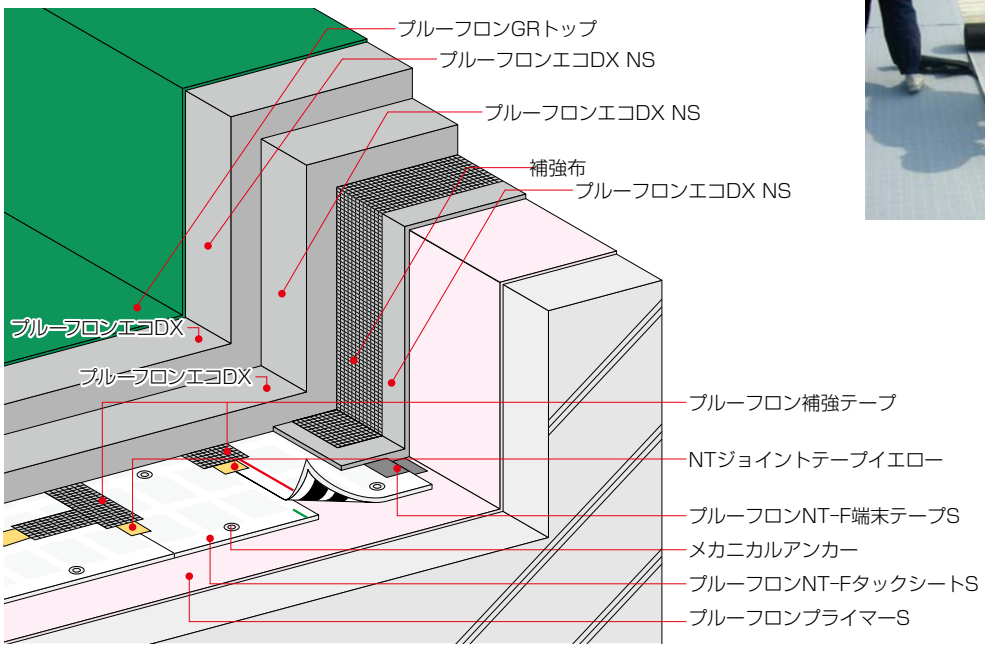
- ●各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- ●トップコートは各種選択可能です（❼❽ページの一覧表をご参照ください）。
- ●接着用ボンドの塗布量は、❾ページの一覧表をご参照ください。
- ●接着用ボンドと通気緩衝シートの組み合わせは、❾ページの適合表をご参照ください。
- ●プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください（❺❻ページの適合表をご参照ください）。
- ●必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- ●各通気緩衝シートのジョイント、端末処理方法については❹❹～❺❷ページをご参照ください。
- ●作業手順は一般施工仕様書をご参照ください。
- ●立上がり工法には、平場用に各種増粘剤（❺❺❺❻ページ参照）を添加して使用可能です。
- ●通気緩衝シート（プルーフロンNT-Fシート、プルーフロンNT-Fシート#2、プルーフロンNT-Fパンチシート）を張り付ける際に降雨にあいますとシートに水分を含むことになります。必ずウレタン塗膜防水材1層目を施工し、雨仕舞いを行なったうえで作業を終了してください。また、プルーフロンNT-FタックシートS、プルーフロンNT-Fシート#2（フイルム付き）についてもシート端部の雨仕舞いを行なってください。
- ●プルーフロンNT-FタックシートSの重ね部は赤いラインが上となります。
- ●プルーフロンNT-FタックシートSの裏面には接着層が0.2kg/㎡コーティングされています。
- ●プルーフロンNT-Fパンチシートにプルーフロンエコ目止材を使用した場合、プルーフロンエコDXは使用できません。
- ●プルーフロンエコ仕様の場合は、プルーフロンエコの代わりにプルーフロンエコMIDもご使用いただけます。
- ●既存が塩ビシート防水の場合、NT塩ビシート用プライマーを使用してください。詳細は最寄りの営業所へお問い合わせください。

PK工法［機械的固定工法］

PK工法（機械的固定工法）は強靭な「プルーフロンNT-FタックシートS」を「メカニカルアンカー」で下地に固定し、ウレタン塗膜防水材で仕上げる通気緩衝複合機械的固定工法です。既存のさまざまな下地でも大がかりな処理を必要とせずに施工できるため、下地処理の省力化や廃材の削減ができることが最大の特長です。また、下地に残る水分はプルーフロンNT-FタックシートSの裏側を自由に移動し、拡散されるとともに、専用の脱気装置により、外部に放出されます。さらに、防水層は下地の動きによるひび割れなどの影響を受けにくく、改修工事に最適な工法です。

用途 ●一般屋上など

●PK-D30Gの施工例



●施工手順

▲施工前

▲プルーフロンNT-FタックシートSの張り付け

▲ジョイントテープの施工

▲ドリルで穴開け（ドリル径8㎜）

▲メカニカルアンカーの打ち込み

▲メカニカルアンカー座金頭のシール処理

▲通気緩衝シートの機械固定終了

▲ウレタン塗膜防水材の施工

［プルーフロンエコDX特化則非該当仕様・環境対応仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
PK-D30GE（平均塗膜厚：3.0㎜）	下地の状況により環境対応型接着剤（ボンドまたはプライマー）	プルーフロンNT-F タックシートS	メカニカルアンカー	プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.9kg/㎡	プルーフロン GRトップエコ 0.2kg/㎡
PGT-D20GE（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンエコ プライマー 0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコDX NS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 1.1kg/㎡	

［プルーフロンエコDX特化則非該当仕様（屋外限定）］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
PK-D30G（平均塗膜厚：3.0㎜）	下地の状況により ボンドまたはプライマー もしくは不要	プルーフロンNT-F タックシートS	メカニカルアンカー	プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.9kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
PGT-D20G（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコDX NS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 1.1kg/㎡	

［プルーフロンエコ一般仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
PK-E30G（平均塗膜厚：3.0㎜）	※下地状況により ボンドまたはプライマー もしくは不要	プルーフロンNT-F タックシートS	メカニカルアンカー	プルーフロンエコ 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ 1.9kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
PGT-E20G（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンエコNS 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコNS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコNS 1.1kg/㎡	

［プルーフロンバリュー仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
PK-V30G（平均塗膜厚：3.0㎜）	※下地状況により ボンドまたはプライマー もしくは不要	プルーフロンNT-F タックシートS	メカニカルアンカー	プルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	プルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
PGT-V20G（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンバリューNS 0.4kg/㎡	補強布	プルーフロンバリューNS 1.3kg/㎡	プルーフロンバリューNS 1.1kg/㎡	

【PK工法の注意事項】

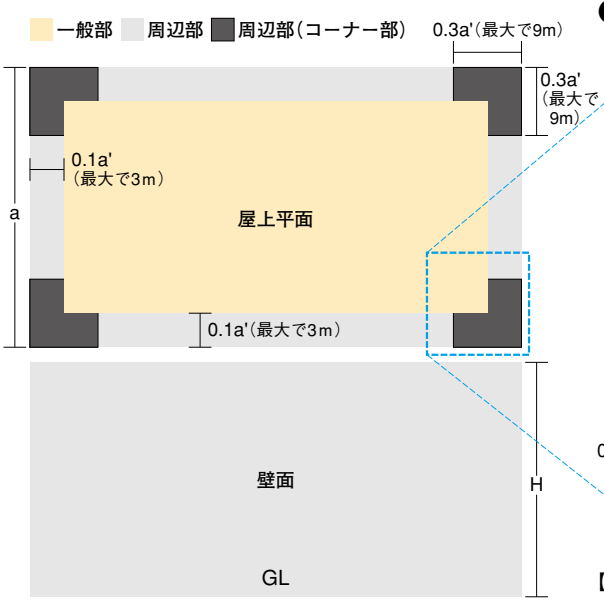
- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- トップコートは各種選択可能です（57 58ページの一覧表をご参照ください）。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください（53 54ページの適合表をご参照ください）。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- プルーフロンNT-FタックシートSの重ね部は赤いラインが上となります。
- 下地の状態やALC下地の場合など、現地で測定したメカニカルアンカーの引き抜き強度が充分でない場合は別途、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- PK工法はメカニカルアンカーを用いた特殊な工法となります。防水層の厚みが薄い場合、メカニカルアンカーの跡が目立ちやすいため、防水層の膜厚は3㎜厚以上を必ず確保してください。
- プルーフロンNT-FタックシートSのジョイント、端末処理方法については22、44〜50ページをご参照ください。
- メカニカルアンカーの取り付け方法については21 22ページをご参照ください。
- 立上り工法には、平場用に増粘剤（55 56ページ参照）を添加して使用可能です。
- プルーフロンエコ仕様の場合は、プルーフロンエコの代わりにプルーフロンエコMIDもご使用いただけます。
- 既存が塩ビシート防水の場合、NT塩ビシート用プライマーを使用してください。詳細は最寄りの営業所へお問い合わせください。

プルーフロンPK/PKD工法耐風圧性について（標準アンカーピン固定数と割付）

プルーフロンPK/PKD工法は機械的固定ですので強風により、防水層が飛ばされないようにするために適切な割付によるアンカーピンの固定が必要です。

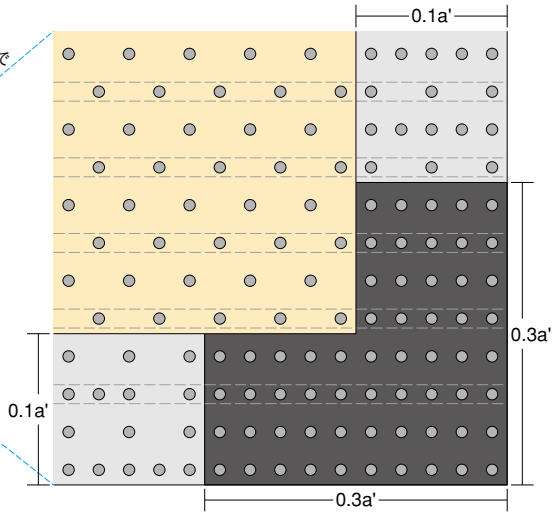
●屋根面にかかる風圧力

屋上で風が吹いたときには、防水層を上に引き上げる力が働きます。その力は屋根面の部位により、強さが異なります。力の強さは一般部＜周辺部＜コーナー部の順に風圧が強くなります。したがって、部位によって必要なメカニカルアンカーピンの割付数が異なります。



H：建築物の高さと軒の高さの平均（m）
a'：平面の短辺長さ（a）とHの2倍の数値のうち、いずれか小さい数値
（ただし、30mを超える場合は、30mとする）

●メカニカルアンカーピンの割付図（代表例）



【アンカー標準固定数】
●一般部：2個/㎡ ●周辺部：3個/㎡ ●コーナー部：4個/㎡

基準風速の強い地域や海岸沿い、高層の建物など、強風にさらされる建物では風圧力が増加するため、標準固定数では充分な安全率が確保できない場合がありますので、最寄りの営業所へご相談ください。

●プルーフロンPK/PKD工法の耐風圧性

プルーフロンPK/PKD工法は耐風圧計算に基づき、最適な割付数量を設定しています。

■耐風圧性の計算

建築基準法・建築基準法施工令（第82条の5）・告示（平12建告第1454号・1458号）「屋根ふき材および野外に面する帳壁の風圧に対する構造体力上の安全性を確めるため構造計算の基準を定める件」に基づき、下記設定条件において耐風圧性能の計算を行ないます。

●設定条件

耐風圧性を計算する際の標準的なモデルを設定します。

- **建物の高さ（H）：30m**
- **勾配：1／100**
- **建物の短辺方向の長さ（a）：50m**
- **地表面粗度区分：Ⅲ（標準的な地域が該当）**

●風圧力の計算方法

屋根にかかる風圧力は平成12年建設省告示1458号に定める計算式により求められます。

$W=q\times Cf$　W：風圧力（N/㎡）　q：平均速度圧（N/㎡）　Cf：ピーク風圧係数

平均速度圧は次式で求められます。

$q=0.6\times Er^2\times Vo^2$　Er＝平均速度の高さ方向の分布を表す係数　Vo＝基準風速

基準風速は、全国の市町村単位で細かく分類し、その土地で吹く風の基準として30～46mの8段階に分類されています。代表例として、基準風速38m/sを用いて風圧力を計算します。

●風圧力の計算結果

	固定力 N/㎡(A)
一般部	－2,118
周辺部	－2,710
コーナー部	－3,642

●メカニカルアンカー引き抜き強度

	モルタル
埋め込み深さ（㎜）	30
強度（N/本）	2,450N

※標準モルタル下地となります。

●プルーフロンPK工法の安全率

	風圧力の計算結果 固定力 N/㎡(A)	下地モルタル面 アンカー本数/㎡	下地モルタル面 固定力 N/㎡(B)	風速38m/sの場合の 安全率B÷A×100
一般部	－2,118	2本	4,900N	231%
周辺部	－2,710	3本	7,350N	271%
コーナー部	－3,642	4本	9,800N	269%

■プルーフロンPK/PKD工法の安全率

※必要な耐風圧力は一般的に対象建物の風圧力に対し、2倍の安全率をみています。
※施工面（屋上）は、一般部、周辺部、コーナー部に分類されます。それぞれの係数に応じて、㎡当たりの使用固定金具数の計算が必要となります。

お問い合わせの際は「下地種類」「地方の区分」「地表面粗度区分」「建築物の高さ、幅」「現場下地のアンカー引き抜き強度」などの情報をご用意ください。

●地表面粗度区分

Ⅰ：海上のようなほとんど障害物の無い平坦地。
（例）海岸地帯、海上

Ⅱ：田園地帯や草原のような農作物程度の障害物がある平坦地。
（例）田園地帯、沿岸地帯、飛行場

Ⅲ：樹木・低層建築物が密集、もしくは中層建築物が散在する地域。
（例）森林地帯、工場地帯、都市周辺の住宅地

Ⅳ：中・高層建築物が主となる市街地。
（例）中高層市街地、中小都市

●施工チャート

下地の点検と処理
↓
ドレンの処理
↓
平場
プルーフロンNT-FタックシートSの割付･墨出し後に敷設･張り付け
※NTタックシートA、プルーフロンNT-Fシート、プルーフロンNT-Fシート＃2はご使用できません。
↓
プルーフロンNT-FタックシートSの端末部テープ処理
↓
ジョイントテープ処理
↓
メカニカルアンカーの打ち込み個所割付･墨出し後に穴開け･清掃･メカニカルアンカー打ち込み
↓
短手方向ジョイントへ補強テープの張り付け
↓
補強テープの張り付け部へ目止め
↓
脱気筒の取り付け
↓
ウレタン塗膜防水材の塗布
↓
養生･点検
↓
トップコートの塗布

立上り
プライマーの塗布 ↓ ウレタン塗膜防水材の塗布

■プルーフロンNT-FタックシートSのジョイント処理方法

①短辺、長辺方向ともにNTジョイントテープイエローを張り付けます。
②所定の位置にメカニカルアンカーを打ち込みます。
③短辺方向のみNTジョイントテープイエローの上にプルーフロン補強テープを張り付けます（2枚張り）。
④短辺：ウレタン塗膜防水材立上り用を塗布します。

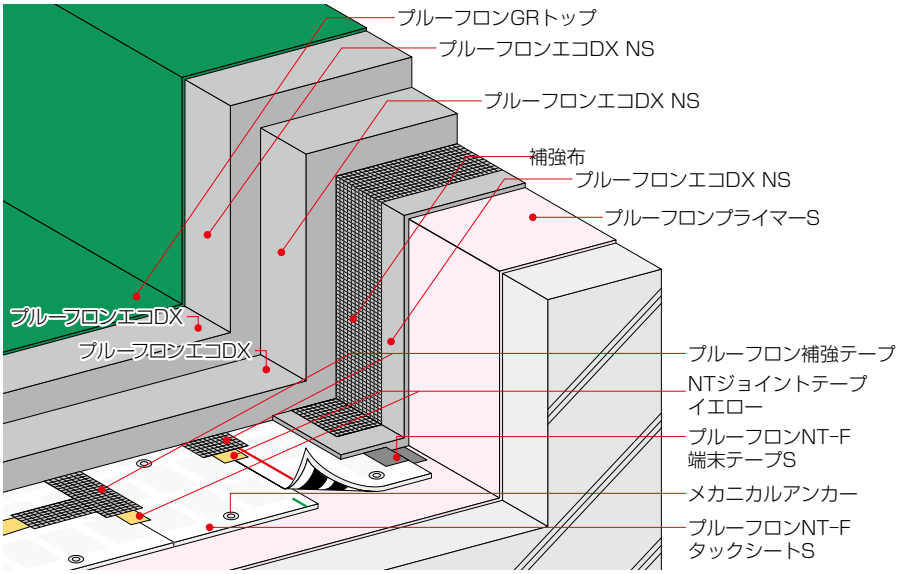
■プルーフロンNT-FタックシートSの端末処理方法

●端末になる部分はプルーフロンNT-F端末テープSをメカニカルアンカー、または押さえ金物に被るように張り付けしてください。

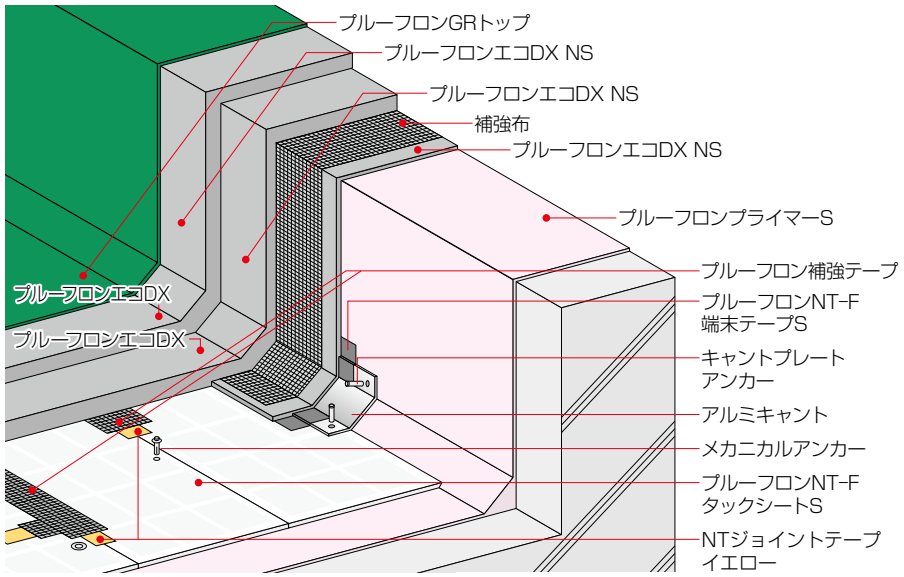
■メカニカルアンカー座金処理方法

●メカニカルアンカー座金部分で補強テープが被らない座金露出部分は、ウレタン塗膜防水材+液状ダレ止め剤、またはウレタン塗膜防水材立上り用、またはウレタンシーリング材を塗布し、補修塗りを行なってください。

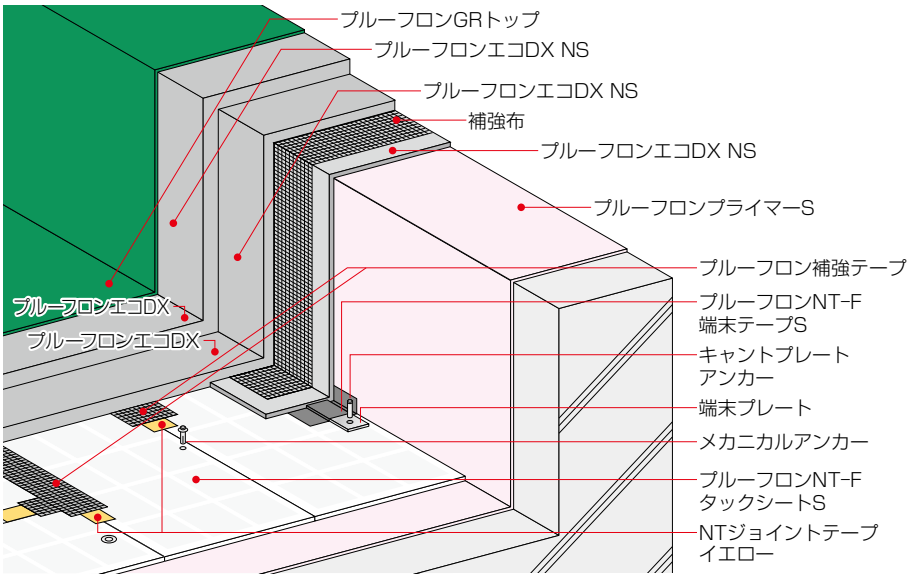
●標準仕様の施工例



●アルミキャント仕様の施工例



●端末プレート仕様の施工例

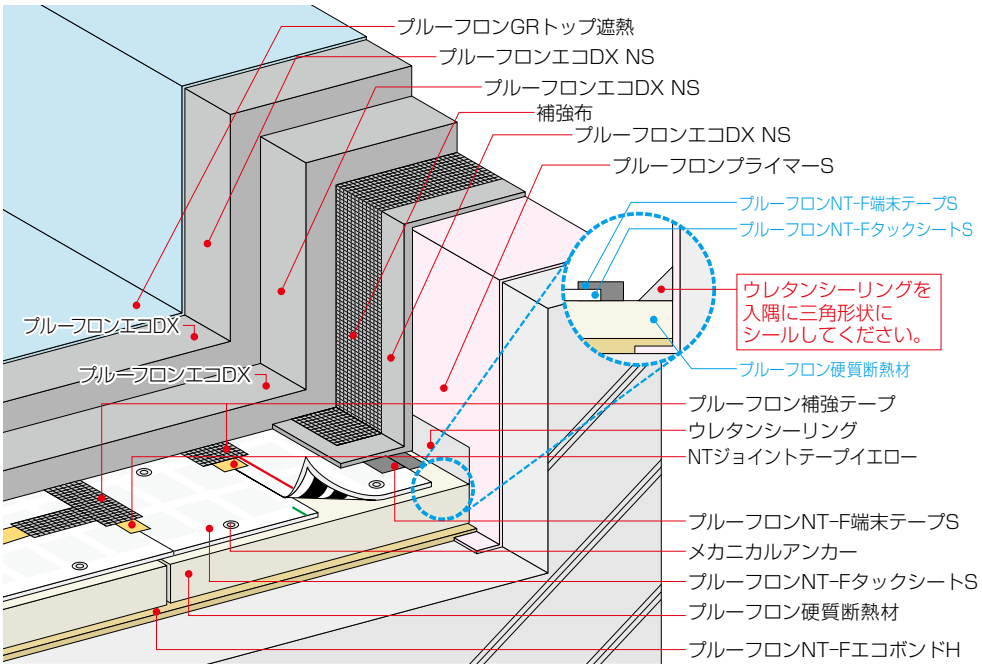


PKD工法［機械的固定・断熱・遮熱工法］

PKD工法は「プルーフロンNT-Fタックシート S」を「メカニカルアンカー」で下地に固定する機械的固定工法と断熱材を組み合わせ、さらに遮熱性を付与した工法です。

用途　●一般屋上など

●PKD-D30Sの施工例



［プルーフロンエコDX特化則非該当仕様・環境対応低臭仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼
PKD-D30WS（平均塗膜厚：3.0㎜）	プルーフロンNT-F エコボンドH 0.3〜0.6kg/㎡	プルーフロン 硬質断熱材	プルーフロンNT-F タックシートS	メカニカルアンカー	プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.9kg/㎡	プルーフロンエコ 水性GRトップ遮熱 0.2kg/㎡
PGT-D20WS（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンエコ プライマー 0.2kg/㎡	プルーフロン エコDX NS 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロン エコDX NS 1.2kg/㎡	プルーフロン エコDX NS 1.1kg/㎡	プルーフロンエコ 水性GRトップ遮熱 0.2kg/㎡	

［プルーフロンエコDX特化則非該当仕様（屋外限定）］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼
PKD-D30S（平均塗膜厚：3.0㎜）	プルーフロンNT-F エコボンドH 0.3〜0.6kg/㎡	プルーフロン 硬質断熱材	プルーフロンNT-F タックシートS	メカニカルアンカー	プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.9kg/㎡	プルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/㎡
PGT-D20S（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロン エコDX NS 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロン エコDX NS 1.2kg/㎡	プルーフロン エコDX NS 1.1kg/㎡	プルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/㎡	

［プルーフロンエコ一般仕様］ 遮熱

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼
PKD-E30S（平均塗膜厚：3.0㎜）	プルーフロン NT-Fエコボンド H 0.3kg/㎡	プルーフロン 硬質断熱材	プルーフロン NT-Fタックシート S	メカニカルアンカー	プルーフロンエコ 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ 1.9kg/㎡	プルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/㎡
PGT-E20S（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロン プライマー S 0.2kg/㎡	プルーフロンエコNS 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコNS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコNS 1.1kg/㎡	プルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/㎡	

［プルーフロンバリュー仕様］ 遮熱

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼
PKD-V30S（平均塗膜厚：3.0㎜）	プルーフロン NT-Fエコボンド H 0.3kg/㎡	プルーフロン 硬質断熱材	プルーフロン NT-Fタックシート S	メカニカルアンカー	プルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	プルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	プルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/㎡
PGT-V20S（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロン プライマー S 0.2kg/㎡	プルーフロン バリューNS 0.4kg/㎡	補強布	プルーフロン バリューNS 1.3kg/㎡	プルーフロン バリューNS 1.1kg/㎡	プルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/㎡	

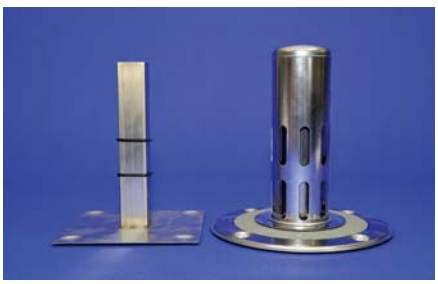
【PKD工法の注意事項】

- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください（53・54ページの適合表をご参照ください）。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- ステンレス脱気筒は、専用コア付きタイプが必要となる場合があります（詳細は最寄りの営業所へお問い合わせください）。
- プルーフロン硬質断熱材およびプルーフロンNT-Fタックシートsの端末処理方法については、❷❷、❹❹～❺❼ページをご参照ください。
- 立上り工法は、平場用に各種増粘材（55・56ページ）を添加して使用可能です。
- 防水層としてプルーフロンエコをご使用いただく場合、色相としてホワイト遮熱を選定していただきますと、遮熱効果をさらに高めることができます。
- プルーフロンGRトップ遮熱の淡彩色（ライトグレー、ライトグリーン、ライトブルー、ホワイト）を選定した場合、隠蔽性確保のため2回塗りとなる場合があります。
- プルーフロンエコ仕様の場合は、プルーフロンエコの代わりにプルーフロンエコMIDもご使用いただけます。

●ステンレス脱気筒プラススリーステンレス・コア付き

●**付属品（1組につき）**：
プラグレスアンカー（径4㎜×35㎜）8本
補強クロス1枚

●**荷姿**：
ステンレス脱気筒プラススリーステンレス・コア付1ケース2組入り

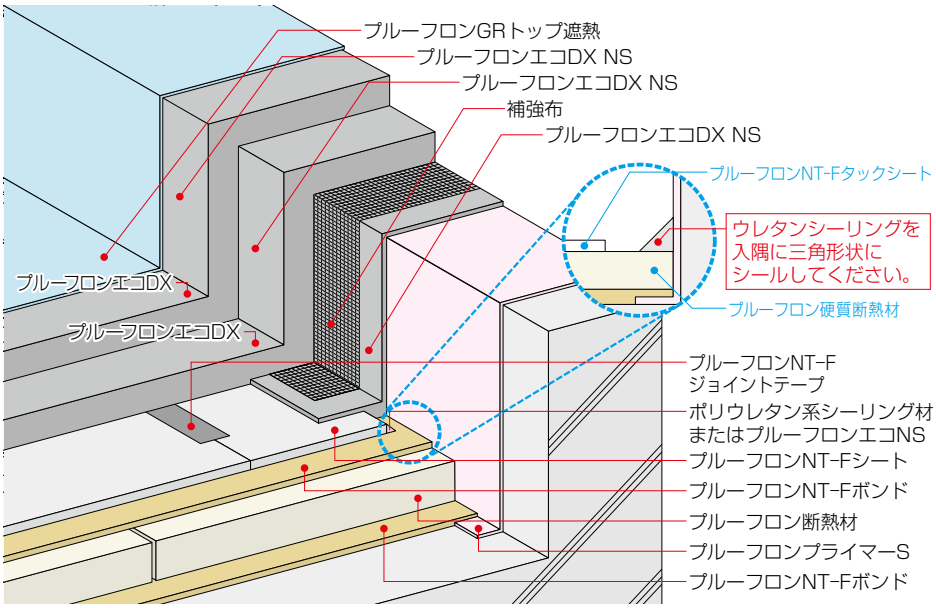


PD工法［断熱・遮熱工法］

PD工法は屋上からの熱を遮断することにより、室内への熱の侵入を防ぎ、建物の躯体の劣化を抑制する断熱材を用いた工法です。トップコートに遮熱仕様を用いることで、さらなる遮熱効果を発揮します。

用途　●一般屋上など

●PD-D30Sの施工例



［ブルーフロンエコDX特化則非該当仕様・環境対応低臭仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼
PD-D20WS（平均塗膜厚：2.0㎜）	ブルーフロン NT-Fボンド 下　地：0.3kg/㎡ 断熱材：0.3kg/㎡	ブルーフロン 断熱材	ブルーフロン NT-Fボンド 断熱材：0.3kg/㎡ NT-Fシート：0.3kg/㎡	ブルーフロン NT-Fシート（3㎜）	ブルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	ブルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	ブルーフロン エコ水性 GRトップ遮熱 0.2kg/㎡
PD-D30WS（平均塗膜厚：3.0㎜）					ブルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	ブルーフロンエコDX 1.9kg/㎡	
PGT-D20WS（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	ブルーフロンエコ プライマー 0.2kg/㎡	ブルーフロン エコDX NS 0.3kg/㎡	補強布	ブルーフロン エコDX NS 1.2kg/㎡	ブルーフロン エコDX NS 1.1kg/㎡	ブルーフロンエコ水性 GRトップ遮熱 0.2kg/㎡	

［ブルーフロンエコDX特化則非該当仕様（屋外限定）］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼
PD-D20S（平均塗膜厚：2.0㎜）	ブルーフロン NT-Fボンド 下　地：0.3kg/㎡ 断熱材：0.3kg/㎡	ブルーフロン 断熱材	ブルーフロン NT-Fボンド 断熱材：0.3kg/㎡ NT-Fシート：0.3kg/㎡	ブルーフロン NT-Fシート（3㎜）	ブルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	ブルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/㎡
PD-D30S（平均塗膜厚：3.0㎜）					ブルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	ブルーフロンエコDX 1.9kg/㎡	
PGT-D20S（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	ブルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	ブルーフロン エコDX NS 0.3kg/㎡	補強布	ブルーフロン エコDX NS 1.2kg/㎡	ブルーフロン エコDX NS 1.1kg/㎡	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/㎡	

［プルーフロンエコ一般仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼
PD-E20S（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロン NT-Fボンド 下地：0.3kg/㎡ 断熱材：0.3kg/㎡	プルーフロン 断熱材	プルーフロン NT-Fボンド 断熱材：0.3kg/㎡ NT-Fシート：0.3kg/㎡	プルーフロン NT-Fシート（3㎜）	プルーフロンエコ 1.3kg/㎡	プルーフロンエコ 1.3kg/㎡	プルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/㎡
PD-E30S（平均塗膜厚：3.0㎜）					プルーフロンエコ 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ 1.9kg/㎡	
PGT-E20S（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンエコNS 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコNS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコNS 1.1kg/㎡	プルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/㎡	

［プルーフロンバリュー仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼
PD-V20S（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロン NT-Fボンド 下地：0.3kg/㎡ 断熱材：0.3kg/㎡	プルーフロン 断熱材	プルーフロン NT-Fボンド 断熱材：0.3kg/㎡ NT-Fシート：0.3kg/㎡	プルーフロン NT-Fシート（3㎜）	プルーフロンバリュー 1.4kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.4kg/㎡	プルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/㎡
PD-V30S（平均塗膜厚：3.0㎜）					プルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	プルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	
PGT-V20S（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロン バリューNS 0.4kg/㎡	補強布	プルーフロン バリューNS 1.3kg/㎡	プルーフロン バリューNS 1.1kg/㎡	プルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/㎡	

【PD工法の注意事項】

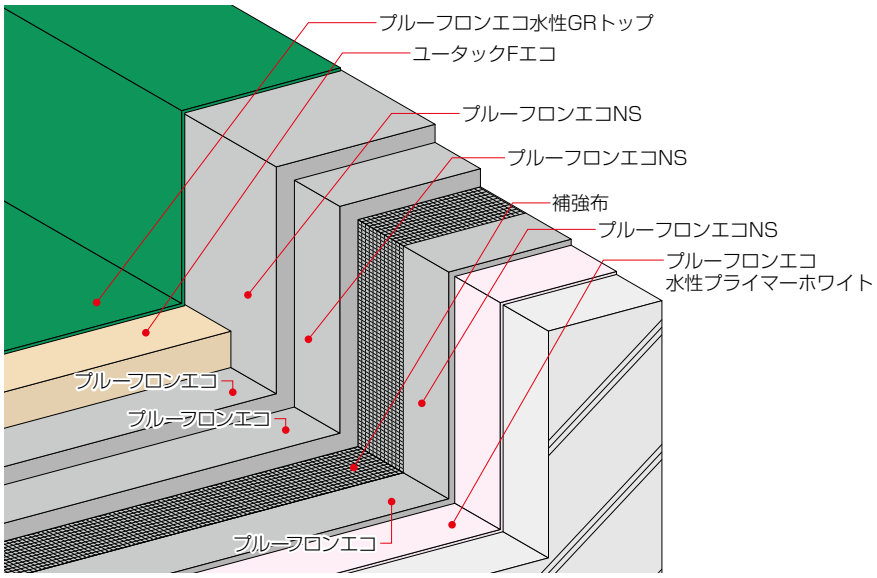
- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- 接着用ボンドと通気緩衝シートの組み合わせは59ページの適合表をご参照ください。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください（53・54ページの適合表をご参照ください）。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- ステンレス脱気筒は、専用コア付きタイプが必要となる場合があります（詳細は最寄りの営業所へ問い合わせください）。
- プルーフロン断熱材およびプルーフロンNT-Fシートのジョイント、端末処理方法については44～50ページをご参照ください。
- 作業手順は一般施工仕様書をご参照ください。
- 立上り工法には、平場用に各種増粘剤（55・56ページ参照）を添加して使用可能です。
- 防水層としてプルーフロンエコをご使用いただく場合、色相としてホワイト遮熱を選定していただきますと、遮熱効果をさらに高めることができます。
- プルーフロンGRトップ遮熱の淡彩色（ライトグレー、ライトグリーン、ライトブルー、ホワイト）を選定した場合、隠蔽性確保のため2回塗りとなる場合があります。
- プルーフロンエコ仕様の場合は、プルーフロンエコの代わりにプルーフロンエコMIDもご使用いただけます。

PS工法［スポーツ床防水工法］

PS工法はウレタン塗膜防水材とウレタン塗り床材（ユータック）を複合した工法で、重歩行が可能なスポーツ床工法です。密着補強布入り工法と通気緩衝工法があり、スポーツ施設や病院施設などの屋上の活用に最適な工法です。

用途
- ●屋上スポーツ床
- ●一般屋上（重歩行）

●PSG-E40WGの施工例



PSG工法［スポーツ床密着補強布入り工法］

［プルーフロンエコ環境対応低臭仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼
PSG-E40WG（平均塗膜厚：4.0㎜）	プルーフロンエコ 水性プライマーホワイト 0.2kg/㎡	プルーフロンエコ 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコ 1.2kg/㎡	プルーフロンエコ 1.1kg/㎡	ユータックFエコ 2.4kg/㎡	プルーフロンエコ 水性GRトップ 0.2kg/㎡
PSG-E50WG（平均塗膜厚：5.0㎜）				プルーフロンエコ 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ 1.6kg/㎡	ユータックFエコ 2.4kg/㎡	
PSG-E60WG（平均塗膜厚：6.0㎜）				プルーフロンエコ 2.5kg/㎡	プルーフロンエコ 2.4kg/㎡	ユータックFエコ 2.4kg/㎡	
PGT-E20WG（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		プルーフロンエコNS 0.3kg/㎡		プルーフロンエコNS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコNS 1.1kg/㎡	プルーフロンエコ 水性GRトップ 0.2kg/㎡	

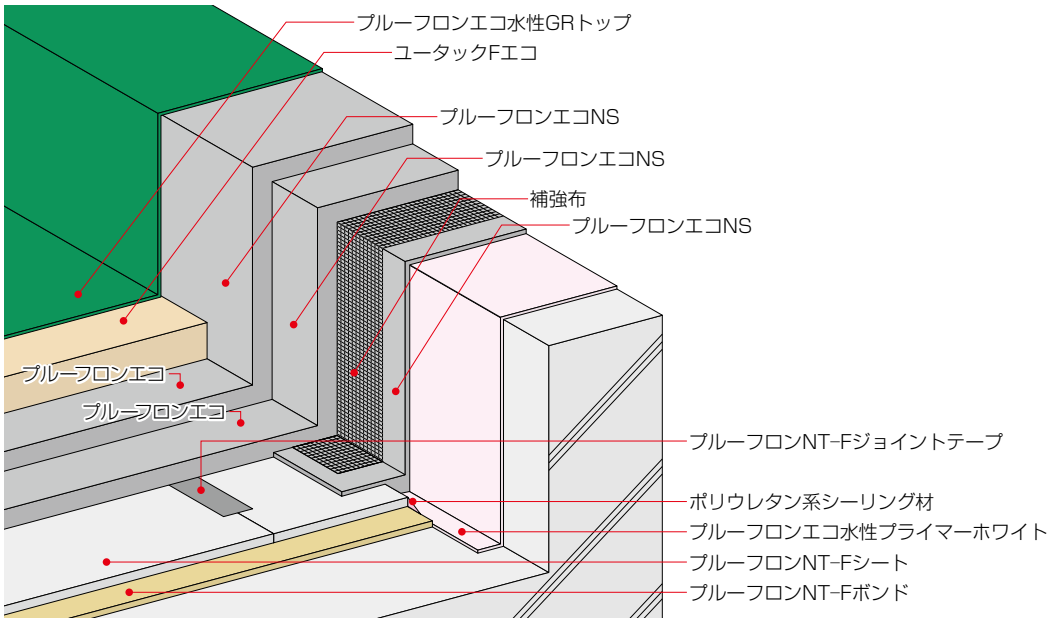
注：工程①でプルーフロンエコプライマーも使用できます。

［プルーフロンバリュー仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼
PSG-V40FT（平均塗膜厚：4.0㎜）	プルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンバリュー 0.4kg/㎡	補強布	プルーフロンバリュー 1.2kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.2kg/㎡	ユータックFエコ 2.4kg/㎡	ユータックFT 0.2kg/㎡
PSG-V50FT（平均塗膜厚：5.0㎜）				プルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.7kg/㎡	ユータックFエコ 2.4kg/㎡	
PSG-V60FT（平均塗膜厚：6.0㎜）				プルーフロンバリュー 2.6kg/㎡	プルーフロンバリュー 2.6kg/㎡	ユータックFエコ 2.4kg/㎡	
PGT-V20FT（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		プルーフロン バリューNS 0.4kg/㎡		プルーフロン バリューNS 1.3kg/㎡	プルーフロン バリューNS 1.1kg/㎡	ユータックFT 0.2kg/㎡	

【PSG工法の注意事項】
- ●各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- ●プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください（53・54ページの適合表をご参照ください）。
- ●必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- ●立上がり工法には、平場用に液状ダレ止め剤を添加して使用可能です（55・56ページをご参照ください）。
- ●プルーフロンバリュー仕様の場合は、立上り工法にプルーフロンエコNSもご使用いただけます。
- ●プルーフロンエコ仕様の場合は、プルーフロンエコの代わりにプルーフロンエコMIDもご使用いただけます。

●PSN-E40WGの施工例



PSN工法［スポーツ床通気緩衝工法］

［プルーフロンエコ環境対応低臭仕様］

工法名＼工程	①	②	③	④	⑤	⑥
PSN-E40WG（平均塗膜厚：4.0㎜）	環境対応型接着剤（ボンドまたはプライマー）	通気緩衝シート	プルーフロンエコ 1.3kg/㎡	プルーフロンエコ 1.3kg/㎡	ユータックFエコ 2.4kg/㎡	プルーフロンエコ水性GRトップ 0.2kg/㎡
PSN-E50WG（平均塗膜厚：5.0㎜）			プルーフロンエコ 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ 1.9kg/㎡	ユータックFエコ 2.4kg/㎡	
PSN-E60WG（平均塗膜厚：6.0㎜）			プルーフロンエコ 2.6kg/㎡	プルーフロンエコ 2.6kg/㎡	ユータックFエコ 2.4kg/㎡	
PGT-E20WG（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンエコ水性プライマーホワイト 0.2kg/㎡	プルーフロンエコNS 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコNS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコNS 1.1kg/㎡	

注：工程①でプルーフロンエコプライマーも使用できます。
注：ボンド、プライマー、通気緩衝シートについては㊾ページをご参照ください。

［プルーフロンバリュー仕様］

工法名＼工程	①	②	③	④	⑤	⑥
PSN-V40FT（平均塗膜厚：4.0㎜）	接着剤（ボンドまたはプライマー）	通気緩衝シート	プルーフロンバリュー 1.4kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.4kg/㎡	ユータックFエコ 2.4kg/㎡	ユータックFT 0.2kg/㎡
PSN-V50FT（平均塗膜厚：5.0㎜）			プルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	プルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	ユータックFエコ 2.4kg/㎡	
PSN-V60FT（平均塗膜厚：6.0㎜）			プルーフロンバリュー 2.8kg/㎡	プルーフロンバリュー 2.8kg/㎡	ユータックFエコ 2.4kg/㎡	
PGT-V20FT（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンバリューNS 0.4kg/㎡	補強布	プルーフロンバリューNS 1.3kg/㎡	プルーフロンバリューNS 1.1kg/㎡	

【PSN工法の注意事項】

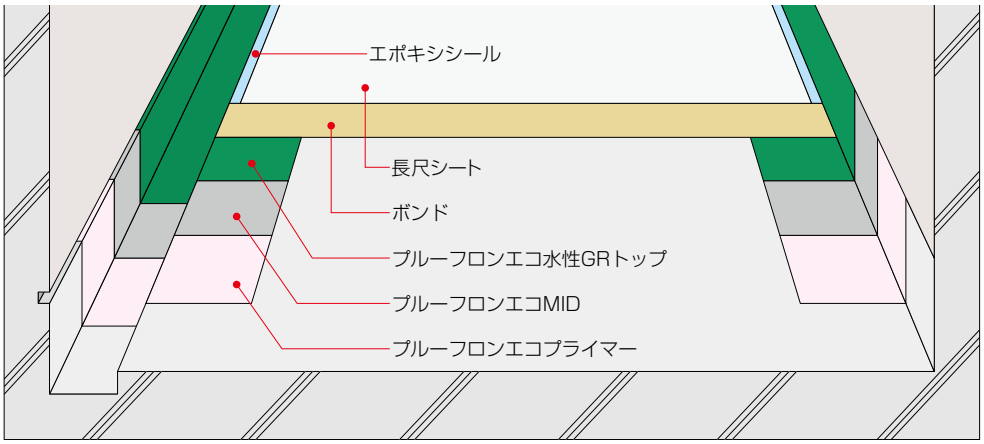
- ●各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- ●接着用ボンドの塗布量は㊾ページの一覧表をご参照ください。
- ●接着用ボンドと通気緩衝シートの組み合わせは㊾ページの適合表をご参照ください。
- ●プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください（㊽㊿ページの適合表をご参照ください）。
- ●必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- ●各通気緩衝シートのジョイント、端末処理方法については㊹～㊿ページをご参照ください。
- ●立上り工法は、平場用に各種増粘剤（㊺㊻ページ）を添加して使用が可能です。
- ●プルーフロンエコ仕様の場合は、プルーフロンエコの代わりにプルーフロンエコMIDもご使用いただけます。

PF工法［側溝・巾木・長尺シート複合工法］

PF工法は各種工法に長尺塩ビシートと組み合わせた複合工法です。

用途
- ●開放廊下、ベランダなど
- ●側溝・巾木など

●開放廊下の施工例（PF工法との組み合わせ）



［プルーフロンエコMID環境対応低臭仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸
PF-M1.5WG	プルーフロンエコ 水性プライマーホワイト 0.2kg/㎡	プルーフロンエコMID 1.5kg/㎡	プルーフロンエコ水性GRトップ 0.2kg/㎡

※階下に居室がない部位〈共用廊下、バルコニー、屋外階段など〉

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹
PF-M20WG （平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンエコ 水性プライマーホワイト 0.2kg/㎡	プルーフロンエコMID 1.3kg/㎡	プルーフロンエコMID 1.3kg/㎡	プルーフロンエコ水性GRトップ 0.2kg/㎡

注：工程①でプルーフロンエコプライマーも使用できます。
注：環境対応仕様の場合は液状ダレ止め剤、ウレタンゴム用硬化促進剤は使用できません。
注：環境対応仕様の場合はプルーフロンエコ専用硬化促進剤、ミルコンMS-2が使用可能です（㊾ページをご参照ください）。

［プルーフロンエコMID一般仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸
PF-M1.5G	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンエコMID 1.5kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡

※階下に居室がない部位〈共用廊下、バルコニー、屋外階段など〉

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹
PF-M20G （平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンエコMID 1.3kg/㎡	プルーフロンエコMID 1.3kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡

注：工程①でプルーフロンエコプライマーも使用できます。
注：環境対応仕様の場合は液状ダレ止め剤、ウレタンゴム用硬化促進剤は使用できません。
注：環境対応仕様の場合はプルーフロンエコ専用硬化促進剤、ミルコンMS-2が使用可能です（㊺㊻ページをご参照ください）。

［プルーフロンエコDX特化則非該当仕様・環境対応仕様］

工法名＼工程	①	②	③	④
PF-D20GE （平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンエコプライマー 0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	プルーフロンGRトップエコ 0.2kg/㎡

［プルーフロンエコDX特化則非該当仕様（屋外限定）］

工法名＼工程	①	②	③	④
PF-D20G （平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡

［プルーフロンエコ環境対応仕様］

工法名＼工程	①	②	③	④
PF-E20WG （平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンエコ水性プライマーホワイト 0.2kg/㎡	プルーフロンエコ 1.3kg/㎡	プルーフロンエコ 1.3kg/㎡	プルーフロンエコ水性GRトップ 0.2kg/㎡

注：工程①でプルーフロンエコプライマーも使用できます。
注：環境対応仕様の場合は液状ダレ止め剤、ウレタンゴム用硬化促進剤は使用できません。
注：環境対応仕様の場合はプルーフロンエコ専用硬化促進剤、ミルコンMS-2が使用可能です（55 56ページをご参照ください）。

［プルーフロンエコ一般仕様］

工法名＼工程	①	②	③	④
PF-E20G （平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンエコ 1.3kg/㎡	プルーフロンエコ 1.3kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡

［プルーフロンバリュー仕様］

工法名＼工程	①	②	③	④
PF-V20G （平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.4kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.4kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡

PH工法［保護モルタル工法］

PH工法は浴室やトイレなど、RC構造下地の水廻りに使用する保護モルタル（別途工事が必要です）工法です。屋上にも施工可能です。

用途
- 浴室、トイレ
- 一般屋上など

［プルーフロンエコDX特化則非該当仕様（屋外限定）］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼
PH-D30G（平均塗膜厚：3.0㎜）	プルーフロンエコプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.6kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡	ポリエチレンシート（0.15～0.2㎜）※保護モルタルは別途工事となります。
PHT-D20G（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		プルーフロンエコDX NS 0.3kg/㎡		プルーフロンエコDX NS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 1.1kg/㎡		

［プルーフロンエコ環境対応低臭仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼
PH-E30WG（平均塗膜厚：3.0㎜）	プルーフロンエコ水性プライマーホワイト 0.2kg/㎡	プルーフロンエコ 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコ 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ 1.6kg/㎡	プルーフロンエコ水性GRトップ 0.2kg/㎡	ポリエチレンシート（0.15～0.2㎜）※保護モルタルは別途工事となります。
PHT-E20WG（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		プルーフロンエコNS 0.3kg/㎡		プルーフロンエコNS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコNS 1.1kg/㎡		

注：工程①でプルーフロンエコプライマーも使用できます。
注：プルーフロンエコ仕様の場合は、プルーフロンエコの代わりにプルーフロンエコMIDもご使用いただけます。
注：環境対応仕様の場合は液状ダレ止め剤、ウレタンゴム用硬化促進剤は使用できません。
注：環境対応仕様の場合はプルーフロンエコ専用硬化促進剤、ミルコンMS-2が使用可能です（65・66ページをご参照ください）。

［プルーフロンバリュー仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼
PH-V30G（平均塗膜厚：3.0㎜）	プルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンバリュー 0.4kg/㎡	補強布	プルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.7kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡	ポリエチレンシート（0.15～0.2㎜）※保護モルタルは別途工事となります。
PHT-V20G（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		プルーフロンバリューNS 0.4kg/㎡		プルーフロンバリューNS 1.3kg/㎡	プルーフロンバリューNS 1.1kg/㎡		

【PH工法の注意事項】

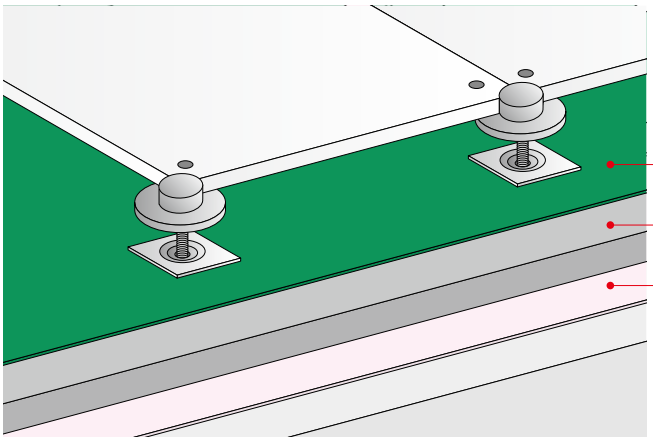
- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください（53・54ページの適合表をご参照ください）。
- 立上がり工法には、平場用に液状ダレ止め剤を添加して使用可能です。

PO工法［室内簡易防水工法］

PO工法はOAフロアの防水や側溝などに用いる汎用的な防水工法です。

用途 ●OAフロアなど

●PO-E15WGの施工例



［プルーフロンエコDX特化則非該当仕様・環境対応低臭仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸
PO-D15WG（平均塗膜厚：1.5㎜）	プルーフロンエコ水性プライマーホワイト 0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ水性GRトップ 0.2kg/㎡

注：プルーフロンエコDXにミルコンMS-2を混合する場合の添加量は55 56ページをご参照ください。

［プルーフロンエコ環境対応仕様］

工法名＼工程	❶	❷	❸
PO-E15WG（平均塗膜厚：1.5㎜）	プルーフロンエコ水性プライマーホワイト 0.2kg/㎡	プルーフロンエコ 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ水性GRトップ 0.2kg/㎡

注：工程①でプルーフロンエコプライマーも使用できます。
注：プルーフロンエコ仕様の場合は、プルーフロンエコの代わりにプルーフロンエコMIDもご使用いただけます。
注：環境対応仕様の場合は液状ダレ止め剤、ウレタンゴム用硬化促進剤は使用できません。
注：環境対応仕様の場合はプルーフロンエコ専用硬化促進剤、ミルコンMS-2が使用可能です（55 56ページをご参照ください）。
注：OAフロア施工の場合は、工程③のトップコートを省くことが可能です。

【PO工法の注意事項】

●各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
●トップコートは各種選択可能です（57 58ページの一覧表をご参照ください）。
●プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください（53 54ページの適合表をご参照ください）。

PU工法［トップコートの塗り替え工法］

トップコートの塗り替え工法は、既存下地がウレタン塗膜防水材のケースを想定したトップコートを塗り替える場合の工法です。

上記工法は標準的な仕様例のため、施工の際は事前に付着性試験を行ない、付着性に異常がないことを確認した後、改修施工を行なってください。

PU工法でプライマーを使用する場合は、㊸ページのプライマーと下地の適合性に準じ、塗り替え用プライマーもしくはプルーフロンプライマーUを倍希釈して施工し、3時間以内に該当のトップコートを施工してください(環境対応仕様はプルーフロンエコプライマーを倍希釈して使用してください)。外気温度30℃以上の猛暑日は、プライマー施工後2時間以内にトップコートを塗布してください。施工間隔があいた場合、剥離の原因となります。

PRV工法
［塩ビシートリフレッシュ工法］

太陽光の影響により「塩化ビニル樹脂系屋上防水材」（以下、塩ビシート屋上防水材）は経年で劣化が進み、物性低下による漏水やシート表面のチョーキングによる外観不良といった不具合が発生します。このような不具合は、シート表面に保護塗料を塗装することで避けることができます。しかし、従来は塩ビシート中に含まれる可塑剤などの影響により、充分な密着性が得られず塗り替えが困難とされてきました。このような状況にお応えするため確立したのが「塩ビシートリフレッシュ工法」です。
この工法は、塩ビシート塗替え用塗料の塗装により、防水シートの紫外線による劣化を防ぐため防水効果を長期にわたって維持できます。また、塗料中に含まれる溶剤が塩ビシートに含浸することで塗膜を復元。塗料とチョーキング塗膜を混合することで下地との密着性を強化し、剥離を防止します。さらに、塩ビシート中に含まれる可塑剤の移行がなく、汚れや変色がありません。このため、豊富なカラーバリエーションで外観を美しく彩ることができます。

●施工手順および工程

既存ウレタン塗膜表面を高圧洗浄、シンナー拭きなどで清掃してください。 → 目粗し有·無、プライマー有·無で付着試験を行なってください。 → 付着試験結果が良好な条件でトップコートの塗り替えを行なってください。（トップコートは1～2回塗り）

●シルバー系トップコート、水性トップコートの場合にはトップコートの除去、もしくは同じタイプの塗り替えとなります。

［塩ビシートリフレッシュ工法標準塗装仕様

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹
PRV-S	●塩ビシート表面を高圧水洗後、ゴミやホコリ、油脂類はブラシなどで除去してください。 ●塩ビシート表面が乾燥後に次の工程に進めてください。 ●下記の注意事項も参照してください。	NT塩ビシートプライマー 0.1～0.2kg/㎡	ブルーフロンGRトップ遮熱 0.15kg/㎡	ブルーフロンGRトップ遮熱 0.15kg/㎡
PRV-F			ブルーフロンGRトップフッ素 0.2kg/㎡(1～2回塗り)	
PRV-G			ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡(1～2回塗り)	
PRV-T			ブルーフロンGRトップ艶消T 0.2kg/㎡(1～2回塗り)	
PRV-EFS			ブルーフロンGRトップ遮熱 0.2kg/㎡	ブルーフロンEGトップ4F遮熱 0.2kg/㎡
PRV-EF			ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡	ブルーフロンEGトップ4F 0.2kg/㎡
PRV-ES			ブルーフロンEGトップシリコンマイルド 0.2kg/㎡(1～2回塗り)	

●塩ビシートのチョーキング層は高圧水洗などでできるだけ除去してください。
●チョーキングが激しい場合、もしくは洗浄できない場合はウエスやマジックロンなどでできるだけチョーキング塗膜を除去してください。
●プライマーはローラーでしごくように塗装してください。しごいて塗装することでチョーキングを溶解·復元し、プライマーに混合させます。
●プライマーは厚く付けすぎないようにしてください（使用量を厳守してください）。塗料のたまりができますと剥離の原因になります。
●プライマーの施工間隔が開きすぎたり、降雨に曝された場合は必ず艶がなくなるまでサンディング、清掃を行なった後再度NT塩ビシートプライマーを塗布してください。
●トップコートは必ず3時間以内に塗布してください。
●色相を変更する場合や、淡彩色の施工を行なう場合、上塗は2回塗りとなります。
●外気温度30℃以上の猛暑日は、プライマー施工後１時間以内にトップコートを塗布してください。施工間隔があいた場合、剥離の原因となります。

【PRV工法の注意事項】

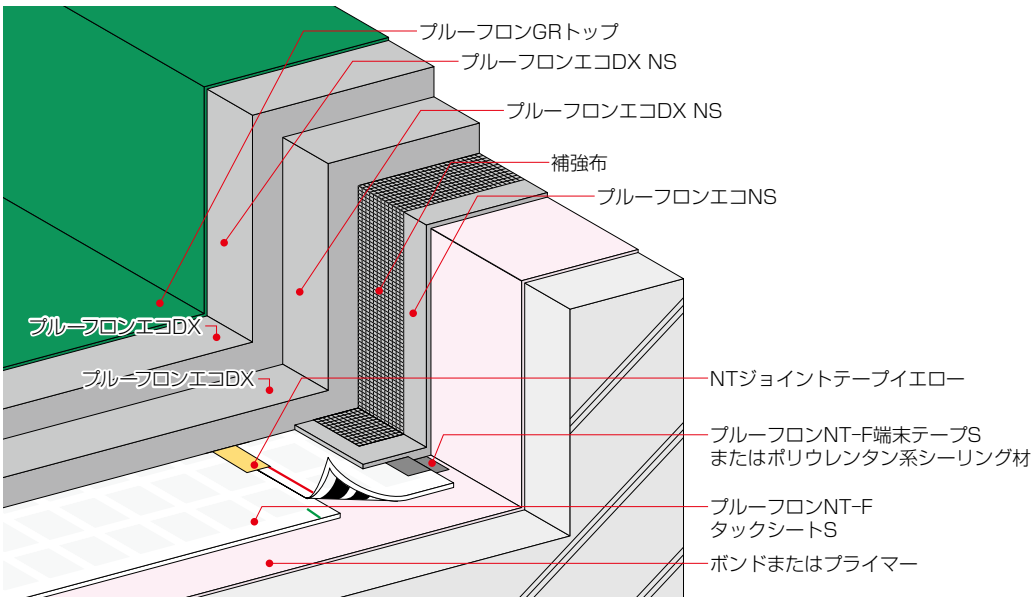
■素地調整について
●極端な塩ビシートのチョーキングはブラシなどで撤去してください。
●塩ビシートの表面に細かい傷がつくようにマジックロンなどで目あらしを行なってください。

■塗料と塗装について
●プライマーを塗装するとき、ローラーを強く押して同じ場所を2～4回塗布してください。
●トップコートは2液反応硬化型塗料です。塗料の調合比は重量比ですので、混合割合を間違えないようにしてください（使用前によく攪拌してから使用ください）。また、調合した塗料は可使時間内に使用してください。
●トップコートの希釈には必ずブルーフロンGRトップシンナーをご使用ください。シンナーの種類によっては、粘度低下が著しい場合や艶がでない場合がありますのでご注意ください。また、過剰なシンナー希釈は艶の低下や外観不良の原因になります。
●塗料の希釈割合は塗料温度や施工条件、塗装方法によって異なります。事前に試し塗りを行なってください。
●気温5℃以下、40℃以上、湿度85%以上の場合、また、降雨や降雪、降霜が予測される場合は塗装を避けてください。
●高圧水洗後はよく乾燥させてから塗装してください。
●塩ビシートリフレッシュ工法は塩ビシートの美観、保護を目的とした工法です。著しい劣化により、防水機能が低下した塩ビシートに施工しましても、防水性は向上しませんので、ご注意ください。

官公庁仕様

公共建築工事標準仕様書[平成28年版](国土交通省大臣官房官庁営繕部)
公共建築改修工事標準仕様書[平成28年版](国土交通省大臣官房官庁営繕部)
日本建築学会　建築工事標準仕様書JASS8[2014年版]

●プルーフロンエコDXの施工例(プルーフロンNT-Fタックシート S)



[プルーフロンエコDX特化則非該当仕様・環境対応仕様]

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
X-1 (平均塗膜厚：3.0㎜)	環境対応型接着剤 (ボンドおよび プライマー)	通気緩衝シート	プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.9kg/㎡	プルーフロンGRトップ エコ 0.2kg/㎡	
X-2 (平均塗膜厚：3.0㎜)	プルーフロンエコ プライマー 0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.6kg/㎡	プルーフロン GRトップエコ 0.2kg/㎡
X-2 立上り用 (平均塗膜厚：2.0㎜)		プルーフロンエコDX NS 0.3kg/㎡		プルーフロンエコDX NS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 1.1kg/㎡	

[プルーフロンエコDX特化則非該当仕様(屋外限定)]

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
X-1 (平均塗膜厚：3.0㎜)	各種接着剤 (ボンドおよびプライマー)	通気緩衝シート	プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.9kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡	
X-2 (平均塗膜厚：3.0㎜)	プルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.6kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
X-2 立上り用 (平均塗膜厚：2.0㎜)		プルーフロンエコDX NS 0.3kg/㎡		プルーフロンエコDX NS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 1.1kg/㎡	

[プルーフロンエコ環境対応低臭仕様]

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
X-1 (平均塗膜厚：3.0㎜)	環境対応型接着剤 (ボンドまたは プライマー)	通気緩衝シート	プルーフロンエコ 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ 1.9kg/㎡	プルーフロンエコ 水性GRトップ 0.2kg/㎡	
X-2 (平均塗膜厚：3.0㎜)	プルーフロンエコ 水性プライマー ホワイト 0.2kg/㎡	プルーフロンエコ 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコ 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ 1.6kg/㎡	プルーフロンエコ 水性GRトップ 0.2kg/㎡
X-2 立上り用 (平均塗膜厚：2.0㎜)		プルーフロンエコNS 0.3kg/㎡		プルーフロンエコNS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコNS 1.1kg/㎡	

■公共建築工事標準仕様書[平成28年版]より抜粋

●ウレタンゴム系塗膜防水の種別及び工程

種別	X-1(絶縁工法)		X-2(密着工法)	
工程	材料・工法	使用量(kg/㎡)	材料・工法	使用量(kg/㎡)
1	接着剤塗り 通気緩衝シート張り(注)5	0.3	プライマー塗り	0.2
2	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	3.0(注)1(注)4	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り 補強布張り	0.3(注)1
3	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り		ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	2.7(注)1
4	仕上塗料塗り(注)6	—	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	(1.7)(注)2(注)4
5	—	—	仕上塗料塗り(注)6	—

(注)1:表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物密度が1.0Mg/㎥である材料の場合を示しており、硬化物密度がこれ以外の場合にあっては、所要塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
2:立上り部はすべて、種別X-2とし、工程3及び工程4を(　)内とする。
3:ウレタンゴム系塗膜防水材塗りについては、1工程あたりの使用量を、硬化物密度が1.0Mg/㎥である材料の場合、平場は2.0kg/㎡、立上りは1.2kg/㎡を上限として変更することができる。
4:ウレタンゴム系塗膜防水材塗りは2回以上に分割して塗り付ける。
5:接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材料製造所の仕様による。
6:仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。

※類似仕様について

公的仕様	通気緩衝工法	密着工法	立上り
公共建築工事標準仕様書	X-1	X-2	X-2
公共建築改修工事標準仕様書	POX	L4X	L4X
日本建築学会JASS8防水工事	L-USS	L-UFS	L-UFS

[プルーフロンエコ一般仕様]

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
X-1 (平均塗膜厚:3.0㎜)	接着剤 (ボンドまたはプライマー)	通気緩衝シート	プルーフロンエコ 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ 1.9kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡	
X-2 (平均塗膜厚:3.0㎜)	プルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンエコ 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコ 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ 1.6kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
X-2 立上り用 (平均塗膜厚:2.0㎜)		プルーフロンエコNS 0.3kg/㎡		プルーフロンエコNS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコNS 1.1kg/㎡	

[プルーフロンバリュー仕様]

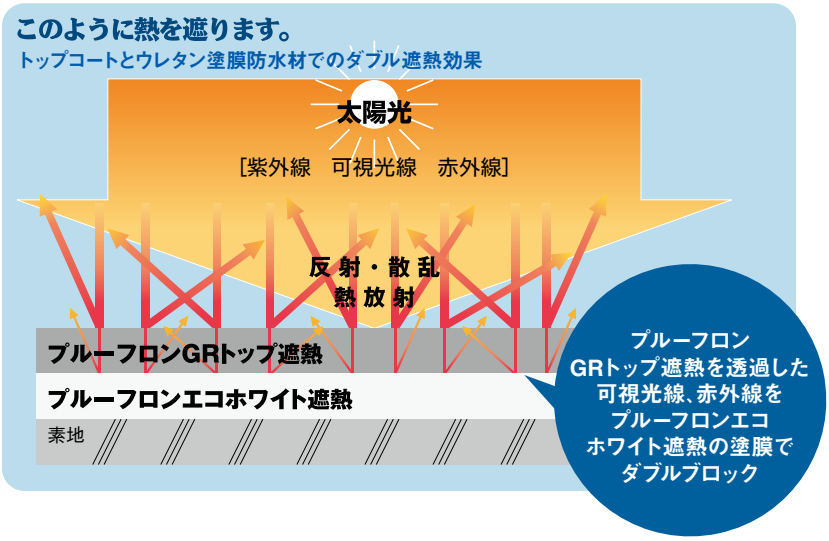
工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
X-1 (平均塗膜厚:3.0㎜)	接着剤 (ボンドまたはプライマー)	通気緩衝シート	プルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	プルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡	
X-2 (平均塗膜厚:3.0㎜)	プルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンバリュー 0.4kg/㎡	補強布	プルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	プルーフロンバリュー 1.7kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
X-2 立上り用 (平均塗膜厚:2.0㎜)		プルーフロンバリューNS 0.4kg/㎡		プルーフロンバリューNS 1.3kg/㎡	プルーフロンバリューNS 1.1kg/㎡	

【官公庁仕様の注意事項】

- トップコートは各種選択可能です(57 58ページの一覧表をご参照ください)。
- 接着用ボンドと通気緩衝シートの組み合わせは59ページの適合表をご参照ください。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください(53 54ページの適合表をご参照ください)。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- 各通気緩衝シートのジョイント、端末処理方法については44～50ページをご参照ください。
- プルーフロンNT-Fタックシートsの裏面には接着層が0.2kg/㎡コーティングされています。
- プルーフロンエコ仕様の場合は、プルーフロンエコの代わりにプルーフロンエコMIDもご使用いただけます。

プルーフロン遮熱仕様

プルーフロン遮熱仕様は、JIS K 5675屋根用高日射反射率塗料認証品「スーパーパラサーモシリコン」をはじめとする各種の遮熱塗料で実績と経験を誇る当社が、その技術を防水システムに応用した仕様です。
プルーフロンエコホワイト遮熱とプルーフロンGRトップ遮熱を使用することにより、ヒートアイランド対策や環境改善、省エネ効果が大きく期待できる工法です。



PM工法［密着工法］

遮熱

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹
PM-H20S（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.3kg/㎡	プルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.3kg/㎡	プルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/㎡
PM-H30S（平均塗膜厚：3.0㎜）		プルーフロンエコ ホワイト遮熱 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.9kg/㎡	
PMT-H20S（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		プルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.3kg/㎡	プルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.3kg/㎡	

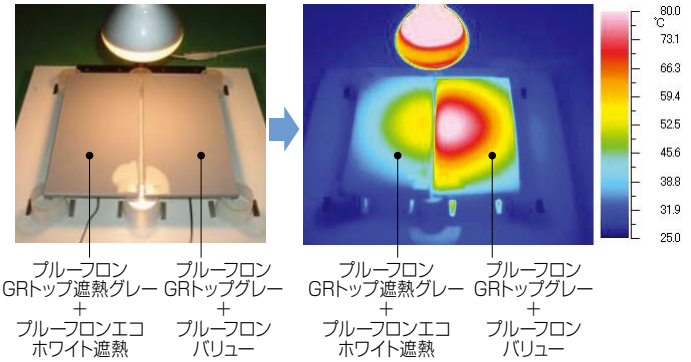
PG工法［密着補強布入り工法］

遮熱

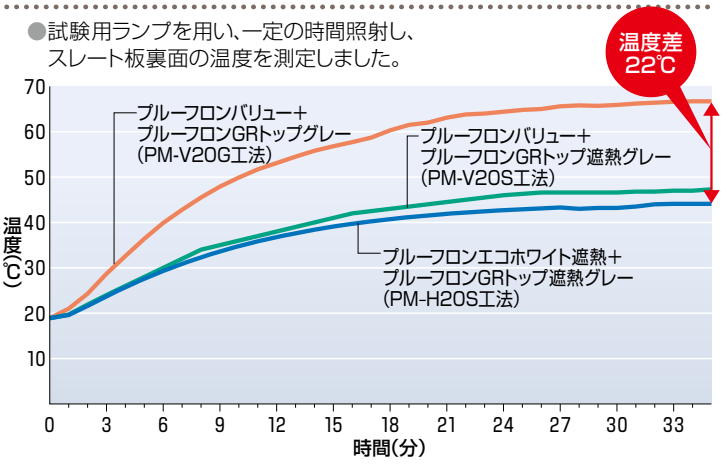
工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
PG-H20S（平均塗膜厚：2.0㎜）	プルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンエコ ホワイト遮熱 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.2kg/㎡	プルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.1kg/㎡	プルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/㎡
PG-H30S（平均塗膜厚：3.0㎜）				プルーフロンエコ ホワイト遮熱 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.6kg/㎡	
PGT-H20S（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		プルーフロンエコNS ホワイト遮熱 0.3kg/㎡		プルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.2kg/㎡	プルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.1kg/㎡	

■照射試験結果

●試験用ランプを一定時間照射し、
表面温度は赤外線カメラで測定しました。



●試験用ランプを用い、一定の時間照射し、
スレート板裏面の温度を測定しました。



PN工法［通気緩衝工法］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
PN-H20S (平均塗膜厚：2.0㎜)	接着剤 (ボンドまたは プライマー)	通気緩衝シート (推奨:NT-Fシート)	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.3kg/㎡	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.3kg/㎡	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/㎡	
PN-H30S (平均塗膜厚：3.0㎜)			ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 2.0kg/㎡	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.9kg/㎡		
PGT-H20S **(立上り)** (平均塗膜厚：2.0㎜)	ブルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 0.3kg/㎡	補強布	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.2kg/㎡	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.1kg/㎡	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/㎡

PK工法［機械的固定工法］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻
PK-H30S (平均塗膜厚：3.0㎜)	※下地状況により ボンドまたは プライマー、 もしくは不要	ブルーフロンNT-F タックシートS	メカニカルアンカー	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 2.0kg/㎡	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.9kg/㎡	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/㎡
PGT-H20S **(立上り)** (平均塗膜厚：2.0㎜)	ブルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 0.3kg/㎡	補強布	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.2kg/㎡	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.1kg/㎡	

PD工法［断熱・遮熱工法］

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼
PD-H20S (平均塗膜厚：2.0㎜)	ブルーフロン NT-Fボンド 下地：0.3kg/㎡ 断熱シート：0.3kg/㎡	ブルーフロン断熱材	ブルーフロン NT-Fボンド 断熱材：0.3kg/㎡ NT-Fシート：0.3kg/㎡	ブルーフロン NT-Fシート (3㎜)	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.3kg/㎡	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.3kg/㎡	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/㎡
PD-H30S (平均塗膜厚：3.0㎜)					ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 2.0kg/㎡	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.9kg/㎡	
PGT-H20S **(立上り)** (平均塗膜厚：2.0㎜)	ブルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 0.3kg/㎡	補強布	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.2kg/㎡	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.1kg/㎡	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/㎡	

【遮熱仕様の注意事項】

●プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください(53・54ページの適合表をご参照ください)。
●各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
●ブルーフロンエコホワイト遮熱を冬期に使用する場合はブルーフロンエコ専用硬化促進剤をご使用ください。各温度と促進剤添加量は❼ページの表をご参照ください。
●必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
●ブルーフロンエコホワイト遮熱以外のウレタン塗膜防水材にブルーフロンGRトップ遮熱を使用しても効果があります。ただし、本遮熱仕様と比較して遮熱性能は劣ります。
●ブルーフロンGRトップ遮熱以外に遮熱性能があるトップコートを選択可能です。

特化則非該当仕様／環境対応仕様
プルーフロンエコDX/プルーフロンエコDX NS

「プルーフロンエコDX」「プルーフロンエコDX NS」は特定化学物質障害予防規則(特化則)に該当しません。
「MOCA無配合」「鉛・クロム無配合」「13VOC・ホルムアルデヒド無配合」など高い環境性能を実現したウレタン塗膜防水材です。
現在市販されている特化則非該当ウレタン防水材の中で、高い安全性と品質をかねそなえたウレタン防水材です。急性毒性に起因する (どくろ)が表示されません。
プライマー、トップコートにも特化則非該当製品をラインアップしているため特化則非該当の仕様を組むことができます。

製品	タイプ	GHS絵表示		MOCA	鉛・クロム	13VOC	ホルムアルデヒド拡散等級
		主剤	硬化剤				
プルーフロンエコDX プルーフロンエコDX NS	2液	なし		なし	なし	なし	F☆☆☆☆

※比較表は2018年1月5日時点のデータをもとに作成しています。

●解説

■GHS・絵表示

●GHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム:**G**lobally **H**armonized **S**ystem of Classification and Labelling of Chemicals)は、2006年12月1日より、改正労働安全衛生法が施行され、GHSの分類結果を反映した製品ラベルと安全データシート(SDS)による情報伝達や取り扱う者への周知が必要となりました。GHS絵表示は、簡易的な健康有害性や環境有害性を示したものです。絵表示が少ないことは安全性が高いことを示しています。

●GHSで使用される絵表示とその内容

●爆発物 ●自己反応性化学品 ●有機過酸化物	●引火性／可燃性物質 ●自己反応性化学品 ●自然発火性および自己発熱性物質	●酸化性物質	●高圧ガス	●金属腐食性物質 ●皮膚腐食性 ●眼に対する重篤な損傷性	●急性毒性	●急性毒性(低毒性) ●皮膚刺激性 ●眼刺激性 ●皮膚感作性 ●特定標的臓器毒性 ●オゾン層への有害性	●生殖細胞変異原性 ●発がん性 ●生殖毒性 ●呼吸器感作性 ●特定標的臓器毒性 ●吸引性呼吸器有害性	●水生環境有害性

■特定化学物質障害予防規則(特化則)

●「特定化学物質障害予防規則」は、職場で使用される化学物質による職業がん、その他の重度の障害を予防するために、その製造などに係わる設備、排気・廃液などの後処理、漏えいの防止、適切な製造・取り扱いのための管理、健康診断の実施などについて定めた予防規則です。

●特定化学物質を製造し、または、取り扱う作業では、以下の事柄を実施しなければなりません。

①取り扱う特定化学物質の名称、人体に及ぼす影響、取り扱い上の注意点などの表示が必要です。
②特定化学物質作業主任者を選任しなければなりません。
③特定化学物質に応じた保護具を着用しなければなりません。
④特定化学物質に応じた作業記録と健康診断を定期的に行い、記録を保管しなければなりません。

●特定化学物質は、物質ごとに閾値があります。閾値以下の場合は、対象外となります。

■MOCA(3,3' -ジクロロ-4,4' -ジアミノジフェニルメタン)

●MOCAは、重量の1%以上をこえて含有する場合は、特化則の該当製品となります。主にウレタン防水材のの硬化剤の原料として用いられます。MOCAは、平成29年4月の特化則の改正にともない、膀胱がんが発生する疑いが高くなり、膀胱がん検診や作業記録、健康診断の結果を30年間保管することが義務づけられました。

■鉛・クロム

●鉛やクロムは強い毒性を持つあるため、世界的に含有塗料の廃絶を進めています。東京都環境局は、鉛フリー塗料を使用することを仕様書などで指定しています。当社も加盟している日本塗料工業会では、基本的に2020年までにすべての鉛含有塗料を段階的に廃絶する宣言をし、その措置を行なっています。

■13VOC

●13VOCとは、厚生労働省が定めた健康被害を引き起こすと考えられる13種類の化学物質のことです。VOCとは揮発性有機化合物のことであり、接着剤や塗料などに含まれているキシレンやトルエンなどの物質を指します。このVOCは常温、常圧で空気中に揮発され、空気を汚染し、化学物質過敏症やシックハウス症候群などの健康被害を引き起こします。

■ホルムアルデヒド

●ホルムアルデヒドはシックハウス症候群の原因物質とされている、VOC(揮発性有機化合物)の一つです。建築基準法施行令では、ホルムアルデヒドの発散速度が5μg/m2h(0.005mg/m2hr)以下の建材のレベルをF☆☆☆☆としており、一般の人がその環境下で一生生活したとしても健康上問題がないレベルと想定されています。

PM工法［密着工法］

工法名＼工程	①	②	③	④
PM-D20GE（平均塗膜厚：2.0㎜）	ブルーフロンエコプライマー 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	ブルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	ブルーフロンGRトップエコ 0.2kg/㎡
PM-D30GE（平均塗膜厚：3.0㎜）		ブルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	ブルーフロンエコDX 1.9kg/㎡	
PMT-D20GE（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		ブルーフロンエコDX NS 1.3kg/㎡	ブルーフロンエコDX NS 1.3kg/㎡	

PM工法［密着工法（低臭仕様）］

工法名＼工程	①	②	③	④
PM-D20WG（平均塗膜厚：2.0㎜）	ブルーフロンエコ水性プライマーホワイト 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	ブルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	ブルーフロンエコ水性GRトップ 0.2kg/㎡
PM-D30WG（平均塗膜厚：3.0㎜）		ブルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	ブルーフロンエコDX 1.9kg/㎡	
PMT-D20WG（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		ブルーフロンエコDX NS 1.3kg/㎡	ブルーフロンエコDX NS 1.3kg/㎡	

PM工法［密着工法（屋外限定）］

工法名＼工程	①	②	③	④
PM-D20G（平均塗膜厚：2.0㎜）	ブルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	ブルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
PM-D30G（平均塗膜厚：3.0㎜）		ブルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	ブルーフロンエコDX 1.9kg/㎡	
PMT-D20G（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		ブルーフロンエコDX NS 1.3kg/㎡	ブルーフロンエコDX NS 1.3kg/㎡	

PG工法［密着補強布入り工法］

工法名＼工程	①	②	③	④	⑤	⑥
PG-D20GE（平均塗膜厚：2.0㎜）	ブルーフロンエコプライマー 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコDX 0.3kg/㎡	補強布	ブルーフロンエコDX 1.2kg/㎡	ブルーフロンエコDX 1.1kg/㎡	ブルーフロンGRトップエコ 0.2kg/㎡
PG-D30GE（平均塗膜厚：3.0㎜）				ブルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	ブルーフロンエコDX 1.6kg/㎡	
PGT-D20GE（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）		ブルーフロンエコDX NS 0.3kg/㎡		ブルーフロンエコDX NS 1.2kg/㎡	ブルーフロンエコDX NS 1.1kg/㎡	

※環境対応低臭仕様として、プライマーは「ブルーフロンエコ水性プライマーホワイト」トップコートは「ブルーフロンエコ水性GRトップ/遮熱」もご使用いただけます。

PN工法［通気緩衝工法］

工法名＼工程	①	②	③	④	⑤	⑥
PN-D20GE（平均塗膜厚：2.0㎜）	環境対応型接着剤（ボンドまたはプライマー）	通気緩衝シート	ブルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	ブルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	ブルーフロンGRトップエコ 0.2kg/㎡	
PN-D30GE（平均塗膜厚：3.0㎜）			ブルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	ブルーフロンエコDX 1.9kg/㎡		
PGT-D20GE（立上り）（平均塗膜厚：2.0㎜）	ブルーフロンエコプライマー 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコDX NS 0.3kg/㎡	補強布	ブルーフロンエコDX NS 1.2kg/㎡	ブルーフロンエコDX NS 1.1kg/㎡	ブルーフロンGRトップエコ 0.2kg/㎡

※環境対応低臭仕様として、プライマーは「ブルーフロンエコ水性プライマーホワイト」トップコートは「ブルーフロンエコ水性GRトップ/遮熱」もご使用いただけます。

特化則非該当仕様／環境対応仕様
プルーフロンエコONE/プルーフロンエコONE NS

「プルーフロンエコONE」「プルーフロンエコONE NS」は特定化学物質障害予防規則(特化則)に該当しません。
「MOCA無配合」「鉛・クロム無配合」「13VOC・ホルムアルデヒド無配合」など高い環境性能を実現したウレタン塗膜防水材です。
1液タイプのため、主剤と硬化剤を混合する必要がなく作業性が優れ、硬化不良の心配がありません。
プライマー、トップコートにも特化則非該当製品をラインアップしているため特化則非該当の仕様を組むことができます。

PM工法[密着工法]

工法名＼工程	①	②	③	④
PM-I20GE (平均塗膜厚：2.0㎜)	プルーフロンエコ プライマー 0.2kg/㎡	プルーフロンエコONE 1.3kg/㎡	プルーフロンエコONE 1.3kg/㎡	プルーフロン GRトップエコ 0.2kg/㎡
PM-I30GE (平均塗膜厚：3.0㎜)		プルーフロンエコONE 2.0kg/㎡	プルーフロンエコONE 1.9kg/㎡	
PMT-I20GE **(立上り)** (平均塗膜厚：2.0㎜)		プルーフロン エコONE NS 1.3kg/㎡	プルーフロン エコONE NS 1.3kg/㎡	

※環境対応低臭仕様として、プライマーは「プルーフロンエコ水性プライマーホワイト」トップコートは「プルーフロンエコ水性GRトップ/遮熱」もご使用いただけます。

PM工法[密着工法(屋外限定)]

工法名＼工程	①	②	③	④
PM-I20G (平均塗膜厚：2.0㎜)	プルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	プルーフロンエコONE 1.3kg/㎡	プルーフロンエコONE 1.3kg/㎡	プルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
PM-I30G (平均塗膜厚：3.0㎜)		プルーフロンエコONE 2.0kg/㎡	プルーフロンエコONE 1.9kg/㎡	
PMT-I20G **(立上り)** (平均塗膜厚：2.0㎜)		プルーフロン エコONE NS 1.3kg/㎡	プルーフロン エコONE NS 1.3kg/㎡	

PG工法[密着補強布入り工法]

工法名＼工程	①	②	③	④	⑤	⑥
PG-I20GE (平均塗膜厚：2.0㎜)	プルーフロンエコ プライマー 0.2kg/㎡	プルーフロンエコONE 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコONE 1.2kg/㎡	プルーフロンエコONE 1.1kg/㎡	プルーフロン GRトップエコ 0.2kg/㎡
PG-I30GE (平均塗膜厚：3.0㎜)				プルーフロンエコONE 2.0kg/㎡	プルーフロンエコONE 1.6kg/㎡	
PGT-I20GE **(立上り)** (平均塗膜厚：2.0㎜)		プルーフロン エコONE NS 0.3kg/㎡		プルーフロン エコONE NS 1.2kg/㎡	プルーフロン エコONE NS 1.1kg/㎡	

※環境対応低臭仕様として、プライマーは「プルーフロンエコ水性プライマーホワイト」トップコートは「プルーフロンエコ水性GRトップ/遮熱」もご使用いただけます。

PN工法[通気緩衝工法]

工法名＼工程	①	②	③	④	⑤	⑥
PN-I20GE (平均塗膜厚：2.0㎜)	環境対応型接着剤 (ボンドまたはプライマー)	通気緩衝シート	プルーフロンエコONE 1.3kg/㎡	プルーフロンエコONE 1.3kg/㎡	プルーフロン GRトップエコ 0.2kg/㎡	
PN-I30GE (平均塗膜厚：3.0㎜)			プルーフロンエコONE 2.0kg/㎡	プルーフロンエコONE 1.9kg/㎡		
PGT-I20GE **(立上り)** (平均塗膜厚：2.0㎜)	プルーフロンエコ プライマー 0.2kg/㎡	プルーフロン エコONE NS 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロン エコONE NS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコ ONE NS 1.1kg/㎡	プルーフロン GRトップエコ 0.2kg/㎡

※環境対応低臭仕様として、プライマーは「プルーフロンエコ水性プライマーホワイト」トップコートは「プルーフロンエコ水性GRトップ/遮熱」もご使用いただけます。

環境対応仕様
プルーフロンエコ/プルーフロンエコNS

「プルーフロンエコ」「プルーフロンエコNS」は日本ウレタン建材工業会(NUK)の「環境対応型ウレタン防水材システム・認定基準・Nタイプ」に準拠したウレタン塗膜防水材です。
長年の施工実績がありコテなどの作業性においてレベリング性に優れ、抜群の仕上がり外観がえられます。

PM工法[密着工法]

工法名＼工程	①	②	③	④
PM-E20GE (平均塗膜厚：2.0㎜)	プルーフロンエコ プライマー 0.2kg/㎡	プルーフロンエコ 1.3kg/㎡	プルーフロンエコ 1.3kg/㎡	プルーフロン GRトップエコ 0.2kg/㎡
PM-E30GE (平均塗膜厚：3.0㎜)		プルーフロンエコ 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ 1.9kg/㎡	
PMT-E20GE **(立上り)** (平均塗膜厚：2.0㎜)		プルーフロンエコ NS 1.3kg/㎡	プルーフロンエコ NS 1.3kg/㎡	

※環境対応低臭仕様として、プライマーは「プルーフロンエコ水性プライマーホワイト」トップコートは「プルーフロンエコ水性GRトップ/遮熱」もご使用いただけます。

PG工法[密着補強布入り工法]

工法名＼工程	①	②	③	④	⑤	⑥
PG-E20GE (平均塗膜厚：2.0㎜)	プルーフロンエコ プライマー 0.2kg/㎡	プルーフロンエコ 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコ 1.2kg/㎡	プルーフロンエコ 1.1kg/㎡	プルーフロン GRトップエコ 0.2kg/㎡
PG-E30GE (平均塗膜厚：3.0㎜)				プルーフロンエコ 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ 1.6kg/㎡	
PGT-E20GE **(立上り)** (平均塗膜厚：2.0㎜)		プルーフロンエコ NS 0.3kg/㎡		プルーフロンエコ NS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコ NS 1.1kg/㎡	

※環境対応低臭仕様として、プライマーは「プルーフロンエコ水性プライマーホワイト」トップコートは「プルーフロンエコ水性GRトップ/遮熱」もご使用いただけます。

PN工法[通気緩衝工法]

工法名＼工程	①	②	③	④	⑤	⑥
PN-E20GE (平均塗膜厚：2.0㎜)	環境対応型接着剤 (ボンドまたはプライマー)	通気緩衝シート	プルーフロンエコ 1.3kg/㎡	プルーフロンエコ 1.3kg/㎡	プルーフロン GRトップエコ 0.2kg/㎡	
PN-E30GE (平均塗膜厚：3.0㎜)			プルーフロンエコ 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ 1.9kg/㎡		
PGT-E20GE **(立上り)** (平均塗膜厚：2.0㎜)	プルーフロンエコ プライマー 0.2kg/㎡	プルーフロンエコ NS 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコ NS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコ NS 1.1kg/㎡	プルーフロン GRトップエコ 0.2kg/㎡

※環境対応低臭仕様として、プライマーは「プルーフロンエコ水性プライマーホワイト」トップコートは「プルーフロンエコ水性GRトップ/遮熱」もご使用いただけます。

PK工法[機械的固定工法]

工法名＼工程	①	②	③	④	⑤	⑥
PK-E30GE (平均塗膜厚：3.0㎜)	下地の状況により 環境対応型接着剤 (ボンドおよびプライマー)	プルーフロンNT-F タックシートS	メカニカルアンカー	プルーフロンエコ 2.0kg/㎡	プルーフロンエコ 1.9kg/㎡	プルーフロン GRトップエコ 0.2kg/㎡
PGT-E20GE **(立上り)** (平均塗膜厚：2.0㎜)	プルーフロンエコ プライマー 0.2kg/㎡	プルーフロンエコ NS 0.3kg/㎡	補強布	プルーフロンエコ NS 1.2kg/㎡	プルーフロンエコ NS 1.1kg/㎡	

※環境対応低臭仕様として、プライマーは「プルーフロンエコ水性プライマーホワイト」トップコートは「プルーフロンエコ水性GRトップ/遮熱」もご使用いただけます。

UR都市機構仕様

UR都市機構仕様のバルコニー等床防水、脱気絶縁複合防水、階段室床防水の各工法です。
特化則非該当仕様・環境対応仕様で仕様組みを行っています。
下記の仕様は第三者機関(建材試験センター)の品質判定において基準をみたしております。

バルコニー等床防水仕様(ウレタン系塗膜防水)　保全工事共通仕様書[平成29年版]

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹
PM-D20GE工法 平場用	プルーフロンエコプライマー 0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX 2.6kg/㎡	プルーフロンGRトップエコ 0.1kg/㎡	プルーフロンGRトップエコ 0.1kg/㎡
PMT-D20GE工法 立上り用	プルーフロンエコプライマー 0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 2.6kg/㎡	プルーフロンGRトップエコ 0.1kg/㎡	プルーフロンGRトップエコ 0.1kg/㎡

脱気絶縁複合防水仕様(歩行用ウレタン系塗膜防水)　保全工事共通仕様書[平成29年版]

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼	❽
PN-D30UR工法 平場用	プルーフロンエコプライマー 0.2kg/㎡	プルーフロンNT-F タックシートS	プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンエコDX 1.9kg/㎡	プルーフロンUR層間プライマー/NTマイクロ骨材 0.1kg/㎡	プルーフロンURトップ 0.5kg/㎡	プルーフロンURトップ 0.5kg/㎡	
PGT-D25UR工法 立上り用	プルーフロンエコプライマー 0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 0.7kg/㎡	補強布	プルーフロンエコDX NS 1.3kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 1.3kg/㎡	プルーフロンUR層間プライマー 0.1kg/㎡	プルーフロンURトップ 0.5kg/㎡	プルーフロンURトップ 0.5kg/㎡

注：PGT-EW2.5UR工法は脱気絶縁複合防水工法(庇、架台天端および立上り部など)になります。

階段室床防水(超速硬化ウレタン吹付け防水)　保全工事共通仕様書[平成29年版]

工法名＼工程	❶	❷	❸
NM-SH15GE工法	プルーフロンエコプライマー 0.15kg/㎡	NTスプレー タイプH 1.5kg/㎡	プルーフロンGRトップエコ 0.15kg/㎡

ウレタン系塗膜防水工法　2回目修繕(バルコニー等床)

工法名＼工程	❶	❷	❸	❹
PM-D15GE工法 平場用	プルーフロンエコプライマー※ 0.1～0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX 2.0kg/㎡	プルーフロンGRトップエコ+エストップ20 0.1kg/㎡	プルーフロンGRトップエコ 0.1kg/㎡
PMT-D15GE工法 立上り用	プルーフロンエコプライマー※ 0.1～0.2kg/㎡	プルーフロンエコDX NS 2.0kg/㎡	プルーフロンGRトップエコ+エストップ20 0.1kg/㎡	プルーフロンGRトップエコ 0.1kg/㎡

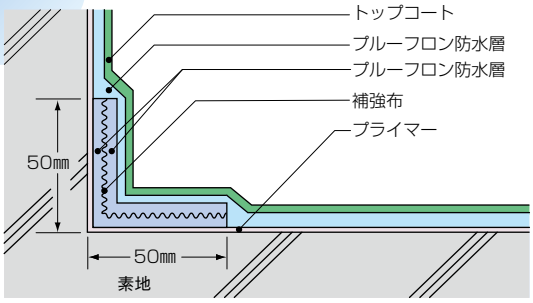
※：プルーフロンエコプライマーはプルーフロンエコシンナーで倍希釈し、ご使用ください。
注：2回目の修繕工事を行なう場合、保全工事共通仕様書に準じ、事前に下地の調査および下地処理を行ってください。

確実な防水効果を発揮します――。

■各部位の納まり①

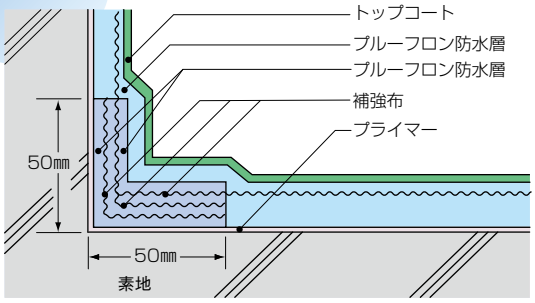
※各部位の納まり図は一般的な例です。すべての施工において適用できるものではありません。

入隅



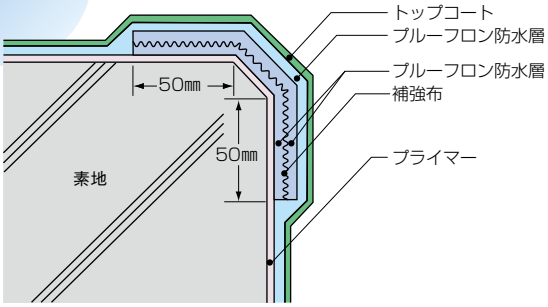
入隅

※平場X-2工法と立上りX-2工法の取り合い



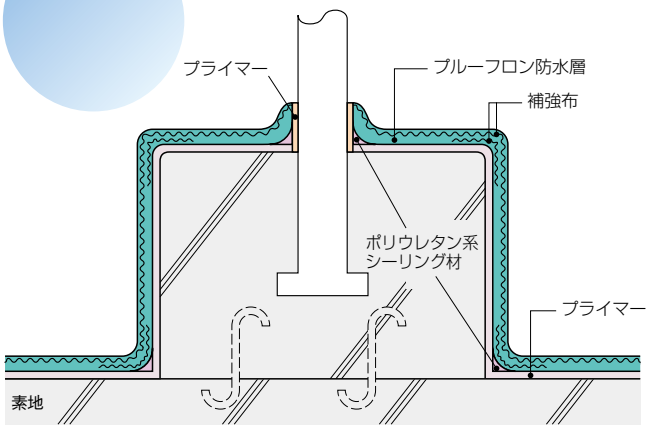
出隅

※出隅部はR、もしくは面取りを行なってください。

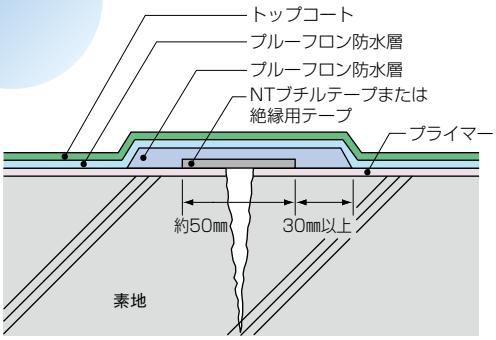


架台

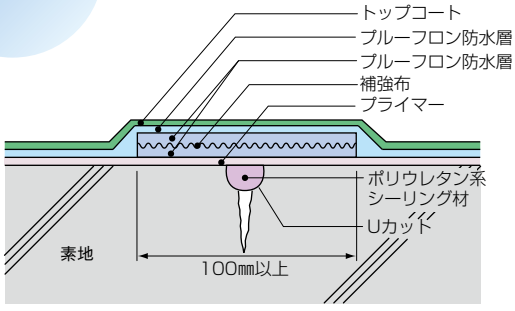
※出隅、入隅は補強布が2枚になります。



平場の大クラック



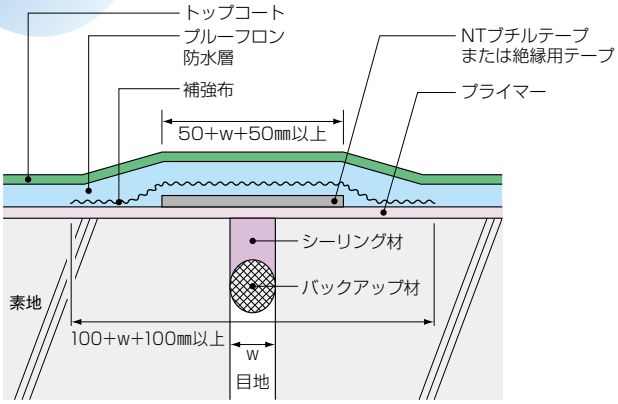
平場の中小クラック・立上りのクラック



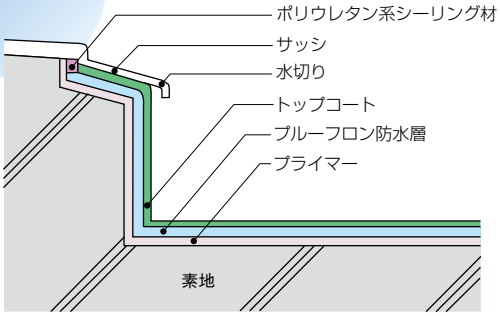
確実な防水効果を発揮します――。

■各部位の納まり②

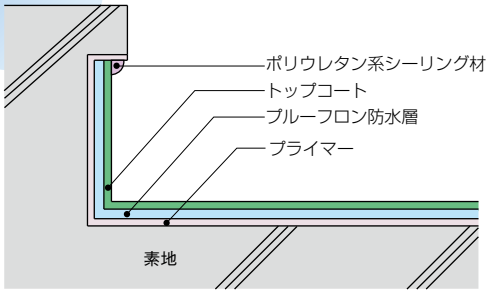
PC板
PM工法[密着工法]



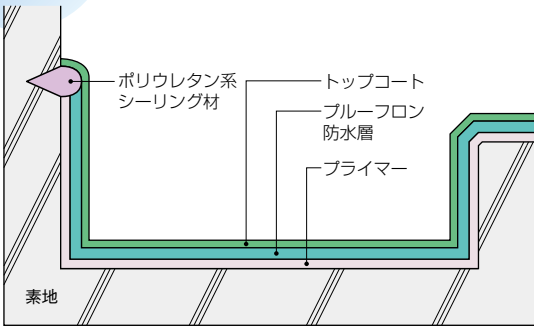
壁立上り①（開口部）



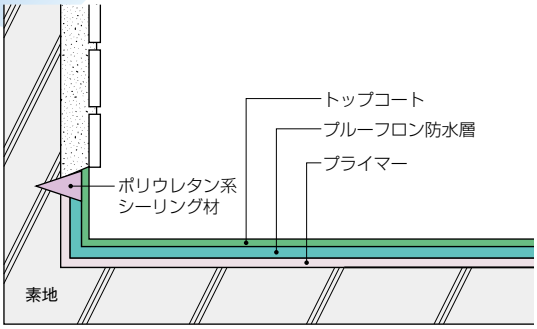
壁立上り②



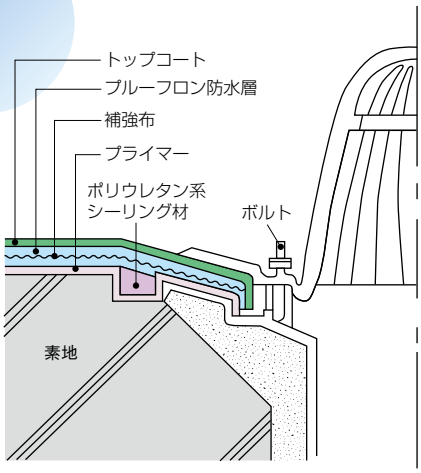
庇部補修納まり例
※壁面は笠木より高く立上げてください。
※VカットまたはUカット後にポリウレタン系シーリングで処理してください。



磁器タイル壁面補修納まり例
※磁器タイルを数枚剥がし防水材を立上げてください。
※VカットまたはUカット後にポリウレタン系シーリングで処理してください。



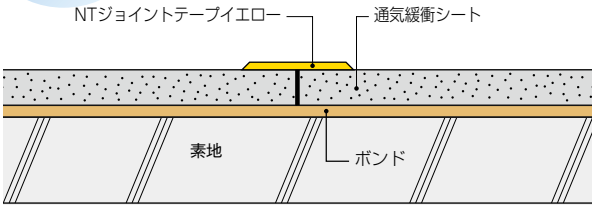
ドレンまわり



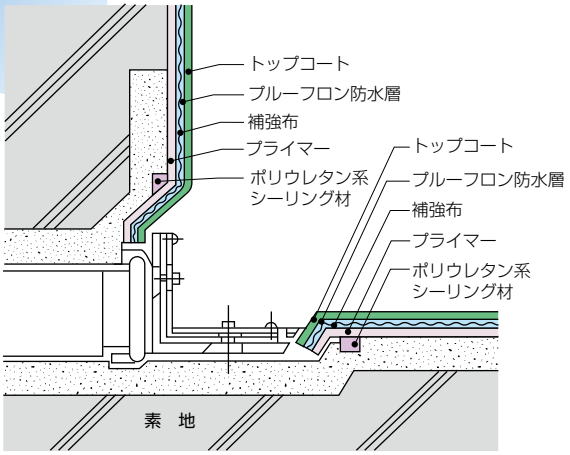
※各部位の納まり図は一般的な例です。すべての施工において適用できるものではありません。

シート間の接続

●プルーフロンNT-Fシート、プルーフロンNT-Fシート#2、プルーフロンNT-Fパンチシートの場合

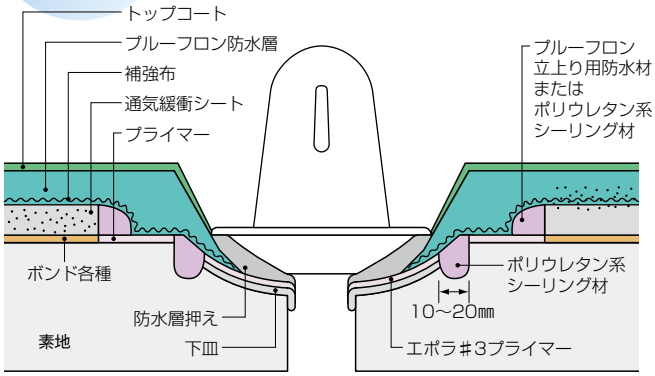


コーナードレン



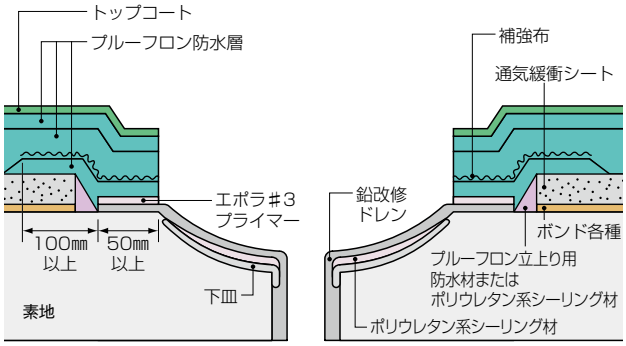
ドレンまわり（縦引きドレン）

●**使用シート**：プルーフロンNT-Fシート、プルーフロンNT-Fシート#2、プルーフロンNT-Fパンチシート



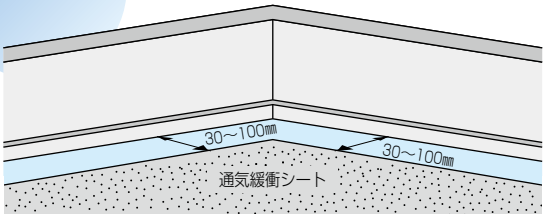
ドレンまわり（鉛改修ドレン）

●**使用シート**：プルーフロンNT-Fシート、プルーフロンNT-Fシート#2、プルーフロンNT-Fパンチシート

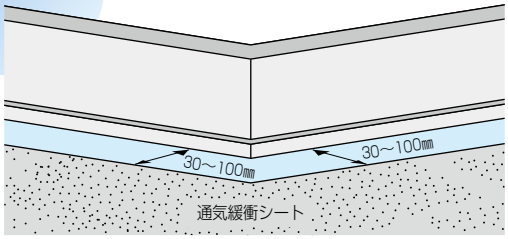


■各部位の納まり［通気緩衝工法］

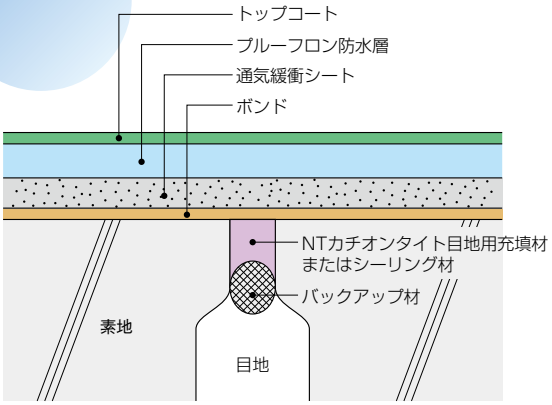
入 隅



出 隅

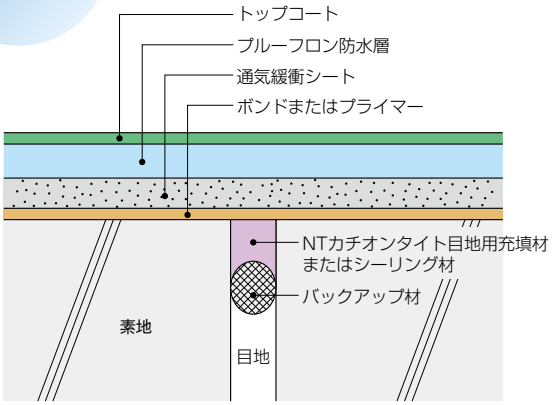


PC板　PN工法［通気緩衝工法］



保護モルタル下地

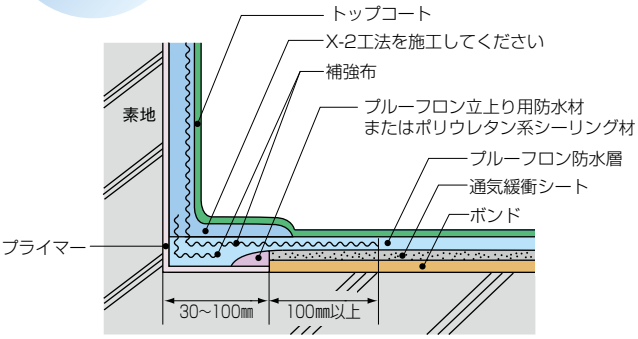
NN工法［通気緩衝工法］



壁立上り

※X-1工法とX-2工法の取り合い

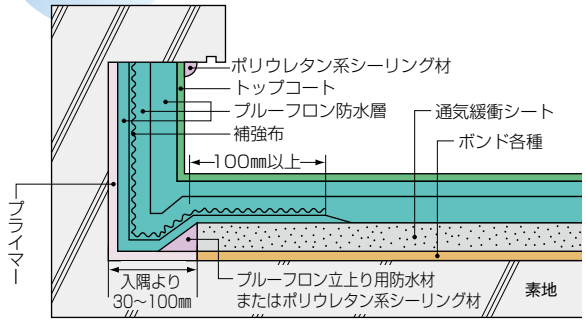
●**使用シート**：ブルーフロンNT-Fシート、ブルーフロンNT-Fシート#2、ブルーフロンNT-Fパンチシート



※各部位の納まり図は一般的な例です。すべての施工において適用できるものではありません。

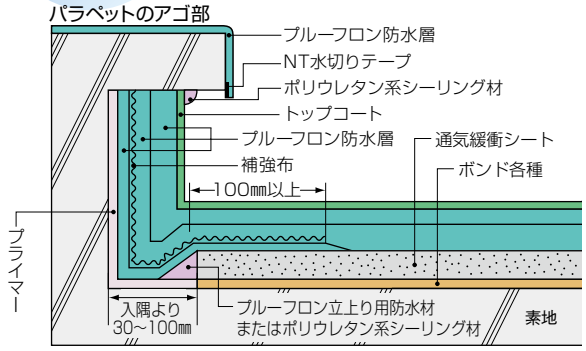
立上り部 PN工法[通気緩衝工法]

●**使用シート**：ブルーフロンNT-Fシート、ブルーフロンNT-Fシート#2、ブルーフロンNT-Fパンチシート



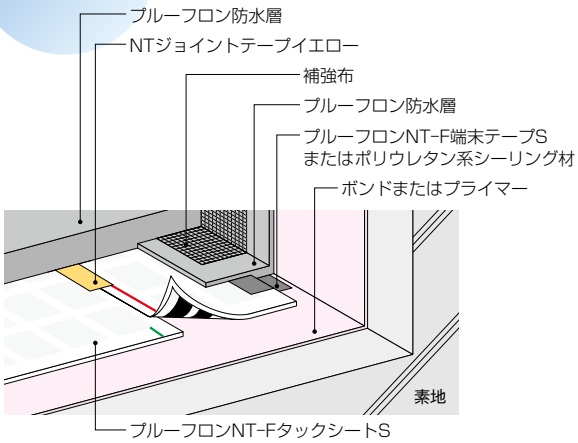
立上り部 PN工法[通気緩衝工法]

●**使用シート**：ブルーフロンNT-Fシート、ブルーフロンNT-Fシート#2、ブルーフロンNT-Fパンチシート

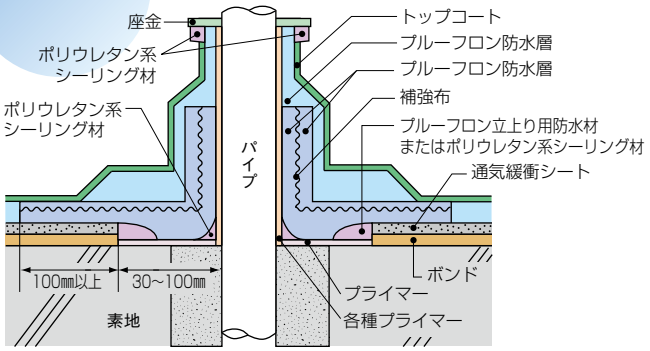


シート間の接続

●**ブルーフロンNT-Fタックシートの場合**



パイプまわり



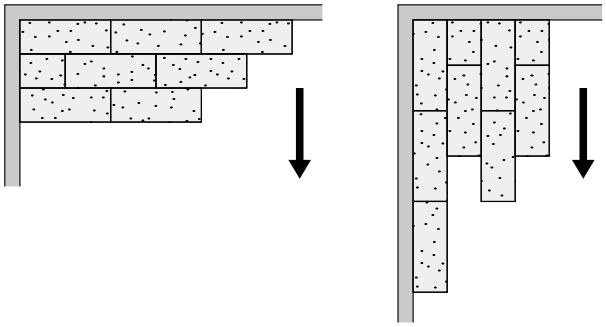
■各部位の納まり［断熱・遮熱工法］

※各部位の納まり図は一般的な例です。
すべての施工において適用できるものではありません。

各種断熱材の敷並べ図

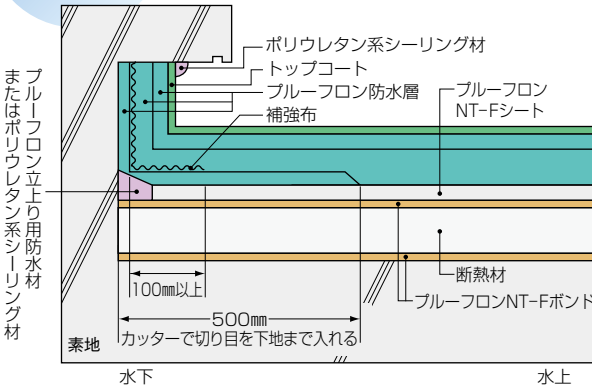
PD工法［断熱・遮熱工法］
PKD工法［機械的固定・断熱・遮熱工法］

※各種硬質断熱材の併せ部は3～5㎜の隙間を設けてください。



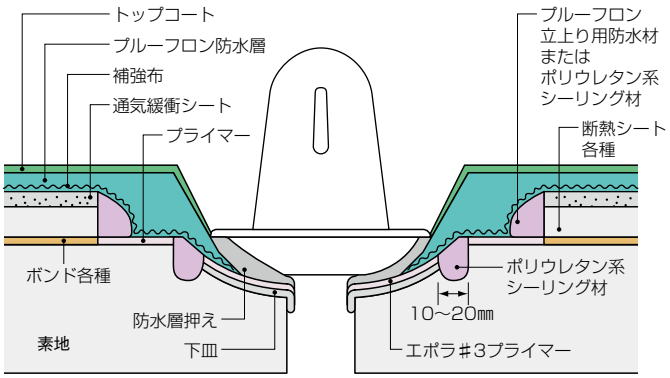
立上り部

PD工法［断熱・遮熱工法］

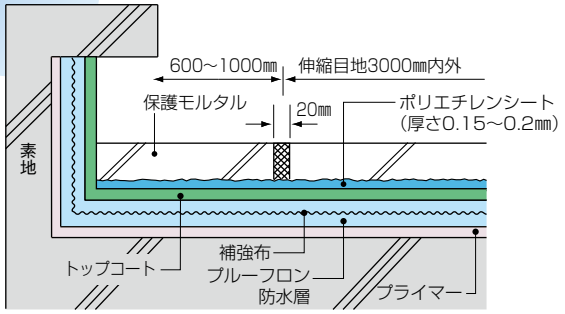


ドレンまわり

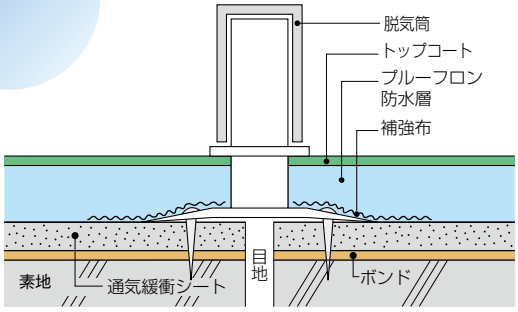
PD工法［断熱・遮熱工法］
PKD工法［機械的固定・断熱・遮熱工法］



保護モルタル押さえ



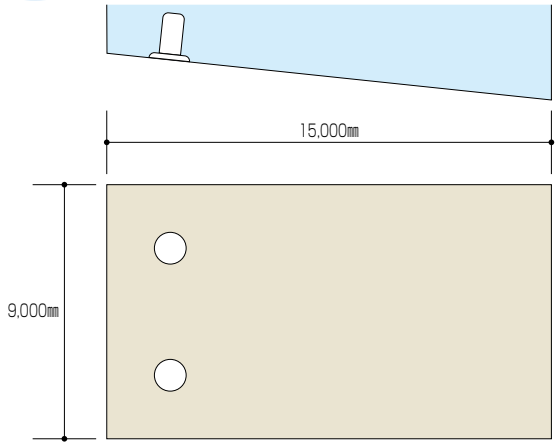
脱気筒まわり



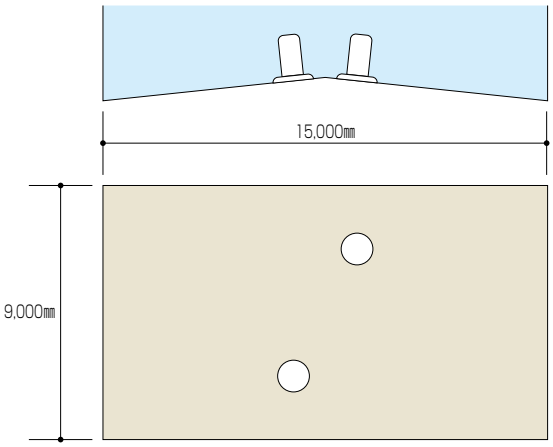
■脱気筒の施工（防水層50～100㎡に1カ所設置）

脱気筒の設置例 （50～100㎡に1カ所）

■片流れ勾配

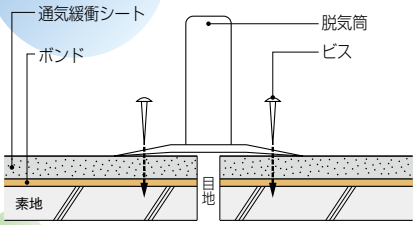


■両流れ勾配

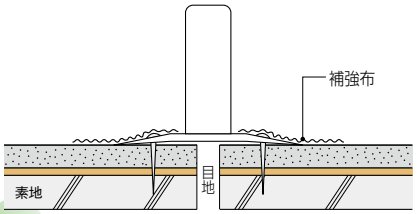


■注意事項 ●1日のうちでもっとも長い時間日光の当たる場所の、いちばん高い位置に設置してください。

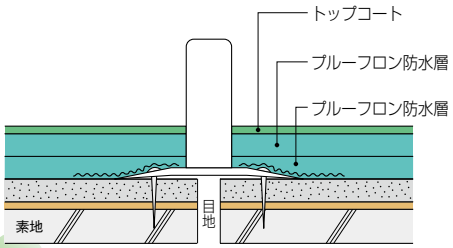
脱気筒施工の工程



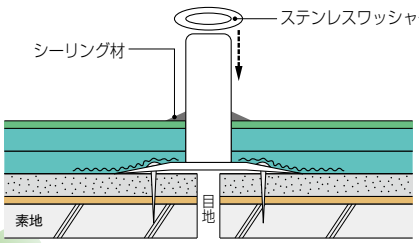
1 通気緩衝シートを貼ったあと、脱気筒をビスで固定してください。その後、脱気筒の下部全体にプライマーを施工してください。



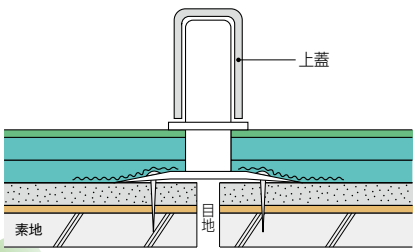
2 脱気筒本体周りを補強布で覆ってください。



3 各種の防水施工を行なってください。



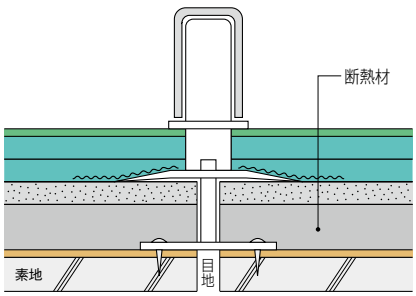
4 脱気筒と接合する防水層端末部分をシーリングし、ステンレスワッシャーを取り付けてください。



5 外筒が回らないように固定しながら、上蓋を締めてください。

■注意事項 ●外筒の取り付け方向に注意し、上蓋を締めながら固定してください。
●各リングの取り付け位置に注意してください。

PKD、PD工法で断熱材を使用した場合の納まり図（コア付きを使用した場合）



各種の試験で実証された高性能――。

■プルーフロンシリーズ試験成績

防水材各種 試験成績書

試験項目			JIS A 6021:2011 ウレタンゴム系 高伸長形(旧1類)の要求性能	プルーフロン エコDX	
引張性能	引張強さ　N/㎟	試験時温度　23℃	2.3以上	4.9	
		試験時温度−20℃	2.3以上	11.5	
		試験時温度　60℃	1.4以上	2.5	
	破断時の伸び率　%	試験時温度　23℃	450以上	675	
	抗張積　N/㎜	試験時温度　23℃	280以上	659	
	破断時のつかみ間の伸び率　%	試験時温度　23℃	300以上	498	
		試験時温度−20℃	250以上	426	
		試験時温度　60℃	200以上	297	
引裂性能	引裂強さ　N/㎜		14以上	16	
加熱伸縮性状	伸縮率　%		−4.0以上、1.0以下	−0.3	
劣化処理後の引張性能	引張強さ比　%	加熱処理	80以上	84	
		促進曝露処理	60以上	98	
		アルカリ処理	60以上	87	
		酸処理	80以上	115	
	破断時の伸び率　%	加熱処理	400以上	700	
		促進曝露処理	400以上	767	
		アルカリ処理	400以上	667	
		酸処理	400以上	642	
伸び時の劣化性状		加熱処理	いずれの試験片にも、ひび割れ及び著しい変形を認めないこと。	合格	
		促進曝露処理		合格	
		オゾン処理		合格	
たれ抵抗性能 ※		たれ長さ　㎜	いずれの試験体も3.0以下	ー	
		しわの発生	いずれの試験体にもあってはならない。	ー	
固形分　%			表示値±3.0	97	
硬化物密度　Mg/㎥			表示値±0.1	1.3	

※一般平場部に用いる一般用には適用しません。

トップコート各種 試験成績書一覧

試験項目	試験条件	プルーフロン EGトップ 4F遮熱	プルーフロン EGトップ4F	プルーフロン EGトップ シリコンマイルド	プルーフロン GRトップ エコ	プルーフロン GRトップ 遮熱	
付着性	碁盤目(2㎜×2㎜　100升) テープテスト	100/100 (残分)	100/100 (残分)	100/100 (残分)	100/100 (残分)	100/100 (残分)	
耐水性	蒸留水に浸漬	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	
耐アルカリ性	5%水酸化ナトリウムに浸漬	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	ー	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	
	セメント飽和液に浸漬	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	
耐酸性	5%硫酸に浸漬	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	
	5%塩酸に浸漬	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	
促進耐候性	サンシャインウエザオメーター	異常なし (3000時間)	異常なし (3000時間)	異常なし (2000時間)	異常なし (1000時間)	異常なし (1000時間)	
凍結融解サイクル	80℃×6時間+水中(20℃)×2時間+ 水中凍結(−20℃)×16時間 を1サイクルとして30サイクル	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
屋外暴露		異常なし (3年間)	異常なし (3年間)	異常なし (2年間)	異常なし (1年間)	異常なし (1年間)	

	一般用				立上り用				共用
	ブルーフロン エコONE	ブルーフロン エコ	ブルーフロン エコMID	ブルーフロン バリュー	ブルーフロン エコDX NS	ブルーフロン エコONE NS	ブルーフロン エコNS	ブルーフロン バリュー NS	ブルーフロン エコ目止材
	2.8	3.5	3.1	2.5	5.2	3.5	3.9	3.0	3.9
	6.5	7.4	8.6	6.2	13.9	6.8	10.1	5.8	10.1
	2.0	2.9	1.9	1.7	3.4	2.4	2.8	2.1	2.8
	718	950	660	740	675	700	778	568	778
	404	660	400	380	699	554	617	340	617
	424	550	370	420	527	530	514	336	514
	307	540	510	460	485	410	627	319	627
	298	460	220	300	411	351	394	247	394
	18	17	16	14	18	18	17	14	17
	−0.1	−0.3	−0.2	−0.1	−0.3	−0.3	−0.3	−0.8	−0.3
	85	89	97	80	98	92	94	94	94
	85	86	90	84	114	103	81	93	81
	88	94	106	112	102	90	99	89	99
	89	97	100	104	89	89	99	103	99
	675	940	770	810	725	752	698	565	698
	545	900	680	800	683	739	728	535	728
	765	970	670	820	675	730	770	505	770
	807	890	670	870	750	736	753	550	753
	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	—	—	—	—	合格	合格	合格	合格	合格
	96	97	97	97	97	93	97	97	97
	1.3	1.3	1.3	1.4	1.3	1.4	1.3	1.4	1.3

	ブルーフロン GRトップ フッ素	ブルーフロン GRトップ	ブルーフロン GRトップ 艶消T	ユータック FT	ブルーフロンエコ 水性GRトップ 遮熱	ブルーフロン エコ 水性GRトップ	ブルーフロン エコ 水性トップ	ブルーフロン 水性上塗 シルバー	ブルーフロン URトップ
	100/100 (残分)	100/100 (残分)	100/100 (残分)	100/100 (残分)	100/100 (残分)	100/100 (残分)	100/100 (残分)	100/100 (残分)	100/100 (残分)
	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	異常なし (7日間)	異常なし (30日間)
	異常なし (30日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	—	—	異常なし (7日間)	—	異常なし (7日間)
	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)
	異常なし (30日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	—	異常なし (7日間)
	異常なし (30日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	—	異常なし (7日間)
	異常なし (3000時間)	異常なし (1000時間)	異常なし (1000時間)	異常なし (1000時間)	異常なし (1000時間)	異常なし (1000時間)	異常なし (1000時間)	異常なし (1000時間)	異常なし (1000時間)
	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	—	—	異常なし	—	—
	異常なし (3年間)	異常なし (1年間)	異常なし (1年間)	異常なし (1年間)	異常なし (1年間)	異常なし (1年間)	異常なし (1年間)	異常なし (1年間)	異常なし (1年間)

高品質を裏づける製品基本データ。

プルーフロンプライマー各種

製品名		プルーフロン プライマーS	プルーフロン プライマーU	プルーフロンエコ プライマー	プルーフロンエコ 水性プライマー ホワイト	NT塩ビシート プライマー	プルーフロン 塗り替え用 プライマー
タイプ		標準タイプ	速乾タイプ 塗り替え用	環境対応 速乾タイプ	環境対応 水性タイプ	速乾タイプ	速乾タイプ 塗り替え用
樹脂系		ウレタン樹脂系	ウレタン樹脂系	ウレタン樹脂系	エポキシ樹脂系	ウレタン樹脂系	ウレタン樹脂系
		溶剤型１液	溶剤型１液	溶剤型１液	水性２液	溶剤型１液	溶剤型１液
荷姿		16kg、4kg	16kg、4kg	16kg	16kgセット （A液8kg：B液8kg）	12kg	12kg
混合比(重量比)		—	—	—	A:B=1:1	—	—
可使時間(23℃)		—	—	—	3時間	—	—
施工間隔	5～15℃	4～72時間	3～12時間	3～12時間	10～24時間	3～6時間	3～6時間
	15～25℃	3～72時間	2～12時間	2～12時間	4～24時間	2～6時間	2～6時間
	25～35℃	2～72時間	2～12時間	2～12時間	3～24時間	1～6時間	1～6時間

●施工間隔が短かすぎた場合、フクレ、剥離の原因となります。施工間隔が開きすぎた場合は必ず艶がなくなるまでサンディング、清掃を行なった後に再度プライマーを塗布してください。
●プルーフロンエコDX、エコDX NSの上に別のタイプの防水材を塗り重ねる場合、再度プライマーが必要になります。

【プライマーと下地の適合性】

◎＝適合(原液で使用)　○＝適合(シンナーを等倍希釈して使用)　×＝使用不可

製品名	プルーフロン プライマーS	プルーフロン プライマーU	プルーフロンエコ プライマー	プルーフロンエコ 水性プライマー ホワイト	NT塩ビシート プライマー	プルーフロン 塗り替え用 プライマー
モルタル、コンクリート	◎	◎	◎	◎	×	×
既存ウレタン塗膜防水材	○	○	○	×	×	◎
層間の塗り継ぎ	○	○	○	×	×	◎
塩ビシート	×	×	×	×	◎	×
FRP防水材	×	○	○	×	×	◎
エポキシ樹脂塗膜	×	○	○	◎	×	◎

●FRP樹脂、エポキシ樹脂は必ず表面のサンディングが必要になります。
●プルーフロンプライマーS、プルーフロンプライマーUの希釈はプルーフロンGRトップシンナーを使用してください。環境対応仕様はプルーフロンエコプライマーをプルーフロンエコシンナーにて倍希釈して使用してください（使用量は混合材料で0.1kg/㎡程度となります）。
※既存塗膜が水性やシルバーの場合、著しく劣化している場合などは別途ご相談ください。

【プライマーと防水材の適合性】

○＝適合　×＝使用不可

製品名	プルーフロン エコDX	プルーフロン エコONE	プルーフロン エコ	プルーフロン バリュー	プルーフロン エコMID	プルーフロン エコDX NS	プルーフロン エコONE NS	プルーフロン エコNS	プルーフロン バリューNS	プルーフロン エコ目止材
プルーフロンプライマーS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プルーフロンプライマーU	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プルーフロンエコプライマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プルーフロン エコ水性プライマー ホワイト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
NT塩ビシートプライマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プルーフロン塗り替え用プライマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

プルーフロン金属面用プライマー各種

製品名		エポラオールプライマー	エポラ#3プライマー	シルビア金属用プライマーM	エポラ#3000Sプライマー
樹脂系		変性エポキシ樹脂系 弱溶剤型２液	エポキシ樹脂系 溶剤型２液	エポキシ樹脂系 溶剤型２液	エポキシ樹脂系 溶剤型２液
荷姿		16kgセット （A液14kg：B液2kg）	16.5kgセット （A液15kg：B液1.5kg）	18kgセット （A液15kg：B液3kg）	8ℓセット （A液4ℓ：B液4ℓ）
混合比（重量比）		A液：B液=7：1	A液：B液=10：1	A液：B液=5：1	A液：B液=1：1（容量比）
標準塗布量		0.15kg/㎡	0.15kg/㎡	0.15kg/㎡	0.1kg/㎡
希釈シンナー名称と刷毛、ローラー施工時の希釈率（セットに対し）		原液にて塗布	エポラ#3シンナー 10～15%	シルビアEシンナー 10～15%	原液にて塗布
可使時間（23℃）		6時間	6時間	8時間	8時間
施工間隔	5～15℃	12～72時間	12～72時間	12～72時間	4～12時間
	15～25℃	6～72時間	6～72時間	6～72時間	3～12時間
	25～35℃	5～72時間	5～72時間	5～72時間	2～12時間

●降雨に曝されたり、施工間隔を超えた場合はプルーフロンプライマー U、プルーフロンプライマー Sの施工が必要となります。

【金属面用プライマーと下地の適合性】　○＝適合　×＝使用不可

製品名	エポラオールプライマー	エポラ# 3 プライマー	シルビア金属用プライマーM	エポラ#3000Sプライマー
鋼板	○	×	○	○
アルミ板	○	○	×	○
ステンレス板	○	○	×	○
ガルバニウム鋼板	○	○	×	○
旧塗膜有（塩ビ系樹脂以外）	○	×	×	×
鉛	○	○	×	○
鋳物	○	○	○	○
ブリキ	○	○	×	○
銅	○	×	×	○
亜鉛メッキ鋼板	○	○	×	○
ウレタン防水	×	×	×	×

●降雨に曝されたり、施工間隔を超えた場合はプルーフロンプライマー U、プルーフロンプライマー Sの施工が必要となります。
●フッ素鋼板の場合はメーカー、経過年数、劣化状況により、付着性が異なるため、必ず施工前に付着性試験を行なってください。

【金属面用プライマーと防水材の適合性】　○＝適合　×＝使用不可

製品名	プルーフロンエコDX	プルーフロンエコONE	プルーフロンエコ	プルーフロンバリュー	プルーフロンエコMID	プルーフロンエコDX NS	プルーフロンエコONE NS	プルーフロンエコNS	プルーフロンバリューNS	プルーフロンエコ目止材
エポラオールプライマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エポラ#3プライマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
シルビア金属用プライマーM	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エポラ#3000Sプライマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

プルーフロン防水層各種

製品名	プルーフロン エコDX※	プルーフロン エコONE	プルーフロン エコ	プルーフロン バリュー	プルーフロン エコMID
混合比(主剤：硬化剤)	1：2	—	1：2	1：3	1：2
硬化物比重	1.3	1.3	1.3	1.4	1.3
JIS A 6021	ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)一般用	ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)一般用	ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)一般用	ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)一般用	ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)一般用
JIS認証番号	JP0308008	TC0507029	JP0308008	JP0308008	JP0308008
特長	環境対応型 鉛フリー 特化則非該当	環境対応型 鉛フリー 特化則非該当	環境対応型 鉛フリー	一般用平場向	環境対応型 鉛フリー

製品名	プルーフロン エコDX NS※	プルーフロン エコONE NS	プルーフロン エコNS	プルーフロン バリューNS	プルーフロン エコ目止材
混合比(主剤：硬化剤)	1：2	—	1：2	1：3	1：2
硬化物比重	1.3	1.4	1.3	1.4	1.3
JIS A 6021	ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)立上り用	ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)立上り用	ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)立上り用	ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)立上り用	ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)共用
JIS認証番号	JP0308008	TC0507029	JP0308008	JP0308008	JP0308008
特長	環境対応型 鉛フリー 特化則非該当 ノンザクタイプ	環境対応型 鉛フリー 特化則非該当	環境対応型 鉛フリー ノンサグタイプ	一般用 ノンサグタイプ	環境対応型 鉛フリー

※「プルーフロンエコDX」「プルーフロンエコDX NS」は他の防水材との組み合わせや塗り重ね、取り合いが生じた場合、付着不良が起こるため同一現場で併用しないでください。
「プルーフロンエコDX」「プルーフロンエコDX NS」の硬化を速める場合は、「プルーフロンエコDX専用硬化促進剤」をご使用ください。

【増粘剤のセット(重量比)に対する添加量】

製品名		プルーフロンエコDX	プルーフロンエコ	プルーフロンエコMID	プルーフロンバリュー
商品入目		18kgセット	18kgセット	18kgセット	20kgセット
ミルコンMS-2(ダレ止め剤)	45°以下の勾配	0.7～0.8kg	0.5～0.6kg	0～0.3kg	0.5～0.6kg
	45°以上の勾配	1.0～1.4kg	1.0～1.2kg	0～0.5kg	1.0～1.2kg
液状ダレ止め剤	45°以下の勾配	使用不可	0.1～0.2kg	0～0.2kg	0.1～0.2kg
	45°以上の勾配	使用不可	0.3～0.5kg	0.2～0.5kg	0.3～0.5kg

●液状ダレ止め剤の添加量は最大3%までとしてください。
●プルーフロンエコ、プルーフロンエコMIDに液状ダレ止め剤を添加した場合、環境対応にはなりません。

【硬化促進剤のセット(重量比)に対する添加量】

●プルーフロンエコ ホワイト遮熱の促進剤添加量は❼ページの表をご参照ください。

●プルーフロンエコDX、プルーフロンエコDX NSへのプルーフロンエコDX専用硬化促進剤の添加量

	硬化促進剤の添加量(18kgセットに対して)	気温	可使時間	次工程までの時間
冬型の硬化剤を使用した場合	添加剤なし	10℃	50分	22～72時間
		15℃	40分	20～72時間
		20℃	25分	18～72時間
	0.06kg	5℃	50分	24～72時間
		10℃	40分	18～72時間
		15℃	30分	16～72時間
		20℃	15分	12～72時間
	0.12kg	5℃	30分	20～72時間
		10℃	20分	14～72時間
		15℃	15分	12～72時間
	0.18kg	5℃	15分	16～72時間

	硬化促進剤の添加量(18kgセットに対して)	気温	可使時間	次工程までの時間
夏型の硬化剤を使用した場合	添加剤なし	15℃	50分	24～72時間
		20℃	40分	20～72時間
		25℃	30分	18～72時間
	0.06kg	15℃	40分	22～72時間
		20℃	30分	18～72時間
		25℃	15分	14～72時間
	0.12kg	15℃	20分	20～72時間
		20℃	15分	14～72時間
	0.18kg	15℃	15分	18～72時間

●硬化促進剤は最大1%までの添加としてください。

●プルーフロンエコ、プルーフロンエコMID、プルーフロンエコNS、プルーフロンエコ目止材へのプルーフロンエコ専用硬化促進剤の添加量

	硬化促進剤の添加量（18kgセットに対して）	気温	可使時間	次工程までの時間
冬型の硬化剤を使用した場合	添加なし	10℃	40分	24～72時間
		15℃	30分	18～72時間
		20℃	20分	18～72時間
	0.03kg	10℃	30分	24～72時間
		15℃	20分	24～72時間
		20℃	15分	18～72時間
	0.06kg	5℃	30分	18～72時間
		10℃	20分	18～72時間
		15℃	15分	16～72時間
	0.10kg	5℃	25分	12～72時間
		10℃	15分	10～72時間
	0.15kg	5℃	15分	8～72時間

	硬化促進剤の添加量（18kgセットに対して）	気温	可使時間	次工程までの時間
夏型の硬化剤を使用した場合	添加なし	15℃	50分	24～72時間
		20℃	40分	24～72時間
		25℃	30分	18～72時間
	0.03kg	15℃	40分	24～72時間
		20℃	30分	18～72時間
		25℃	20分	12～72時間
	0.06kg	15℃	30分	18～72時間
		20℃	20分	12～72時間
		25℃	15分	8～72時間
	0.10kg	15℃	25分	14～72時間
		20℃	15分	8～72時間
	0.15kg	15℃	15分	8～72時間

●硬化促進剤は最大1%までの添加としてください。

●プルーフロンバリュー、プルーフロンバリュー NSへのウレタンゴム用硬化促進剤の添加量

	硬化促進剤の添加量（20kgセットに対して）	気温	可使時間	次工程までの時間
冬型の硬化剤を使用した場合	添加なし	10℃	40分	24～72時間
		15℃	30分	18～72時間
		20℃	20分	18～72時間
	0.1kg	10℃	30分	24～72時間
		15℃	20分	18～72時間
		20℃	10分	12～72時間
	0.2kg	5℃	30分	24～72時間
		10℃	20分	18～72時間
		15℃	15分	12～72時間
	0.3kg	5℃	25分	10～72時間
		10℃	15分	8～72時間
	0.5kg	5℃	15分	6～72時間

	硬化促進剤の添加量（20kgセットに対して）	気温	可使時間	次工程までの時間
夏型の硬化剤を使用した場合	添加なし	15℃	50分	24～72時間
		20℃	40分	24～72時間
		25℃	30分	18～72時間
	0.1kg	15℃	40分	24～72時間
		20℃	30分	18～72時間
		25℃	20分	12～72時間
	0.2kg	15℃	30分	24～72時間
		20℃	20分	18～72時間
		25℃	15分	12～72時間
	0.3kg	15℃	25分	10～72時間
		20℃	15分	8～72時間
	0.4kg	15℃	15分	6～72時間

●硬化促進剤は最大3%までの添加としてください。

プルーフロントップコート各種

【溶剤タイプ】環境対応タイプ

製品名		プルーフロン EGトップ4F遮熱	プルーフロン EGトップ4F	プルーフロン EGトップシリコンマイルド	プルーフロン GRトップエコ
樹脂系		溶剤型2液	溶剤型2液	弱溶剤型2液	溶剤型2液
		4フッ化フッ素樹脂系	4フッ化フッ素樹脂系	シリコン樹脂系	アクリルウレタン樹脂系
備考		超高耐候性、環境対応遮熱タイプ	超高耐候性、環境対応タイプ	高耐候性、環境対応タイプ	環境対応タイプ
		艶あり	艶あり	艶あり	艶あり
荷姿		15kgセット（A液10kg、B液5kg）	15kgセット（A液10kg、B液5kg）	16kgセット（A液12kg、B液4kg）	16kgセット（A液12kg、B液4kg）
混合比(重量比)		A液：B液=2.1	A液：B液=2.1	A液：B液=3.1	A液：B液=3：1
希釈率(セットに対して)		無希釈	無希釈	無希釈	無希釈
硬化促進剤添加量（15kgセットに対して）	5～10℃	0.12kg※	0.12kg※	不要	不要
	10～25℃	0.08kg※	0.08kg※		
	25℃以上	不要	不要		
可使時間(23℃)		4時間以内	4時間以内	4時間以内	3時間以内
歩行可能時間(23℃)		24時間以上	24時間以上	24時間以上	24時間以上

※プルーフロンEGトップ4F専用硬化促進剤をご使用ください。

【溶剤タイプ】

製品名	プルーフロン GRトップ遮熱	プルーフロン GRトップ フッ素	プルーフロン GRトップ	プルーフロン GRトップ艶消T	ユータックFT
樹脂系	溶剤型2液	溶剤型2液	溶剤型2液	溶剤型2液	溶剤型2液
	アクリルウレタン樹脂系	フッ素樹脂系	アクリルウレタン樹脂系	アクリルウレタン樹脂系	アクリルウレタン樹脂系
備考	遮熱タイプ	超高耐候性タイプ	標準タイプ	軽量骨材入りタイプ	標準タイプ
	艶あり	艶あり	艶あり	艶消し	艶あり
荷姿	18kgセット（A液15kg、B液3kg）6kgセット（A液5kg、B液1kg）	18kgセット（A液15kg、B液3kg）6kgセット（A液5kg、B液1kg）	18kgセット（A液15kg、B液3kg）6kgセット（A液5kg、B液1kg）	14kgセット（A液12kg、B液2kg）	18kgセット（A液15kg、B液3kg）6kgセット（A液5kg、B液1kg）
混合比(重量比)	A液：B液=5：1	A液：B液=5：1	A液：B液=5：1	A液：B液=6：1	A液：B液=5：1
希釈率(セットに対して)	0～20%	0～20%	0～20%	0～20%	0～20%
可使時間(23℃)	4時間以内	4時間以内	4時間以内	4時間以内	4時間以内
歩行可能時間(23℃)	24時間以上	24時間以上	24時間以上	24時間以上	24時間以上

【水性タイプ】

製品名	プルーフロンエコ 水性GRトップ遮熱※2	プルーフロンエコ 水性GRトップ※2	プルーフロンエコ 水性トップ	プルーフロン 水性上塗シルバー	プルーフロン URトップ
樹脂系	水性2液	水性2液	水性1液、無機質系骨材入り	水性1液	水性1液、無機質系骨材入り
	水性アクリルウレタン樹脂系	水性アクリルウレタン樹脂系	水性アクリル樹脂系	水性アクリル樹脂系	水性アクリル樹脂系
備考	環境対応遮熱タイプ	環境対応タイプ	環境対応タイプ	非歩行用	環境対応タイプ
	艶あり	艶あり	艶消し骨材入り	シルバー色	艶消し骨材入り
荷姿	11kgセット（A液10kg、B液1kg）	11kgセット（A液10kg、B液1kg）	20kg	16kg	20kg
混合比(重量比)	A液：B液=10：1	A液：B液=10：1	—	—	—
希釈率(セットに対して)	0～2%	0～2%	0～30%	無希釈	0～30%
標準塗布量	0.2kg/㎡	0.2kg/㎡	0.35kg/㎡×2回	0.2kg/㎡	0.5kg/㎡×2回
可使時間(23℃)	1時間以内	1時間以内	—	—	—
歩行可能時間(23℃)	24時間以上	24時間以上	24時間以上	24時間以上	24時間以上

※1：プルーフロンEGトップシリコンマイルドは他のトップコートと比較し、硬化が遅いため、養生テープなどは施工しながら取り除いてください。翌日以降に養生テープを剥がすと、端末からの剥離が生じやすいため、ご注意ください。冬場などで粘度が高い場合はプルーフロンエコシンナーにて希釈を行なってください(塗料用シンナーAでは溶解しません)。

※2：プルーフロンエコ水性GRトップ遮熱、プルーフロンエコ水性GRトップの場合、施工後の補修、タッチアップは指触乾燥後24時間以内(23℃)に行なってください。それ以上施工間隔があいた場合は付着力が弱くなるため、別途プライマーが必要となります。

【トップコートと防水層の適合性】　○＝適合　×＝使用不可

製品名	ブルーフロン エコDX	ブルーフロン エコONE	ブルーフロン エコ	ブルーフロン エコMID	ブルーフロン バリュー	ブルーフロン エコDX NS	ブルーフロン エコONE NS	ブルーフロン エコNS	ブルーフロン バリュー NS
ブルーフロンGRトップ遮熱	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブルーフロンGRトップ フッ素	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブルーフロンEGトップ4F遮熱	×	○	○	○	○	×	○	○	○
ブルーフロンEGトップ4F	×	○	○	○	○	×	○	○	○
ブルーフロンEGトップ シリコンマイルド	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブルーフロンGRトップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブルーフロンGRトップ艶消T	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブルーフロンGRトップエコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブルーフロンエコ水性GRトップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブルーフロンエコ水性GRトップ遮熱	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブルーフロンエコ水性トップ	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※
ブルーフロン水性上塗シルバー	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ブルーフロン塗り替え用プライマーもしくはブルーフロンプライマーUを倍希釈して施工し、6時間以内に該当のトップコートを施工してください(環境対応仕様はブルーフロンエコプライマーをブルーフロンエコシンナーにて倍希釈して使用してください／㊽ページをご参照ください)。

【防滑材の重量比に対する混入比】

製品名	ブルーフロン EGトップ4F 遮熱	ブルーフロン EGトップ4F	ブルーフロン EGトップ シリコンマイルド	ブルーフロン GRトップ エコ	ブルーフロン GRトップ 遮熱	ブルーフロン GRトップ フッ素	ブルーフロン GRトップ	ブルーフロン GRトップ 艶消T	ユータック FT	ブルーフロンエコ 水性GRトップ 遮熱	ブルーフロンエコ 水性GRトップ
エストップ#20、ブルーフロンチップ	3～5%	3～5%	3～5%	3～5%	3～5%	3～5%	3～5%	不要	3～5%	3～5%	3～5%
NTマイクロ骨材	2%	2%	2%	2%	2%	2%	2%	不要	2%	2%	2%

【ブルーフロンEGトップ4F専用硬化促進剤の塗料(1kg)に対する添加量(目安)】

温度範囲	5～10℃	10～25℃	25℃以上
硬化促進剤添加量	0.12kg(120g)	0.08kg(80g)	不要

プルーフロン通気緩衝シート各種

製品名		プルーフロン NT-FタックシートS	プルーフロン NT-Fシート	プルーフロン NT-Fシート#2	プルーフロン NT-Fシート#2(フイルム付き)	プルーフロン NT-Fパンチシート
組成		自着層付き不織布改質アスファルト積層シート	発泡ポリエチレンサンドシート	ポリエチレン不織布シート	ポリエチレン不織布シート(フイルム付き)	ポリエチレン不織布シート
寸法		幅1.04m×長さ15.7m/巻	幅1.15m×長さ30m/巻	幅1.0m×長さ25m/巻	幅1.0m×長さ25m/巻	幅1.0m×長さ50m/巻
厚さ(平均)		1.5㎜	3.0㎜	1.4㎜	1.4㎜	1.4㎜
引張強度 N/50	縦	780	320	578	1,220	592
	横	760	165	549	1,180	567
伸び	縦	4%	26%	69%	74%	74%
	横	4%	25%	71%	61%	71%
ジョイントテープの種類		NTジョイントテープイエロー プルーフロンNT-F端末テープS	NTジョイントテープイエロー プルーフロンNT-F ジョイントテープ	NTジョイントテープイエロー プルーフロンNT-F ジョイントテープ	NTジョイントテープイエロー プルーフロンNT-F ジョイントテープ	NTジョイントテープイエロー プルーフロンNT-F ジョイントテープ

●プルーフロンNT-Fパンチシートの物性値はパンチ処理前の値となります。 ●いずれの物性値も代表値であり、保証値ではありません。
●プルーフロンNT-FタックシートSの裏面には接着層が0.2kg/㎡コーティングされています。
●プルーフロンNT-Fシート#2(フイルム付き)とプルーフロン速乾の組み合わせはできません。
●プルーフロンNT-FタックシートS(突き付けタイプ)は幅1m×長さ15mの寸法となります。

【接着剤(ボンドとプライマー)の塗布方法】

製品名	成分	標準塗布量	塗布部位	塗装方法	シート張りまでの施工間隔(23℃)
プルーフロンNT-Fボンド	クロロプレンゴム系	0.6～0.8kg/㎡ (下地0.3kg、シート0.3kg)	両面	ローラー、刷毛	20分～8時間
プルーフロンNT-F水性ボンド	水性エマルション樹脂系	0.3～0.6kg/㎡	片面	クシゴテ、ローラー	直ちに(0分～20分)
プルーフロンNT-FエコボンドH	環境対応型1液湿気硬化ウレタン樹脂系	0.3～0.6kg/㎡	片面	専用クシゴテ	直ちに(0分～20分)
プルーフロンプライマーS	1液湿気硬化溶剤ウレタン樹脂系	0.2～0.3kg/㎡	片面	ローラー、刷毛	3時間～72時間
プルーフロンプライマーU	1液湿気硬化溶剤ウレタン樹脂系	0.2～0.3kg/㎡	片面	ローラー、刷毛	2時間～12時間
プルーフロンエコプライマー	環境対応型1液湿気硬化溶剤ウレタン樹脂系	0.2～0.3kg/㎡	片面	ローラー、刷毛	2時間～12時間
プルーフロンエコ水性プライマーホワイト	環境対応型2液水性エポキシ樹脂系	0.2～0.3kg/㎡	片面	ローラー、刷毛	4時間～24時間

【接着用ボンドとプライマーの通気緩衝シートとの適応】○＝適合　×＝使用不可

製品名	プルーフロン NT-FタックシートS	プルーフロン NT-Fシート	プルーフロン NT-Fシート#2	プルーフロン NT-Fパンチシート
プルーフロンNT-Fボンド	○※1	○	○	○
プルーフロンNT-F水性ボンド	×	○	○	×
プルーフロンNT-FエコボンドH	×	○	○	○※2
プルーフロンプライマーS	○	×	×	×
プルーフロンプライマーU	○	×	×	×
プルーフロンエコプライマー	○	×	×	×
プルーフロンエコ水性プライマーホワイト	○	×	×	×

●プルーフロンNT-Fシート#2(フイルム付き)はプルーフロンNT-Fシート#2と同じ適応になります。
※1：プルーフロンNT-Fボンドをプルーフロンnt-FタックシートSに使用する場合、ボンドは下地(片面)のみに塗布してください。
※2：プルーフロンNT-FエコボンドHをプルーフロンNT-Fパンチシートに使用する場合、プルーフロンNT-Fパンチシートを張り付け後、次工程へ進める時間は、夏期：3時間以上、冬期：6時間以上を目安としてください。

プルーフロンシリーズ副資材一覧

プルーフロンNT-F
タックシートS（自着層付きタイプ）

●**荷姿**：厚さ1.5㎜×幅1.04m×長さ15.7m/巻
●**適用**：PK、PKD、PN工法用シート

ガラス補強布、改質アスファルトの積層シートです。表面にはウレタン防水材と相性のよい特殊加工が施され、水のしみ込みリスクを低減します（突き付けタイプ厚さ1.4㎜×幅1m×長さ15mは受注生産となります）。

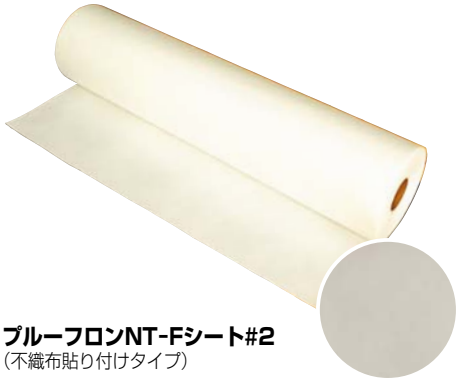
●**表面**：グレー色の特殊加工面
●**裏面**：黒色の自着層面（下地側）

プルーフロンNT-Fシート
（不織布貼り付けタイプ）

●**荷姿**：厚さ3.0㎜×幅1.15m×長さ30m/巻
●**適用**：PN工法用シート

高分子膜を中間層として両面を不織布で被覆した通気緩衝特殊シートです。軽微な不陸調整も兼ね、亀裂などを吸収する働きもあります。

●**表面**：型押しされたなめらかな面
●**裏面**：毛羽立っている面（下地側）

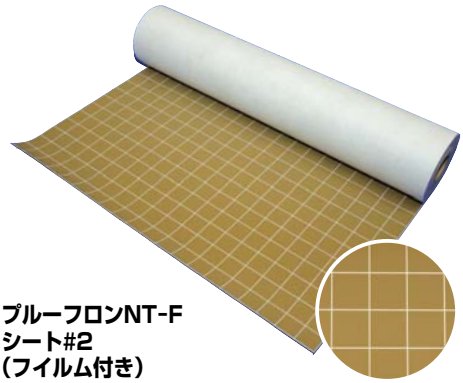


プルーフロンNT-Fシート#2
（不織布貼り付けタイプ）

●**荷姿**：厚さ1.4㎜×幅1.0m×長さ25m/巻
●**適用**：PN工法用シート

高分子膜を中間層として両面を不織布で被覆した通気緩衝特殊シートです。亀裂などを吸収する働きもあります。

●**表面**：型押しされたなめらかな面
●**裏面**：毛羽立っている面（下地側）

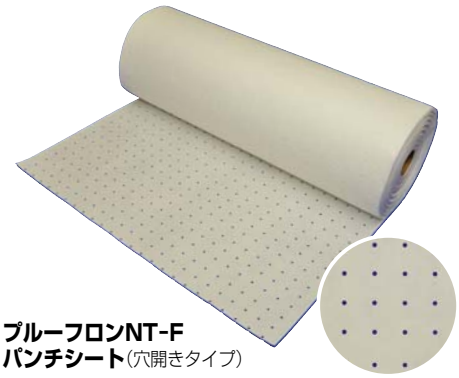


プルーフロンNT-F
シート#2
（フイルム付き）

●**荷姿**：厚さ1.4㎜×幅1.0m×長さ25m/巻
●**適用**：PN工法用シート

プルーフロンNT-Fシート＃2の表面に特殊ポリエステルフイルムを貼り合わせ、シート単位での雨養生を可能としたハイブリッドタイプです。プルーフロンエコ速乾との組み合わせはできません。

●**表面**：なめらかなフィルム面
●**裏面**：白色で毛羽立っている面（下地側）

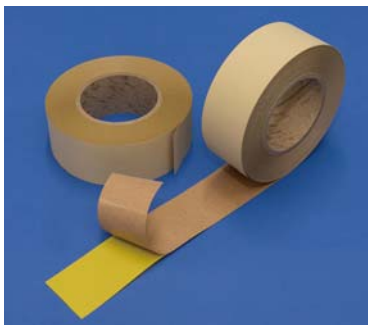


プルーフロンNT-F
パンチシート（穴開きタイプ）

●**荷姿**：厚さ1.4㎜×幅1.0m×長さ50m/巻
●**適用**：PN工法用シート

ポリエチレン繊維通気緩衝シートで、穴が開いたタイプです。素地に密着しながら発生する蒸気を脱気装置へ導きます。

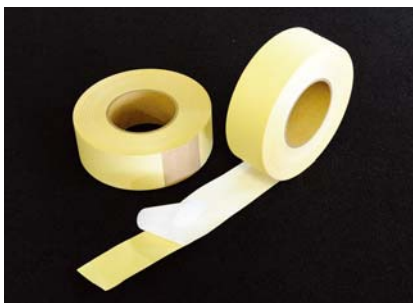
●**表面**：型押しされたなめらかな面
●**裏面**：毛羽立っている面（下地側）



NTジョイントテープ イエロー

●**荷姿**：幅50㎜×長さ50m/巻 1本単位
●**適用シート**：プルーフロンNT-Fタックシート S、プルーフロンNT-Fシート、プルーフロンNT-Fシート#2、プルーフロンNT-Fパンチシート

プルーフロンでラインアップされているすべての通気緩衝シートに使用できます。



プルーフロンNT-Fジョイントテープ

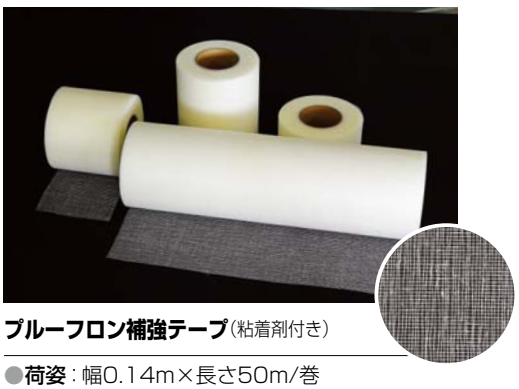
●**荷姿**：幅50㎜×長さ50m/巻　1本単位
●**適用シート**：プルーフロンNT-Fシート、プルーフロンNT-Fシート#2、プルーフロンNT-Fパンチシート

不織布粘着層付きのジョイント処理用テープです。

プルーフロンNT-F端末テープS

●**荷姿**：幅75㎜×長さ25m/巻　1本単位
●**適用シート**：プルーフロンNT-FタックシートS

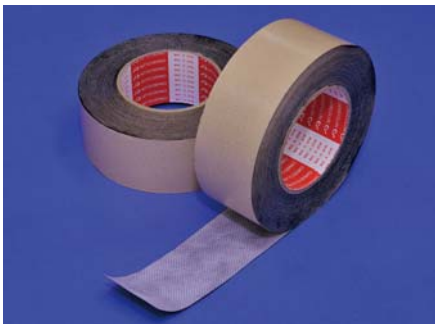
ブチルゴム製粘着層付きの端末処理用テープです。



プルーフロン補強テープ（粘着剤付き）

●**荷姿**：幅0.14m×長さ50m/巻
幅0.2m×長さ50m/巻
幅0.3m×長さ50m/巻
幅0.5m×長さ50m/巻

高強度ビニロンクロス（アクリル系粘着材）で、防水材の補強および通気シート端末部の押さえ用として使用します。



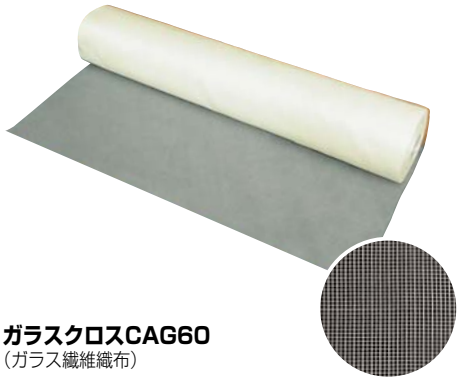
NTブチルテープ

●**荷姿**：幅50㎜×長さ20m/巻
幅100㎜×長さ20m/巻
1本単位
●**適用**：伸縮目地部などに貼り付け

ブチルゴム製粘着層付きの緩衝用テープです。

NT水切りテープ(粘着剤付き)

●**荷姿**：幅50㎜×長さ50m/巻　1本単位
●**適用**：水切りがないパラペットのアゴ下に貼り付けて防水材の施工を行ない、雨仕舞いの改善を目的としたテープです。



ガラスクロスCAG60
(ガラス繊維織布)

●**荷姿**：幅1.04m×長さ100m/巻

網目状のガラス繊維補強布です。
防水材補強布として使用します。
(平場用、立上り用兼用)
※裁断品(10㎝幅、粘着剤付き)もあります。

ブルーフロンソフトクロス
(合成繊維織布)

●**荷姿**：幅1.0m×長さ50m/巻

ポリエステル繊維の防水材用補強布です。下地の凹凸になじみやすく、施工も容易です。
(平場用、立上り用兼用)

コルバック30H
(合成繊維不織布)

●**荷姿**：幅1.04m×長さ100m/巻

ナイロン、ポリエステル複合繊維の防水材補強布です。織布のコシが強く層間剥離が起きません。オープン構造のため、材料の浸透性に優れます。
(平場用、立上り用兼用)

ブルーフロンW-1クロス
(合成繊維不織布)

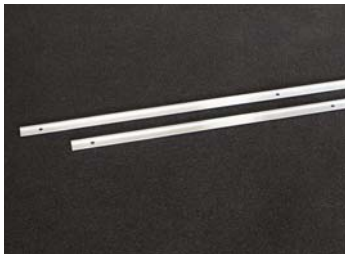
●**荷姿**：幅1.04m×長さ100m/巻

特殊ビニロン不織布＋ガラス糸の不織布です。防水材をよく浸透させ、柔軟性があり、作業性に優れています。防水材全般に使用します。
(平場用、立上り用兼用)

アルミキャント-40

●**荷姿**：幅30-40-30㎜×長さ2m
×厚さ0.8㎜　10本/箱
●**適用シート**：
ブルーフロンNT-FタックシートS

耐食アルミ製でPK工法(機械的固定工法)・PKD工法(機械的固定・断熱・遮熱工法)入隅コーナー用です。
(10穴/本)



端末プレート

●**荷姿**：幅30㎜×長さ2m×厚さ3.3㎜　20本/箱
●**適用シート**：
ブルーフロンNT-FタックシートS

耐食アルミ製でPK工法(機械的固定工法)・PKD工法(機械的固定・断熱・遮熱工法)入隅用です。
(5穴/本)

キャントプレートアンカー40

●**荷姿**：
つば13㎜×長さ40㎜　500本/箱
●**適用金物**：
アルミキャント、端末プレート
●**適用シート**：
ブルーフロンNT-FタックシートS
●**ドリル径**：5.5㎜

アルミキャント40、端末プレートを固定するためのプラグです。
※躯体への埋め込み深さは30㎜以上を選定してください。

メカニカルアンカー40、70、100

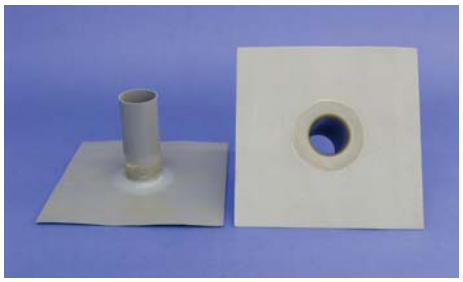
●**荷姿**：つば30㎜×長さ40㎜、70㎜、100㎜　500本/箱
※100㎜は受注生産品です。
●**適用シート**：
ブルーフロンNT-FタックシートS
●**ドリル径**：8㎜

耐食アルミ製でPK工法・PKD工法用プラグです。
※躯体への埋め込み深さは30㎜以上を選定してください。

ステンレス脱気筒

●**荷姿**：台座φ190×高さ194㎜　2個/箱
●**ドリル径**：3.4㎜
●**付属品**：補強布、押さえ金具

耐食ステンレス製のPN工法(通気緩衝工法)平場用の脱気筒です。断熱工法各種で使用する場合、専用コアが必要となる場合があります(別売り)。



非鉛ドレン(グッドレンS) タテ

●**荷姿**：厚み2.1㎜×350㎜×350㎜　2個/箱
- タテ型65用：外径60㎜
- タテ型95用：外径89㎜

※その他外径38㎜、48㎜、76㎜、114㎜も準備可能です。

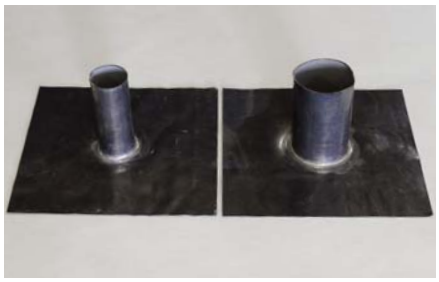
アルミエキスパンドメタルとゴムシートを複合させた非鉛ドレンです。

非鉛ドレン(グッドレンS) ヨコ

●**荷姿**：厚み2.1㎜×350㎜×350㎜　2個/箱
- ヨコ型75用：外径73㎜、ホース長さ600㎜
- ヨコ型105用：外径99㎜、ホース長さ700㎜

※その他外径40㎜、46㎜、54㎜、60㎜、86㎜、112㎜も準備可能です。

アルミエキスパンドメタルとゴムシートを複合させた非鉛ドレンです。



鉛改修ドレン

●**荷姿**：φ70×厚さ1.5㎜×つば330㎜×330㎜
高さ150㎜×外径63㎜　1個/箱
φ100×厚さ1.5㎜×つば330㎜×330㎜
高さ150㎜×外径95㎜　1個/箱

※その他外径87㎜、75㎜も準備可能です。
※施工には必ず、金属面用プライマーの塗布が必要です。

縦、横引き共通の改修用鉛ドレンです。

鉛ドレン用蛇腹

●**荷姿**：
φ70：
外径71.2㎜×長さ500㎜　1個/箱
φ100：
外径110.5㎜×長さ500㎜　1個/箱

鉛改修ドレンに使用する蛇腹で、締め付けバンドが付属しています。

目皿(ドレン用ストレーナーキャップ)**各種**

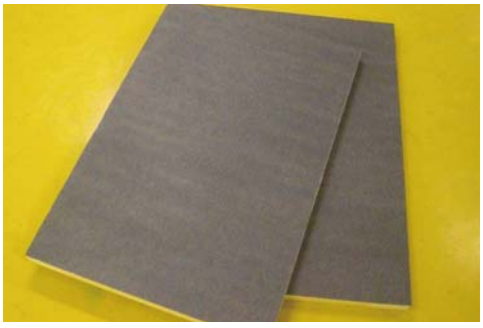
●**荷姿**：
目皿タテ型：配水管径40～100㎜の大きさに適用
目皿ヨコ型：配水管径30～140㎜の大きさに適用

アルミ合金ダイカスト製の目皿です。

プルーフロン断熱材
(軟質断熱材)

●**荷姿**：
厚さ10㎜×幅1m×長さ50m／巻　直径約850㎜
厚さ15㎜×幅1m×長さ25m／巻　直径約730㎜
厚さ20㎜×幅1m×長さ25m／巻　直径約850㎜
厚さ25㎜×幅1m×長さ2m／枚
厚さ30㎜×幅1m×長さ2m／枚

PD工法(断熱・遮熱工法)用のポリエチレンフォーム製断熱材です(1巻・1枚単位)。



プルーフロン硬質断熱材(硬質断熱材)

●**荷姿**：　※40㎜厚は受注生産品です。
- 25㎜厚　厚さ25×幅605×長さ910㎜　20枚梱包
- 30㎜厚　厚さ30×幅605×長さ910㎜　17枚梱包
- 35㎜厚　厚さ35×幅605×長さ910㎜　14枚梱包
- 40㎜厚※　厚さ40×幅605×長さ910㎜　12枚梱包
- 50㎜厚　厚さ50×幅605×長さ910㎜　10枚梱包

PKD工法で、改修工事を行なう場合に使用するポリウレタンフォーム製の断熱材です。

プルーフロンシリーズ製品一覧①

品種		品名	荷姿
下地処理材		NTカチオンタイトF	20kgセット(主材:15.5kg、硬化液:4.5kg)
		NTカチオンタイト目地用充填材	20kg
		NTカチオンフィラー	30kgセット(主材:20kg、硬化液:10kg)
		NT速乾カチオンL	18kgセット(主材:13.5kg、硬化液:4.5kg)
		NTミラクルフィラー	20kgセット(A液:4kg、B液:4kg、パウダー:12kg)
		NTカチオンエース	20kg
		NTエポキシ速乾フィラー	34kgセット(主材:4kg、硬化剤:4kg、パウダー:26kg〈13kg×2袋〉)
仮防水材		プルーフロンアクア	20kgセット(混和液:12kg、パウダー:8kg)
金属面用プライマー		エポラオールプライマー	16kgセット(A液:14kg、B液:2kg)・4kgセット(A液:3.5kg、B液:0.5kg)
		エポラ#3プライマー	16.5kgセット(A液:15kg、B液:1.5kg)・1.1kgセット(A液:1kg、B液:0.1kg)
		シルビア金属用プライマーM	18kgセット(A液:15kg、B液:3kg)
		エポラ#3000Sプライマー	8 ℓセット(A液:4ℓ、B液:4ℓ)
コンクリート モルタル面用 プライマー および 塩ビシート用	溶剤系	プルーフロンプライマーS	16kg、4kg
		プルーフロンプライマーU	16kg、4kg
		プルーフロンエコプライマー	16kg
		NT塩ビシートプライマー	12kg
	水系	プルーフロンエコ水性プライマーホワイト	16kgセット(A液:8kg、B液:8kg)
塗り替え用	溶剤系	プルーフロン塗り替え用プライマー	12kg
URトップコート用	溶剤系	プルーフロンUR層間プライマー	16kg
ウレタン塗膜 防水材	一般用 (平場用)	プルーフロンエコDX	18kgセット(主剤:6kg、硬化剤:12kg)
		プルーフロンエコONE	18kg
		プルーフロンエコ	18kgセット(主剤:6kg、硬化剤:12kg)
		プルーフロンエコMID	18kgセット(主剤:6kg、硬化剤:12kg)
		プルーフロンバリュー	20kgセット(主剤:5kg、硬化剤:15kg)
		プルーフロンC-200エコ	9 kg
	立上り用	プルーフロンエコDX NS	18kgセット(主剤:6kg、硬化剤:12kg)
		プルーフロンエコONE NS	5 kg
		プルーフロンエコNS	18kgセット(主剤:6kg、硬化剤:12kg)
		プルーフロンバリューNS	20kgセット(主剤:5kg、硬化剤:15kg)
		プルーフロンC-200エコNS	5 kg
	共用	プルーフロンエコ目止材	18kgセット(主剤:6kg、硬化剤:12kg)
超速硬化ウレタン吹付け材		NTスプレー タイプH	390kgセット(A液:182kg、B液:200kg、トナー:8kg) 35kgセット(A液:16.4kg、B液:18kg、トナー:0.6kg)
ウレタン系保護材		ユータックFエコ	20kgセット(A液 : 10kg、B液 : 10kg)
トップコート	溶剤系	プルーフロンEGトップ4F遮熱	15kgセット(A液:10kg、B液:5kg)
		プルーフロンEGトップ4F	15kgセット(A液:10kg、B液:5kg)
		プルーフロンEGトップ シリコンマイルド	16kgセット(A液:12kg、B液:4kg)
		プルーフロンGRトップエコ	16kgセット(A液:12kg、B液:4kg)
		プルーフロンGRトップ遮熱	18kgセット(A液:15kg、B液:3kg)・6kgセット(A液:5kg、B液:1kg)
		プルーフロンGRトップ フッ素	18kgセット(A液:15kg、B液:3kg)・6kgセット(A液:5kg、B液:1kg)
		プルーフロンGRトップ	18kgセット(A液:15kg、B液:3kg)・6kgセット(A液:5kg、B液:1kg)
		プルーフロンGRトップ艶消T	14kgセット(A液:12kg、B液:2kg)
		ユータックFT	18kgセット(A液:15kg、B液:3kg)・6kgセット(A液:5kg、B液:1kg)
	水系	プルーフロンエコ水性GRトップ遮熱	11kgセット(A液:10kg、B液:1kg)
		プルーフロンエコ水性GRトップ	11kgセット(A液:10kg、B液:1kg)
		プルーフロンエコ水性トップ	20kg
		プルーフロン水性上塗シルバー	16kg
		プルーフロンURトップ	20kg
粘度調整・洗浄液		プルーフロンエコシンナー	16ℓ
		プルーフロンGRトップシンナー	16ℓ、4ℓ
		プルーフロンシンナー	16ℓ、4ℓ

	成分、組成、用途	備考	F☆☆☆☆ 登録番号	特化則 非該当※
	カチオン系ラテックスモルタル樹脂系	—	—	○
	ガラス発泡骨材(通気緩衝工法専用下地処理材)	NTカチオンタイトF 20kgセットに対し、7.5～10kg混合	—	○
	セメント･ポリマー複合型カチオンセメントフィラー	—	—	○
	速硬型カチオン性無機樹脂系	—	—	○
	エポキシ樹脂系下地処理兼用プライマー	—	N03179	○
	セメント･ポリマー複合型カチオンセメントフィラー(プレミックスタイプ)	JIS A 6916 下地調整塗材C-1･C-2適合	N03202	○
	速乾型エポキシ樹脂セメント系			○
	ポリマーセメント系塗膜防水材	—	N03195	○
	2液弱溶剤変性エポキシ樹脂系	—	—	
	2液溶剤エポキシ樹脂系	—	N03188	
	2液溶剤エポキシ樹脂系	—	N03102	
	2液溶剤エポキシ樹脂系	—	N03106	
	湿気硬化型1液ウレタン樹脂系	浸透タイプ	N03121	
	湿気硬化型1液ウレタン樹脂系	速乾タイプ	N03124	
	湿気硬化型ＴＸフリー1液ウレタン樹脂系：環境対応型	エコタイプ	N03141	○
	湿気硬化型1液ウレタン樹脂系	塩ビシート用プライマー	—	
	2液水性エポキシ樹脂系：環境対応型	エコタイプ	N03138	○
	湿気硬化型1液ウレタン樹脂系	速乾タイプ	N03219	
	湿気硬化型1液ウレタン樹脂系	層間プライマー	—	○
	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)　一般用：環境対応型	エコタイプ・ペール缶および角缶対応	N03248	○
	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)　一般用：環境対応型	角缶	N03233	○
	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)　一般用：環境対応型	エコタイプ・ペール缶および角缶対応	N03139	
	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)　一般用：環境対応型	エコタイプ・ペール缶および角缶対応	N03185	
	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)　一般用	ペール缶および角缶対応	N03174	
	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)　一般用：環境対応型	角缶	N03189	○
	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)　立上がり用：環境対応型	エコタイプ・ペール缶および角缶対応	N03249	○
	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)　立上がり用：環境対応型	角缶	N03234	○
	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)　立上がり用：環境対応型	エコタイプ・ペール缶および角缶対応	N03140	
	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)　立上がり用	ペール缶および角缶対応	N03181	
	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)　立上がり用：環境対応型	角缶	N03190	○
	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)　共用：環境対応型	エコタイプ・ペール缶および角缶対応	N03201	
	ウレタン樹脂系超速硬化タイプ	超速硬化タイプ　専用機械使用	N03220	○
	ウレタン樹脂系保護材：環境対応型	エコタイプ・ペール缶	JIS K 5970認証	
	溶剤4フッ化フッ素樹脂系:環境対応型	エコタイプ･艶あり、遮熱タイプ	—	○
	溶剤4フッ化フッ素樹脂系:環境対応型	エコタイプ･艶あり	—	○
	弱溶剤シリコン樹脂系：環境対応型	エコタイプ・艶あり	N03177	○
	溶剤アクリルウレタン樹脂系	艶あり	N03210	○
	溶剤アクリルウレタン樹脂系	艶あり、遮熱タイプ	—	
	溶剤フッ素樹脂系	艶あり	N03183	
	溶剤アクリルウレタン樹脂系	艶あり	N03122	
	溶剤アクリルウレタン樹脂系	艶消しタイプ	—	
	溶剤アクリルウレタン樹脂系	艶あり	JIS K 5970認証	
	水性アクリルウレタン樹脂系：環境対応型	エコタイプ・艶あり、遮熱タイプ	—	○
	水性アクリルウレタン樹脂系：環境対応型	エコタイプ・艶あり	N03182	○
	水性アクリルエマルション樹脂系(無機質系骨材入り)：環境対応型	エコタイプ・艶消し、防滑タイプ	N03145	○
	水性アクリルエマルション樹脂系：環境対応型	シルバー、非歩行タイプ	—	○
	水性アクリルエマルション樹脂系(無機質系骨材入り)：環境対応型	エコタイプ・艶消し、防滑タイプ	N03211	○
	プルーフロンエコ、プルーフロンエコMID、プルーフロンエコNS、 プルーフロンエコDX、プルーフロンエコDX NS、プルーフロンエコ速乾、 プルーフロンエコ速乾NS、ユータックFエコ、プルーフロンGRトップエコ用	エコタイプ	—	○
	プルーフロンGRトップ各種用	—	—	
	プルーフロンバリュー、プルーフロンバリューNS用	—	—	

※：○＝特化則非該当製品

プルーフロンシリーズ製品一覧②

品種		品名	荷姿
補強布		ガラスクロスCAG60	幅1.04m×長さ100m/巻
		プルーフロンW-1クロス	幅1.04m×長さ100m/巻
		プルーフロンソフトクロス	幅1.0m×長さ50m/巻
		コルバック30H	幅1.04m×長さ100m/巻
		プルーフロン補強テープ	幅0.14m×50m/巻、幅0.2m×長さ50m/巻、 幅0.3m×長さ50m/巻、幅0.5m×長さ50m/巻
通気緩衝シート		プルーフロンNT-Fタックシート S	厚さ1.5㎜×幅1.04m×長さ15.7m/巻（15㎡分）
		プルーフロンNT-Fタックシート S突き付けタイプ	厚さ1.4㎜×幅1.0m×長さ15m/巻（15㎡分）
		NTタックシートA	厚さ1.4㎜×幅1.0m×長さ15m/巻（15㎡分）
		プルーフロンNT-Fシート	厚さ3.0㎜×幅1.15m×長さ30m/巻（34.5㎡分）
		プルーフロンNT-Fシート#2	厚さ1.4㎜×幅1.0m×長さ25m/巻（25㎡分）
		プルーフロンNT-Fシート#2（フイルム付き）	厚さ1.4㎜×幅1.0m×長さ25m/巻（25㎡分）
		プルーフロンNT-Fパンチシート	厚さ1.4㎜×幅1.0m×長さ50m/巻（50㎡分）
通気緩衝シート用ボンド	溶剤系	プルーフロンNT-Fボンド	15kg
	無溶剤系	プルーフロンNT-Fエコボンド H	10kg
	水系	プルーフロンNT-F水性ボンド	18kg
補助剤		ミルコンMS-2（ダレ止め剤）	5kg
		液状ダレ止め剤	15kg、4kg
		プルーフロンエコ専用硬化促進剤	4kg、1kg
		プルーフロンエコDX専用硬化促進剤	1kg
		ウレタンゴム用硬化促進剤	20kg、4kg
		プルーフロン溶剤系トップコート硬化促進剤	1kg
		プルーフロンEGトップ4F専用硬化促進剤	1kg
		エストップ#20	12kg
		NTマイクロ骨材	1kg
		PSパウダー	16kg(4kg×4袋入り)
副資材		プルーフロンNT-Fジョイントテープイエロー	幅50㎜×長さ50m/巻　1本単位
		プルーフロンNT-F端末テープ S	幅75㎜×長さ25m/巻　1本単位
		NTブチルテープ	幅50㎜×長さ20m/巻、幅100㎜×長さ20m/巻　各1本単位
		NT水切りテープ	幅50㎜×長さ50m/巻　1本単位
		アルミキャント40	幅30-40-30㎜×長さ2m×厚さ0.8㎜　10本/箱
		端末プレート	幅30㎜×長さ2m×厚さ3.3㎜　20本/箱
		キャントプレートアンカー 40	つば13㎜×長さ40㎜　500本/箱
		メカニカルアンカー 40	つば30㎜×長さ40㎜　500本/箱
		メカニカルアンカー70	つば30㎜×長さ70㎜　500本/箱
		メカニカルアンカー100	つば30㎜×長さ100㎜　500本/箱（受注生産）
		ステンレス脱気筒	台座190×194㎜ φ90×高さ194㎜　2個/箱
		ステンレス脱気筒　コア付き	コア：台座140×140×高さ174㎜、 脱気筒：台座Φ190×高さ194㎜ 2組セット単位
		鉛改修ドレン	1個単位（62ページをご参照ください）
		鉛ドレン用蛇腹	1個単位（62ページをご参照ください）
		非鉛ドレン（グッドレンS）タテ	2個/箱（64ページをご参照ください）
		非鉛ドレン（グッドレンS）ヨコ	2個/箱（64ページをご参照ください）
		目皿	―（62ページをご参照ください）
		プルーフロン断熱材	―（62ページをご参照ください）
		プルーフロン硬質断熱材	―（62ページをご参照ください）

	成分、組成、用途	備考	F☆☆☆☆ 登録番号	特化則 非該当※
	平場用、立上り用	—	—	○
	ソフトタイプ　平場用、立上り用	—	—	○
	ソフトタイプ　平場用、立上り用	—	—	○
	ソフトタイプ　平場用、立上り用	—	—	○
	ソフトタイプのり付き	—	—	○
	ガラス繊維強化改質アスファルト積層シート(接着剤コーティング自着層付き)	自着層付きタイプ	—	○
	ガラス繊維強化改質アスファルト積層シート(接着剤コーティング自着層付き)耳なしタイプ	自着層付き、突き付けタイプ	—	○
	ガラス繊維強化改質アスファルト積層シート(接着剤コーティング自着層付き)耳なしタイプ	自着層付き、突き付けタイプ	—	○
	ポリエチレン繊維＋発泡ポリエチレン	—	—	○
	ポリエチレン繊維	—	—	○
	ポリエステルフイルム付きポリエチレン繊維	フイルム付き	—	○
	ポリエチレン繊維	穴あきタイプ	—	○
	クロロプレンゴム樹脂系　クシコテ付き	両面タイプ	—	○
	無溶剤1液ウレタン樹脂系：環境対応型　クシコテ付き	片面タイプ、エコタイプ	N03184	○
	水性アクリルエマルション樹脂系：環境対応型　クシコテ付き	片面タイプ、エコタイプ	N03203	○
	環境対応型増粘剤	エコタイプ	—	○
	粘度調整用液状添加剤	—	—	
	防水層用硬化促進剤：環境対応型	エコタイプ	—	○
	防水層用硬化促進剤：環境対応型	エコタイプ	—	○
	防水層用硬化促進剤	—	—	
	2液溶剤型トップコート用硬化促進剤	—	—	
	専用硬化促進剤：環境対応型	—	—	○
	防滑仕上げ用軽量チップ	—	—	○
	防滑仕上げ用軽量骨材	—	—	○
	素地調整 兼 置換泡、膨れ抑制用 添加骨材	各種プライマーに1袋(4kg)	—	○
	プルーフロンタックシートS、プルーフロンNT-Fシート、 プルーフロンNT-Fシート#2(フイルム付き)用ジョイントテープ	—	—	○
	プルーフロンNT-FタックシートS用端末処理用テープ	—	—	○
	ブチルゴム製粘着層付き緩衝用テープ	—	—	○
	水切りのないアゴ下用テープ	—	—	○
	入隅用押さえアルミ金具	10穴/本	—	○
	端末用押さえアルミ金具	5穴/本	—	○
	アルミキャント用アルミ製アンカー	—	—	○
	プルーフロンNT-FタックシートS用機械固定用アルミ製アンカー	—	—	○
	プルーフロンNT-FタックシートS用機械固定用アルミ製アンカー	—	—	○
	プルーフロンNT-FタックシートS用機械固定用アルミ製アンカー	—	—	○
	脱気装置	50～100㎡に1カ所	—	○
	脱気装置(コア付き)	—	—	○
	改修ドレンφ70、φ100	縦、横引き共通	—	○
	改修ドレン用蛇腹φ70、φ100	—	—	○
	改修ドレン　タテ型φ65、φ95		—	○
	改修ドレン　ヨコ型φ75、φ105		—	○
	タテ型、ヨコ型	—	—	○
	軟質断熱材　発泡ポリエチレンフォーム	PD工法[断熱・遮熱工法]用シート	—	○
	硬質断熱材　発泡ポリウレタンフォーム	PKD工法[機械的固定･断熱･遮熱工法]用シート	—	○

※：○＝特化則非該当製品

「プルーフロン防水工法」をご採用いただいたお施主様へ（取り扱いとメンテナンスのお願い）

■ウレタン塗膜防水材ご使用上の注意事項

①防水層は可燃物ですので、火気は絶対に使用しないでください。また、煙草の吸殻の投げ捨てや花火なども厳禁です。
②防水層の上にガソリンや溶剤、不凍液などをこぼした際は直ちに除去してください。防水層が軟化し、フクレや剥離が生じます。
③防水層の上に人工芝を施工することはお勧めいたしません。ご使用になる場合は「置き式」の方法でお願いします。
④防水層の上で重い箱などを引きずったり、角の鉄材などの損傷を与える物を落とさないでください。防水層の剥離や損傷を受けます。
⑤防水層の上では、防水層を損傷する恐れのある履物（ハイヒールやスパイクシューズなど）での歩行はしないでください。
⑥防水層の上に椅子やテーブルなどを置く場合、脚をゴムキャップなどで保護してください。また、長期間にわたり重量物を設置する場合は養生ゴム板（3㎜程度）や角を丸くしたベニア板などを下に敷いてください。同様に高熱を発する器具や物などを直接設置しないでください。また、カッターなどの鋭利なもので傷をつけないでください。
⑦防水層の上でゴルフの練習や一輪車、ローラースケートなどの練習は止めてください。クラブや車輪で防水層を傷つける恐れがあります。
⑧防水層の一般的な汚れの清掃の際は中性洗剤（クレンザーは不可）を使用の上、モップなどで行なってください。また、清掃の際には水で濡れていますので、スリップなどによる転倒事故に充分注意してください。
⑨防水層の上に醤油や酢などをこぼした場合は床面に染みつきやすいので、直ちに拭き取って水洗いを行なってください。
⑩防水層の上にマジックインキなどの油性筆記具で書かないでください（防水層面に染みつきやすく取れません）。また、防水層の上では塗料や強いアルカリ性や酸性の薬剤、洗剤は使用しないでください。
⑪防水層の上で犬や鶏などの家畜を飼育しないでください。
⑫クーリングタワーの防藻剤や殺菌剤などの種類によっては、防水層に損傷を与えますので注意してください。

「プルーフロンシリーズ」をご使用いただく業者様へ（取り扱い上の注意事項）

●火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
●万一、火災が発生した場合はABC粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
●プルーフロンバリュー、プルーフロンバリュー NS、プルーフロンエコ、プルーフロンエコ目止材、プルーフロンエコNS、プルーフロンエコMID、プルーフロンエコDX、プルーフロンエコDX NS、ユータックFエコは主剤・硬化剤（A液、B液）を混合し、容器中にそのまま放置しますと急激に発熱し、危険な状態になることがありますので、仕様書の手順を守ってください。
●施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
●取り扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
●取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は、直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
●塗料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
●容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください（偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります）。
●取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
●目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
●誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
●材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは、医師の診察を受けてください。
●蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じ医師の診察を受けてください。
●保管は必ずフタをして、直射日光の当たらない場所に保管してください（水系塗料は凍結を避けてください）。
●子供の手の届かないところに保管してください。
●中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
●標準色以外をご指定された場合、褪色が速い場合や塗膜性能が低下する可能性があります。
●環境対応製品は、環境に配慮した材料を用いていますが、ご採用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
●詳細は警告ラベル、または安全データシート（SDS）をご参照ください。

■プルーフロンシリーズの施工上・取り扱い上の注意事項

①著しい高温、高湿下、もしくは気温が5℃未満の場合での施工は避けてください。
②下地のレイタンス、砂、ほこり、ゴミは完全に取り除いてください。
③プルーフロン防水層の液相分離が見られる場合は、撹拌機を使用し充分に撹拌してください。
④降雨や降雪が予想される場合は、施工を行なわないでください。
⑤プルーフロン各種の開封後は当日中に使用してください。
⑥下地に巣穴がある場合はピンホールが発生する場合があります。適切な下地処理を行なってください。
⑦冬季は硬化速度が遅くなります。施工間隔は充分に注意してください。

＊製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■お問い合わせ先

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323
神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀞1-10 ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739
中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12 ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124
大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560
中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256
九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

●日本特殊塗料ホームページ https://www.nttoryo.co.jp/

■代理店

PFC-0518J×2-DS/PE#7(10)[2018年5月作成]定価600円(税抜き)